

**第5次 御前崎市地域福祉計画・地域福祉活動計画
策定のためのアンケート調査
調査結果報告書**

令和8年3月

御 前 崎 市

社会福祉法人 御前崎市社会福祉協議会

目次

I 調査概要	1
1 調査目的.....	1
2 調査設計.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書を見る際の注意点.....	1
II 調査結果	3
1. あなた自身について	3
1 性別.....	3
2 年齢.....	3
3 地区.....	4
4 職業.....	4
5 家族構成と世帯人数.....	5
6 子ども・高齢者・障がい者等の有無.....	6
7 居住歴.....	6
8 行き来や電話などの連絡を取り合っている別居の親族等.....	7
9 福祉との関わり.....	7
2. 地域生活に関することについて	8
10 近所づきあいの程度.....	8
11 近所づきあいの満足度.....	10
12 近所づきあいの考え方.....	11
13 地域内の行事や町内会活動への参加.....	13
14 参加しない理由.....	14
15 地域福祉を推進する活動への参加希望.....	15
16 期待する地域社会の役割.....	16
3. あなたの福祉への関心、意識について	19
17 今、福祉について関心があること.....	19
18 民生委員・児童委員の認知.....	21
19 知っている民生委員・児童委員の活動.....	22
20 近所に住む高齢者・障がい者・子育て世帯に対する支援への考え.....	24
21 ヘルプマークの認知.....	26
22 地域福祉を推進するためにできると思うこと.....	27
4. 福祉サービスに対する意識について	30
23 家族や親せき以外に相談できる相手.....	30
24 福祉サービスが必要になったとき、すぐに利用するか.....	32
25 抵抗はあるが利用する理由.....	33
26 すぐにサービスを利用しない理由.....	35
27 安心して福祉サービスを利用するために必要なこと.....	37
28 御前崎市をどのようなまちだと思うか.....	39
29 成年後見制度の認知.....	45

30	市民後見人について、あなたの考えに最も近いもの	46
31	子どもの福祉教育で最も大切だと思うこと	47
32	どのような『福祉のまち』にしたいか	49
33	地域の福祉活動を進めるために必要なこと	51
5.	ボランティア活動などに関することについて	53
34	ボランティア活動への参加	53
35	参加している活動	54
36	現在参加していない理由	57
37	参加したことがない理由	59
38	ボランティア活動への参加希望	61
39	参加する際の活動頻度	62
40	参加したい活動の内容	64
41	参加したい社会福祉活動の内容	66
42	ボランティア活動が活発になるために必要なこと	68
6.	災害に関することについて	70
43	災害等の緊急時の一人での避難	70
44	災害発生時に近所で助けてくれる人	71
45	個別避難計画の認知	72
46	地域で避難支援の必要な人の情報共有	73
47	地域における災害時の備えで大切なこと	75
7.	地域の問題や課題について	77
48	安心して生活していく上での問題や課題	77
49	行政と住民の関係はどうあるべきか	80
8.	御前崎市社会福祉協議会について	81
50	御前崎市社会福祉協議会の認知	81
51	御前崎市社会福祉協議会はどのような組織だと思うか	82
52	町内会加入者についての認識	84
53	『おまえざき社協だより』の認知	85
54	知っている御前崎市社会福祉協議会の事業	86
55	社会福祉協議会に期待すること	88
56	福祉団体の認知	90
57	所属している福祉団体	96
9.	御前崎市の地域福祉全般について	98
58	健康や福祉を増進するために御前崎市に力を入れてほしいこと	98
III	調査票	101

I 調査概要

1 調査目的

「御前崎市第5次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画」を策定するにあたり、市民の日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関する意見などを把握するため、アンケート調査を実施しました。

2 調査設計

調査対象：御前崎市内に在住する18歳以上の方

調査方法：郵送配布、郵送またはWEB回収

抽出方法：無作為抽出

調査期間：令和8年1月8日（木）から令和8年1月28日（水）まで

3 回収結果

発送数：1,000票

回収数：418票（郵送回収：256票、WEB回収：162票）

有効回収数：418票（郵送回収：256票、WEB回収：162票）

有効回収率：41.8%

4 報告書を見る際の注意点

- (1) 基数となるべき実数は調査数nとして記載しています。
- (2) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。
そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (3) 複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

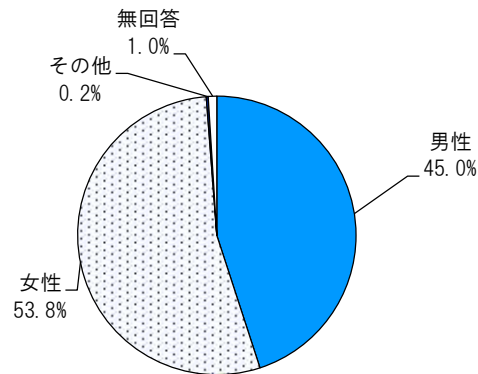
II 調査結果

1. あなた自身について

1 性別

問1 あなたの性別を教えてください。

(○は1つだけ)

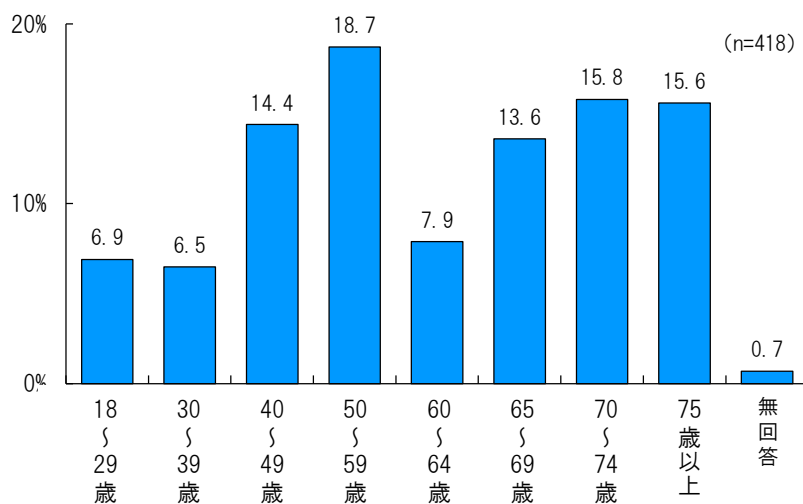


(n=418)

性別については、「男性」が45.0%、「女性」が53.8%、「その他」が0.2%となっています。

2 年齢

問2 あなたの令和7年11月1日現在の年齢を教えてください。(○は1つだけ)



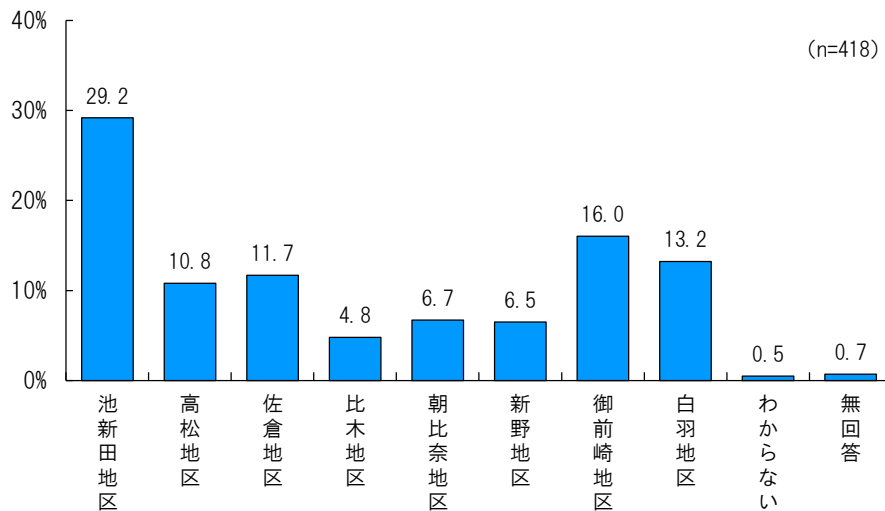
(n=418)

年齢については、「50～59歳」が18.7%と最も多く、次いで「70～74歳」が15.8%、「75歳以上」が15.6%などとなっています。

3 地区

問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。

(○は1つだけ)

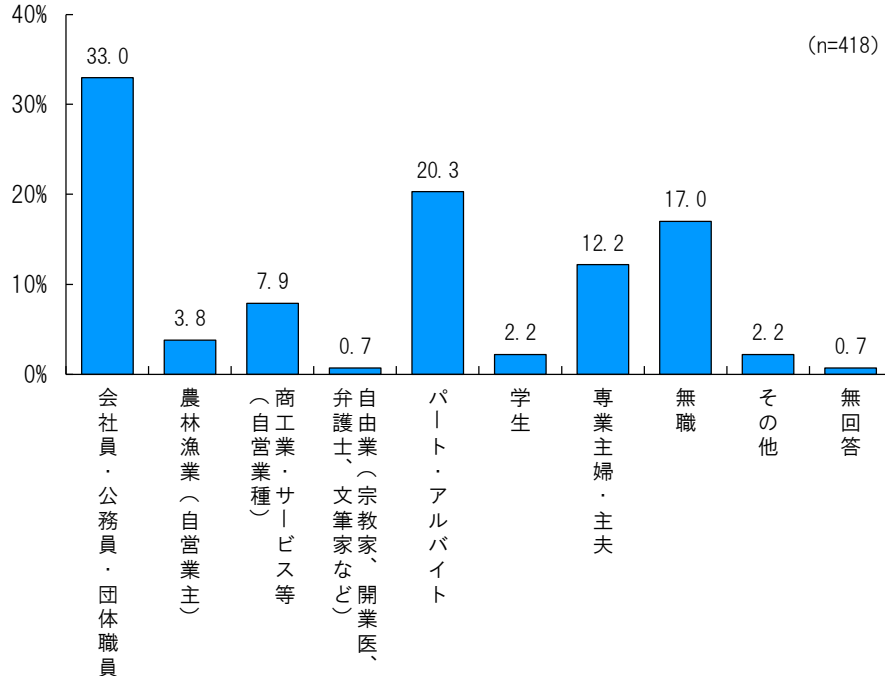


地区については、「池新田地区」が29.2%と最も多く、次いで「御前崎地区」が16.0%、「白羽地区」が13.2%などとなっています。

4 職業

問4 あなたの現在の仕事について伺います。

(○は1つだけ)



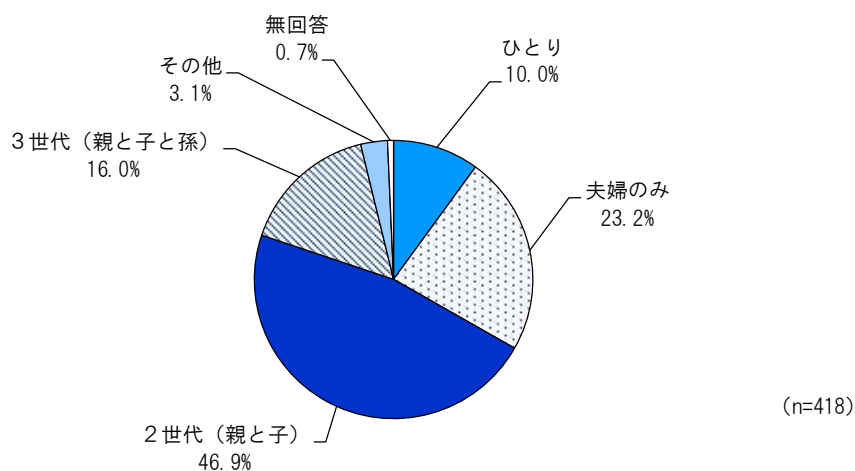
職業については、「会社員・公務員・団体職員」が33.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が20.3%、「無職」が17.0%などとなっています。

5 家族構成と世帯人数

問5 あなたの世帯の家族構成と世帯人数を教えてください。

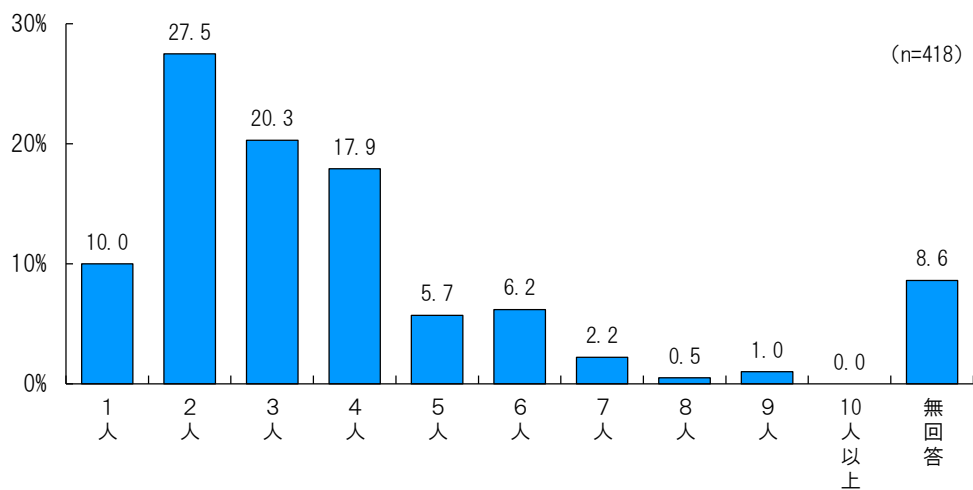
(○は1つだけ。人数を記入してください。)

①家族構成



家族構成については、「2世代（親と子）」が46.9%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が23.2%、「3世代（親と子と孫）」が16.0%などとなっています。

②世帯人数

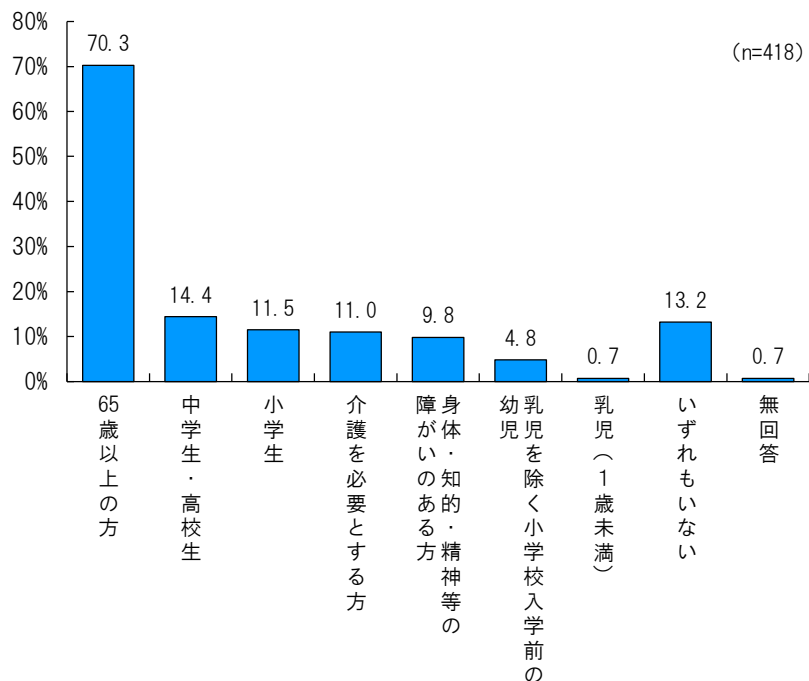


世帯人数については、「2人」が27.5%と最も多く、次いで「3人」が20.3%、「4人」が17.9%などとなっています。

6 子ども・高齢者・障がい者等の有無

問6 あなた自身、もしくはあなたが現在同居しているご家族の中に、次のような方はいますか。※令和7年11月1日現在で記入してください。

(あてはまるものすべてに○)

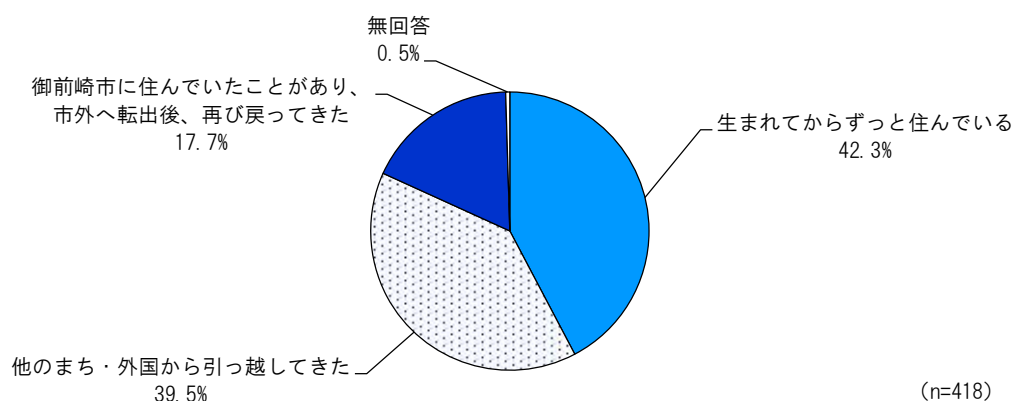


子ども・高齢者・障がい者等の有無については、「65歳以上の方」が70.3%と最も多く、次いで「中学生・高校生」が14.4%、「小学生」が11.5%などとなっています。また、「いずれもない」が13.2%となっています。

7 居住歴

問7 あなたはいつから御前崎市に住んでいますか。

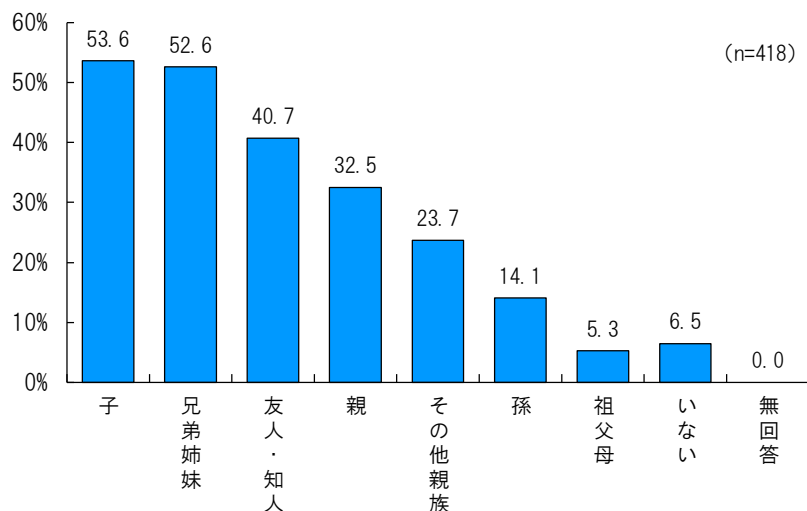
(○は1つだけ)



居住歴については、「生まれてからずっと住んでいる」が42.3%、「他のもち・外国から引っ越してきた」が39.5%、「御前崎市に住んでいたことがあり、市外へ転出後、再び戻ってきた」が17.7%となっています。

8 行き来や電話などの連絡を取り合っている別居の親族等

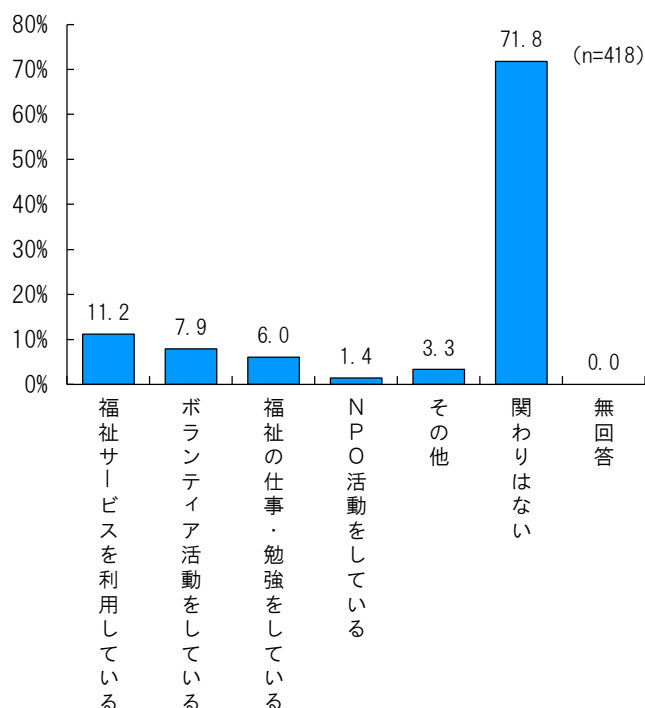
問8 あなたは日ごろ、別居の親族等と、行き来や電話などの連絡を取り合っている方はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)



行き来や電話などの連絡を取り合っている別居の親族等については、「子」が53.6%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」が52.6%、「友人・知人」が40.7%などとなっています。

9 福祉との関わり

問9 あなたと福祉との関わりは次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)



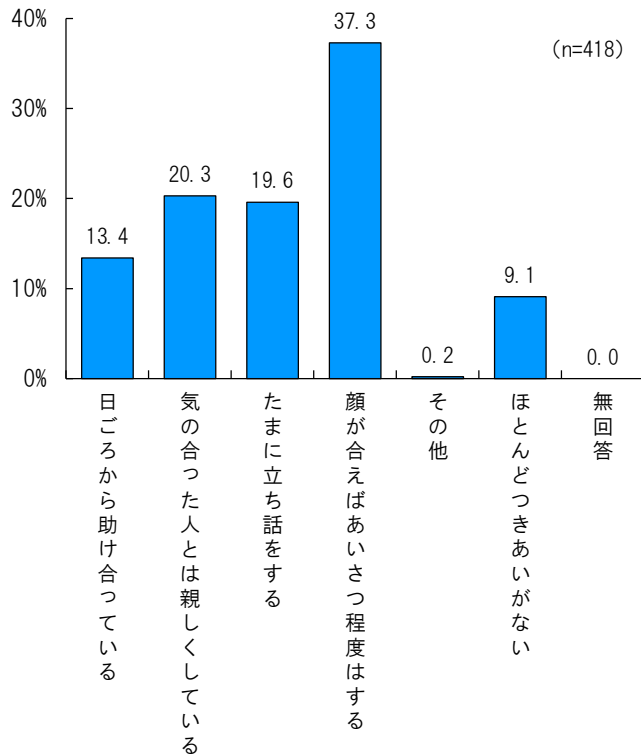
福祉との関わりについては、「福祉サービスを利用している」が11.2%と最も多く、次いで「ボランティア活動をしている」が7.9%、「福祉の仕事・勉強をしている」が6.0%などとなっています。また、「関わりはない」が71.8%となっています。

2. 地域生活に関することについて

10 近所づきあいの程度

問10 あなたは、普段ご近所の方との程度のおつきあいをしていますか。

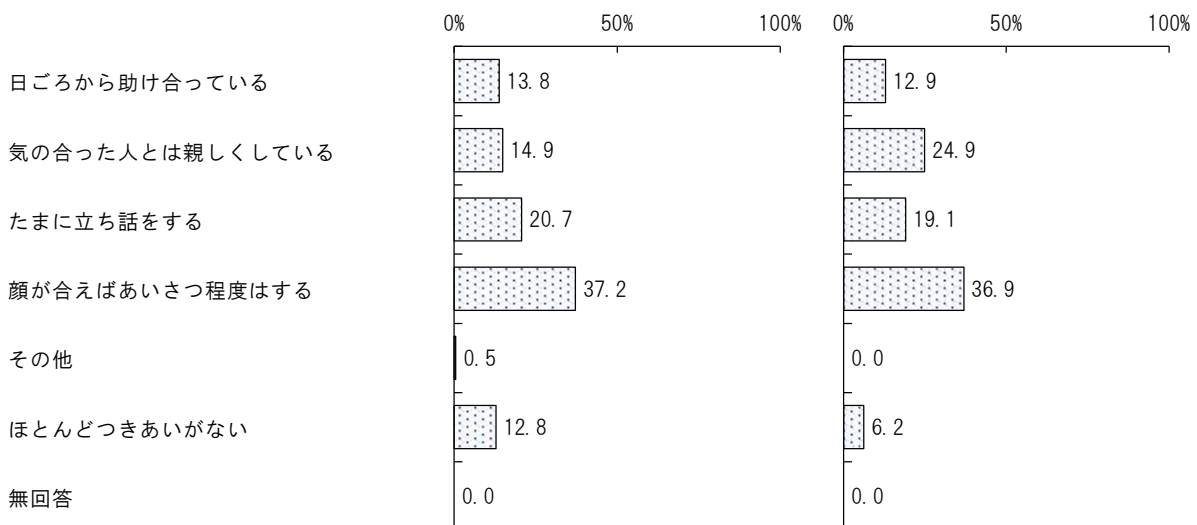
(○は1つだけ)



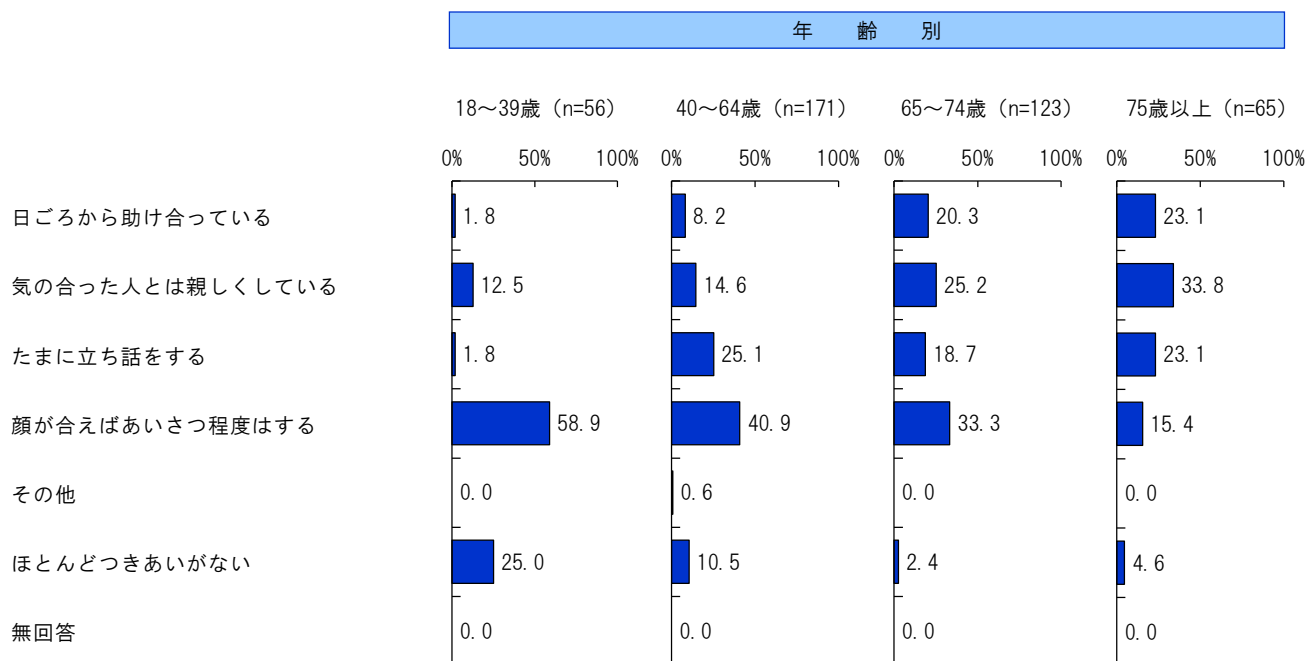
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



10 近所づきあいの程度

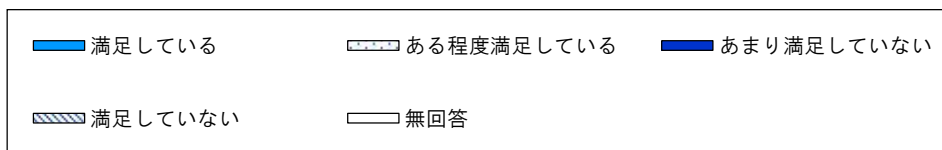
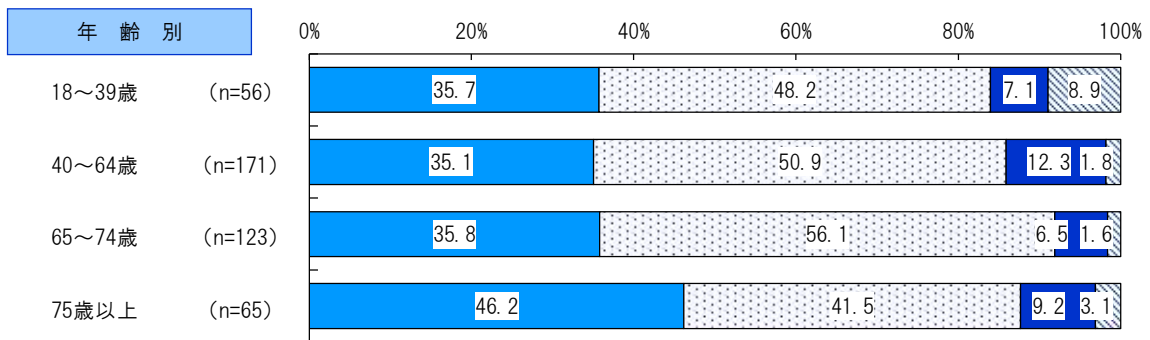
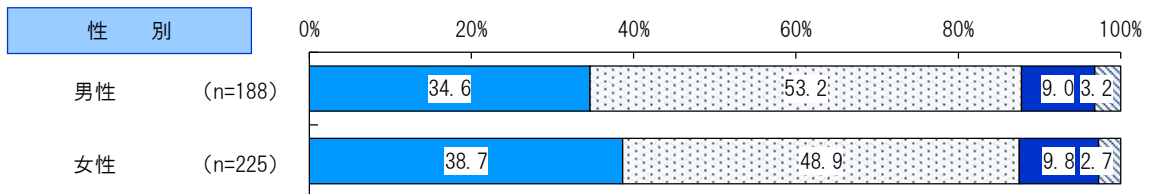
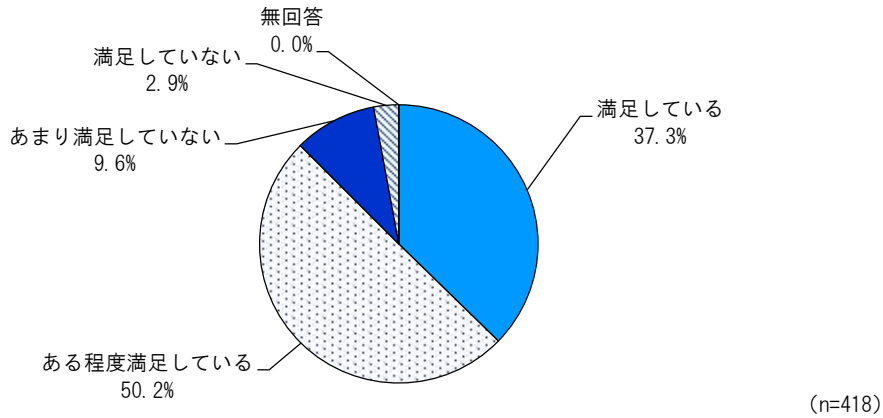


近所づきあいの程度については、「顔が合えばあいさつ程度はする」が37.3%と最も多く、次いで「気の合った人とは親しくしている」が20.3%、「たまに立ち話をする」が19.6%などとなっています。

年齢別でみると、“75歳以上”は「気の合った人とは親しくしている」が33.8%と最も多くなっています。

11 近所づきあいの満足度

問11 あなたは、今の近所づきあいに満足していますか。 (○は1つだけ)

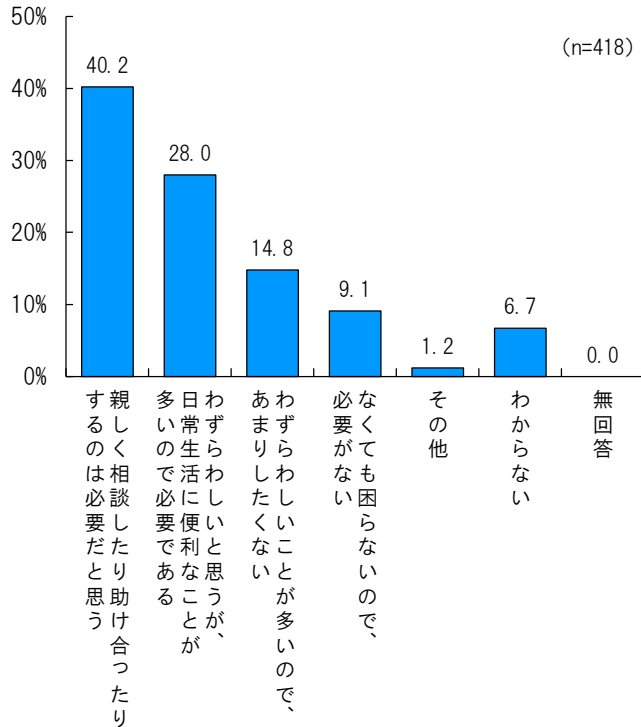


近所づきあいの満足度については、「満足している」が37.3%、「ある程度満足している」が50.2%、「あまり満足していない」が9.6%、「満足していない」が2.9%となっています。

年齢別でみると、“75歳以上”は「満足している」が46.2%と最も多くなっています。

12 近所づきあいの考え方

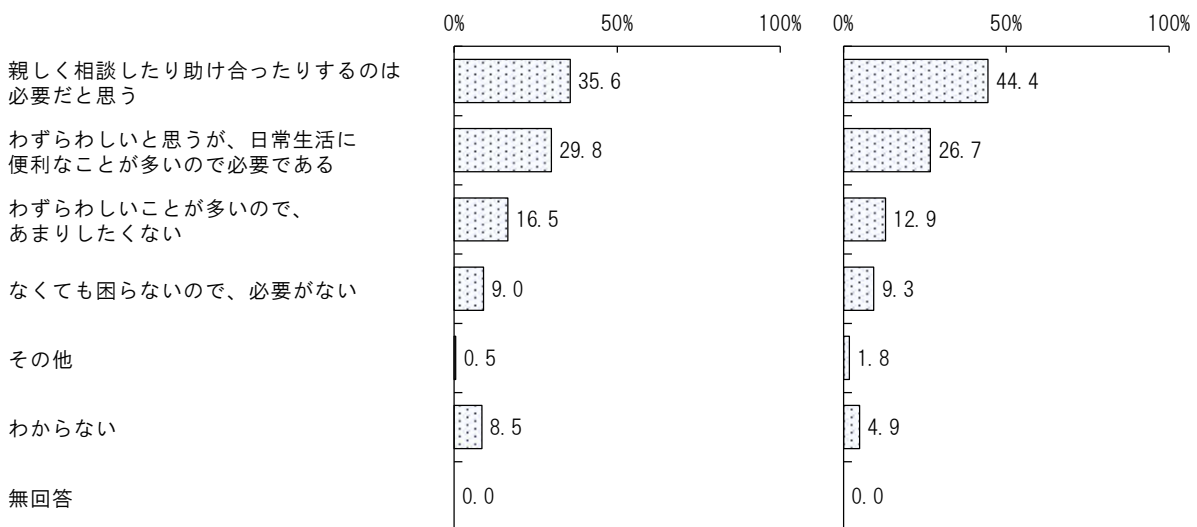
問12 あなたの近所づきあいの考え方は、次のどれに近いですか。（○は1つだけ）



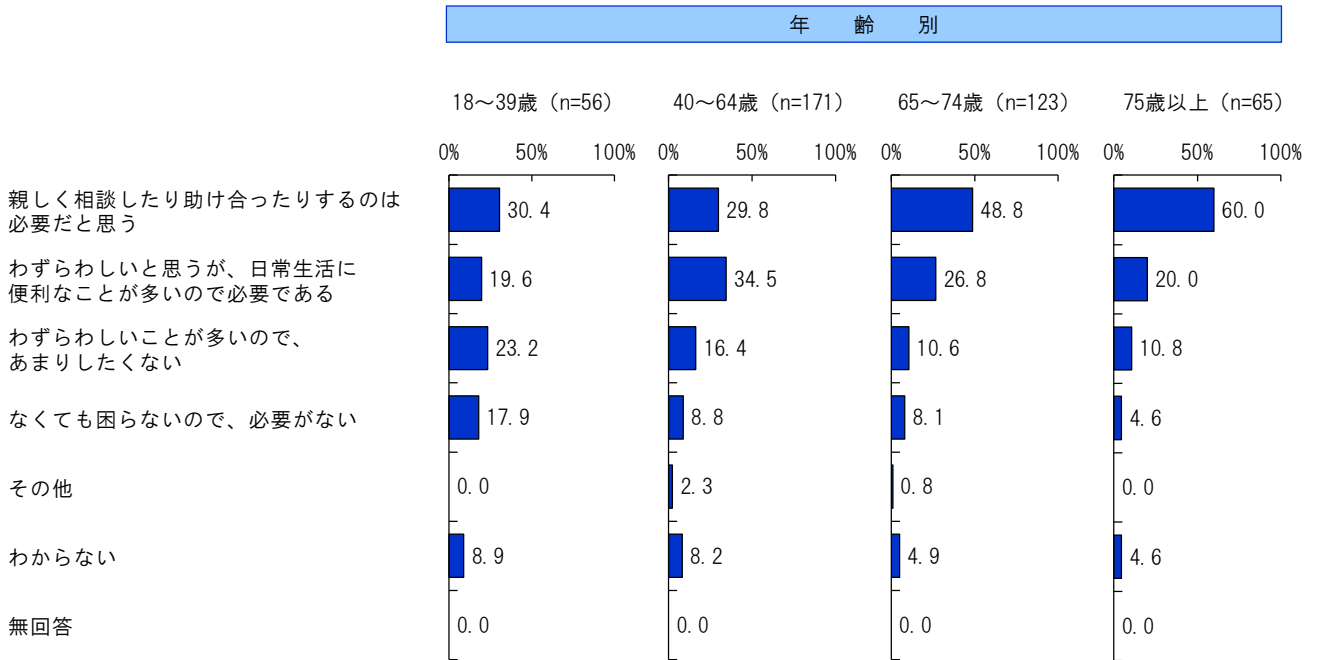
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



12 近所づきあいの考え方

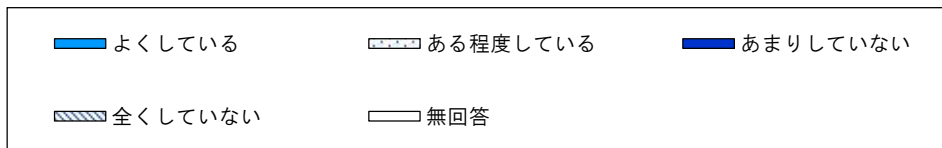
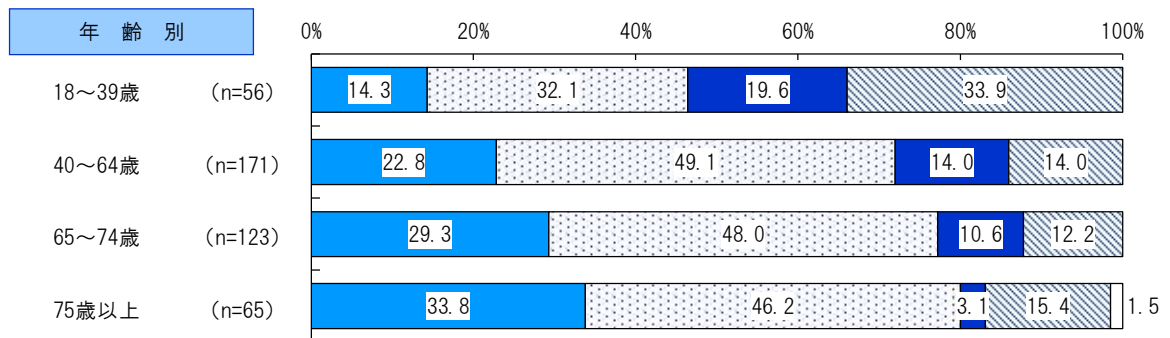
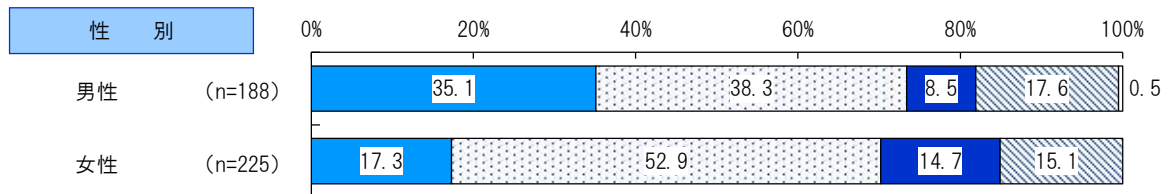
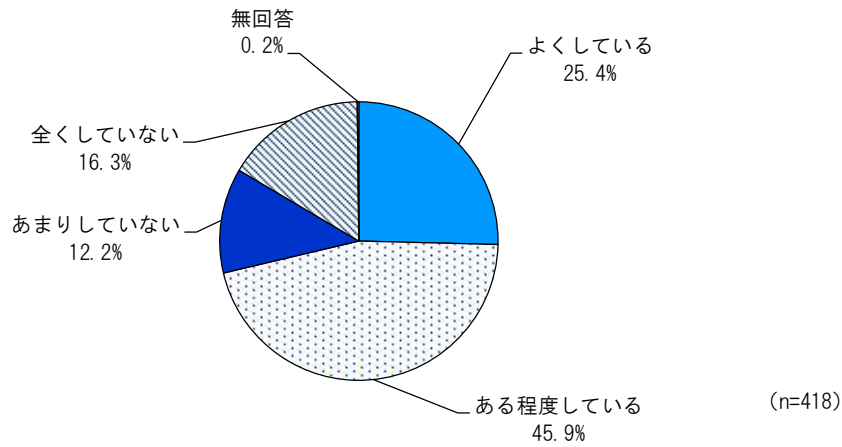


近所づきあいの考え方については、「親しく相談したり助け合ったりするのは必要だと思う」が40.2%と最も多く、次いで「わずらわしいと思うが、日常生活に便利なことが多いので必要である」が28.0%、「わずらわしいことが多いので、あまりしたくない」が14.8%などとなっています。

年齢別でみると、“40～64歳”は「わずらわしいと思うが、日常生活に便利なことが多いので必要である」が34.5%と最も多くなっています。

13 地域内の行事や町内会活動への参加

問13 あなたは現在、地域内の行事や町内会活動（祭、避難訓練、清掃・美化、運動会等）に参加・協力していますか。（○は1つだけ）



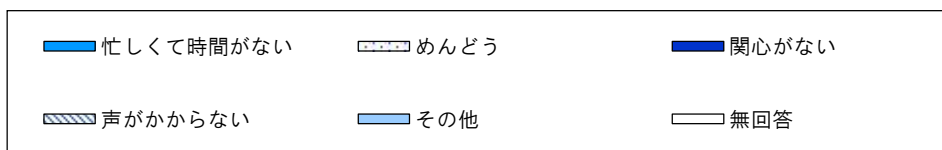
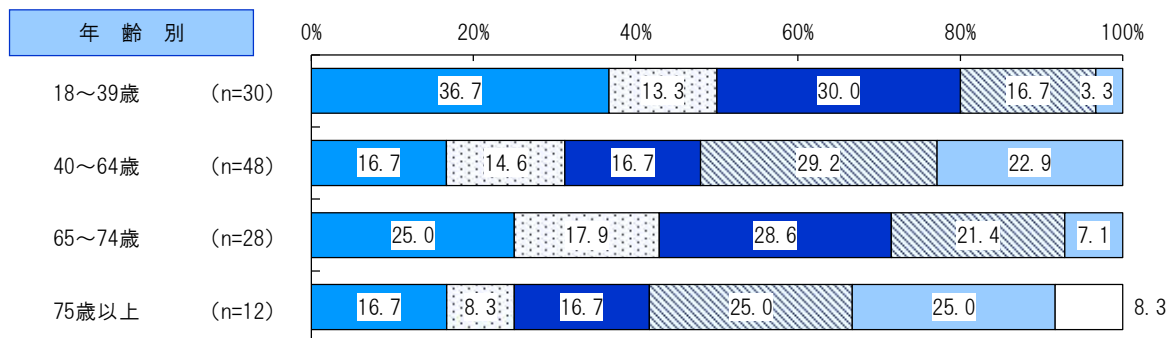
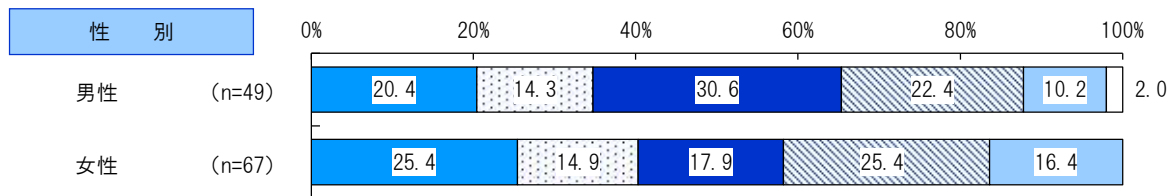
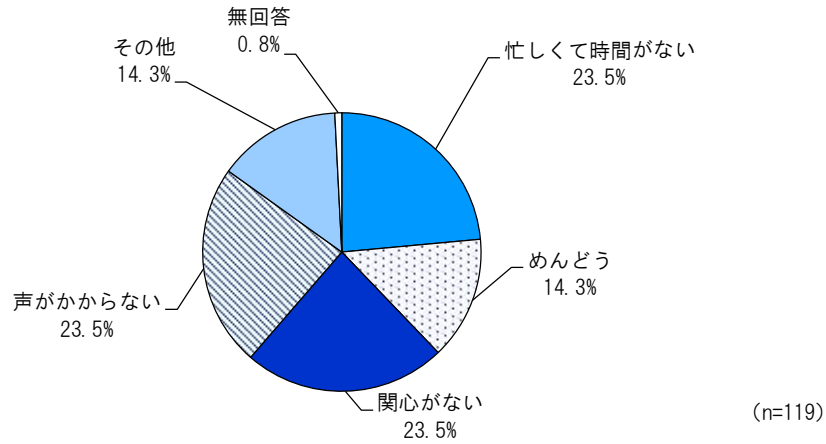
地域内の行事や町内会活動への参加については、「よくしている」が25.4%、「ある程度している」が45.9%、「あまりしていない」が12.2%、「全くしていない」が16.3%となっています。
年齢別でみると、「18~39歳」は「全くしていない」が33.9%と最も多くなっています。

14 参加しない理由

【問13で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。】

問13-1 その主な理由をお聞かせください。

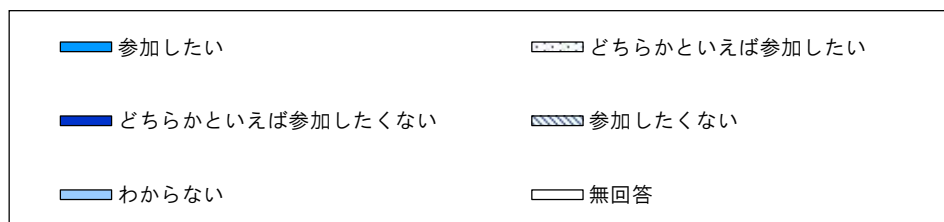
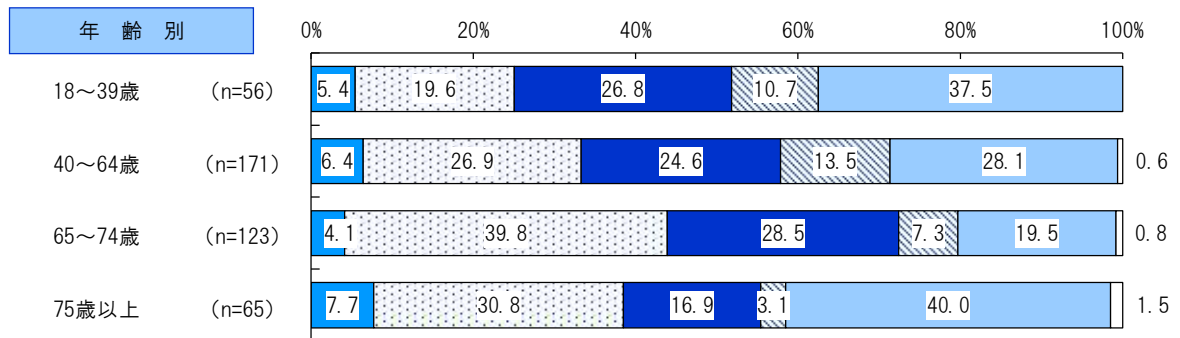
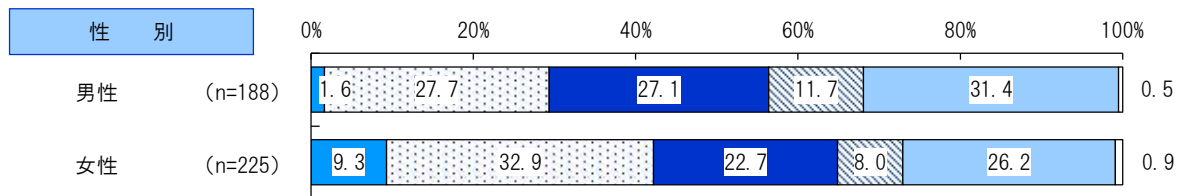
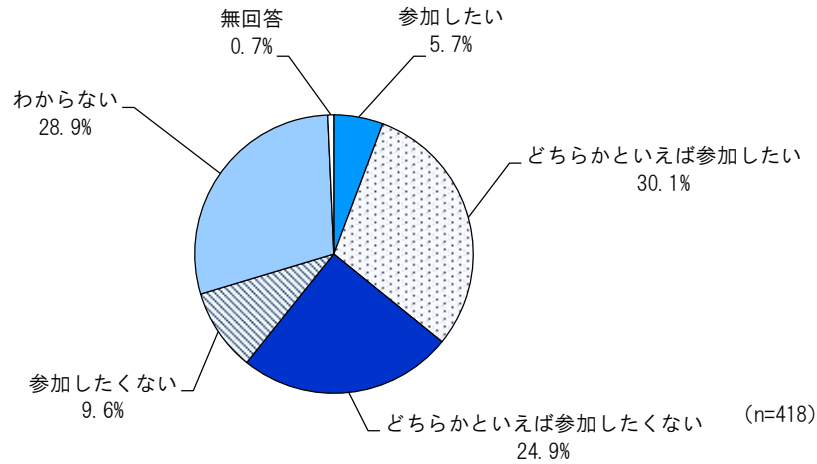
(○は1つだけ)



参加しない理由については、「忙しくて時間がない」と「関心がない」と「声がかからない」が23.5%と最も多く、次いで「めんどく」が14.3%などとなっています。

15 地域福祉を推進する活動への参加希望

問14 今後、地域の高齢者や障がいのある方、子どもへの支援など地域福祉を推進する活動について、参加したいと思いますか。(〇は1つだけ)



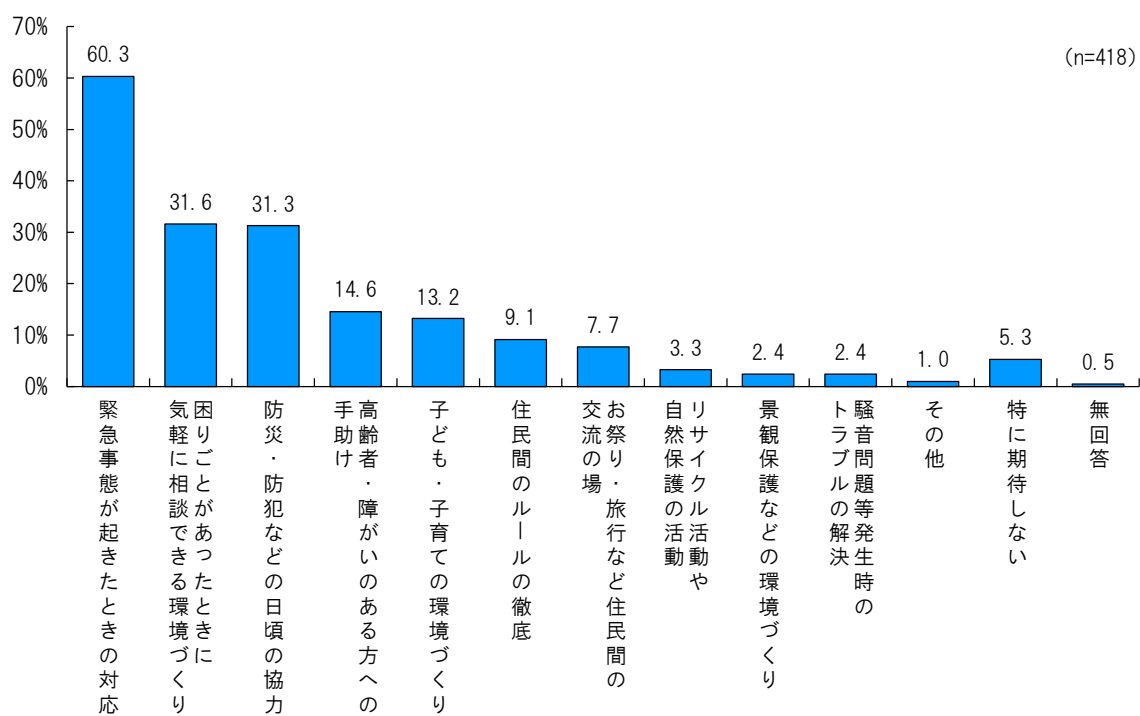
地域福祉を推進する活動への参加希望については、「どちらかといえば参加したい」が30.1%と最も多く、次いで「わからない」が28.9%、「どちらかといえば参加したくない」が24.9%などとなっています。

性別でみると、「男性」は「わからない」が31.4%と最も多くなっています。

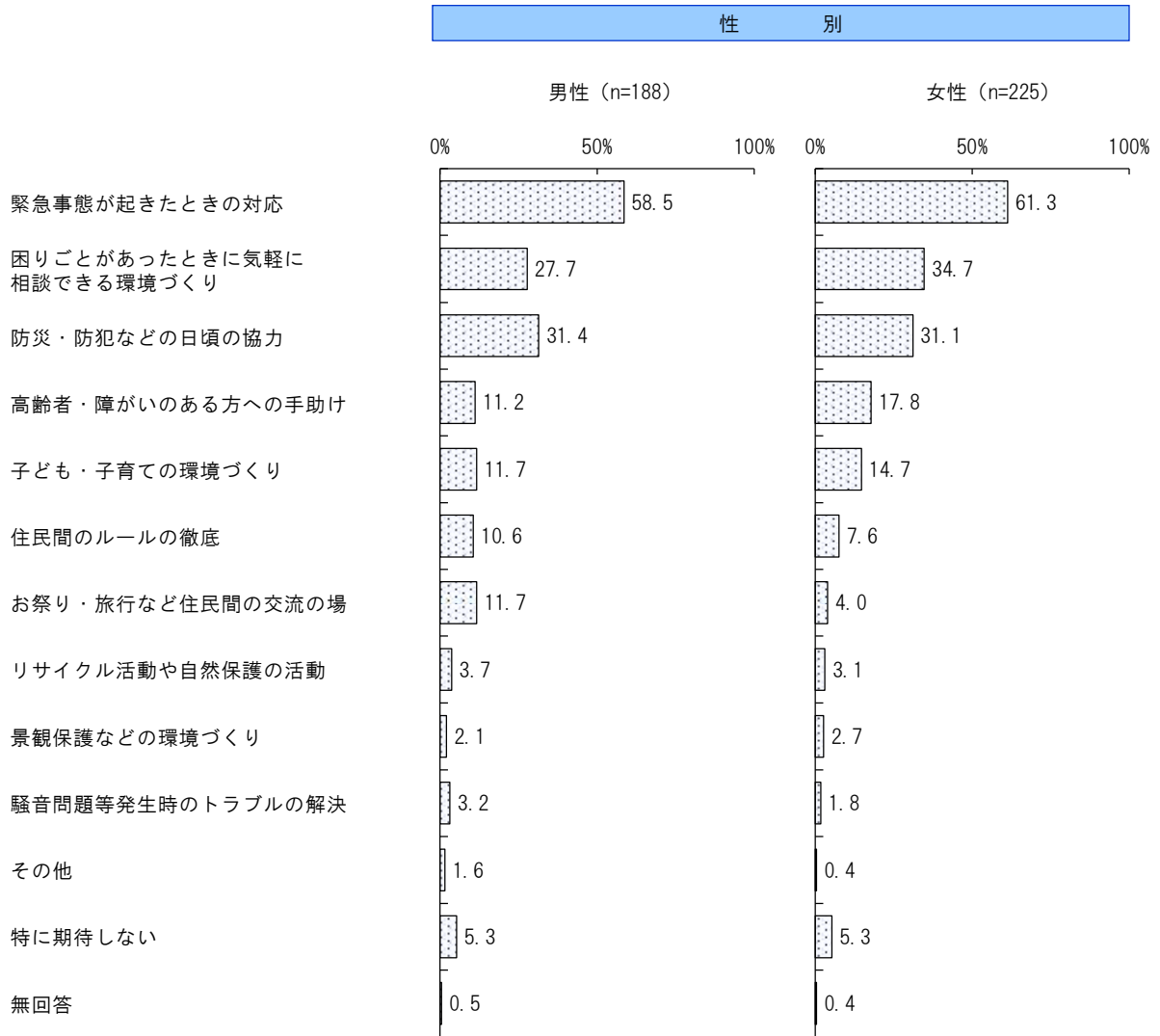
年齢別でみると、「18~39歳」、「40~64歳」、「75歳以上」は「わからない」が最も多くなっています。

16 期待する地域社会の役割

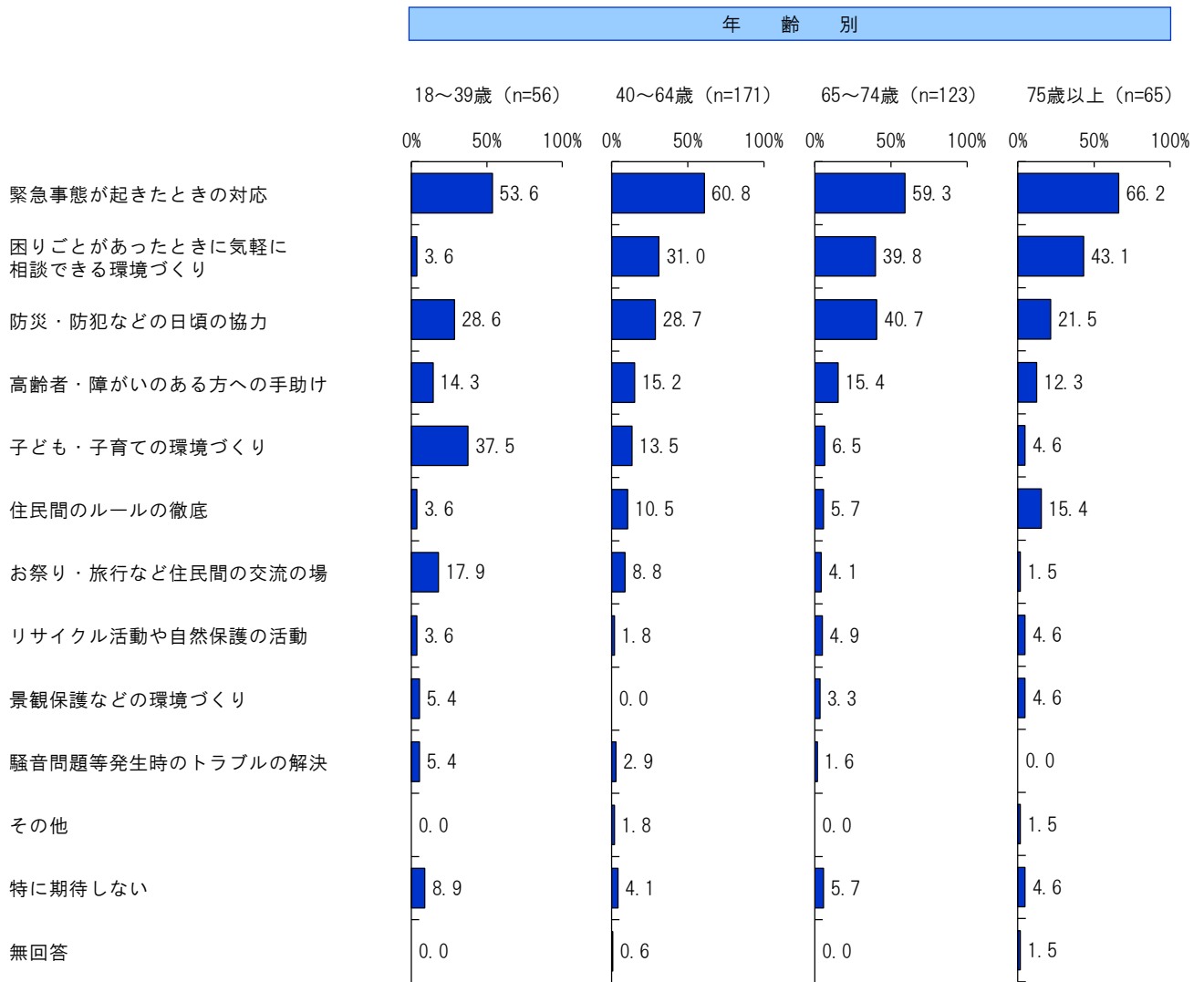
問15 あなたは地域社会の役割について、主にどのようなことを期待しますか。
(○は2つだけ)



16 期待する地域社会の役割



16 期待する地域社会の役割



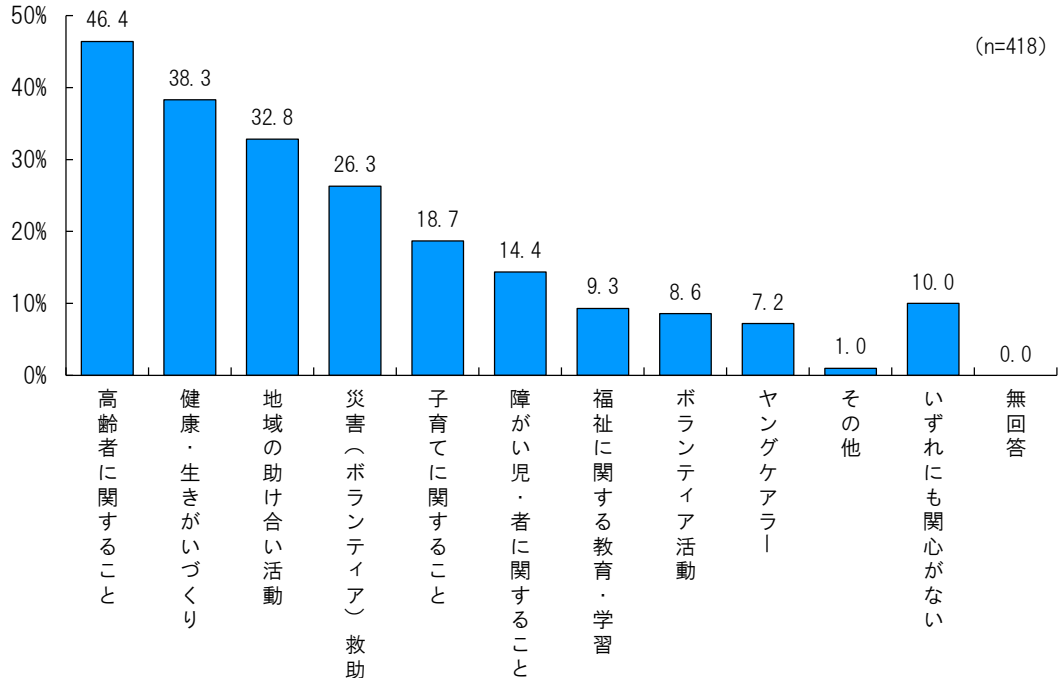
期待する地域社会の役割については、「緊急事態が起きたときの対応」が60.3%と最も多く、次いで「困りごとがあったときに気軽に相談できる環境づくり」が31.6%、「防災・防犯などの日頃の協力」が31.3%などとなっています。

3. あなたの福祉への関心、意識について

17 今、福祉について関心があること

問16 あなたが今、福祉について関心があることは、次のどれですか。

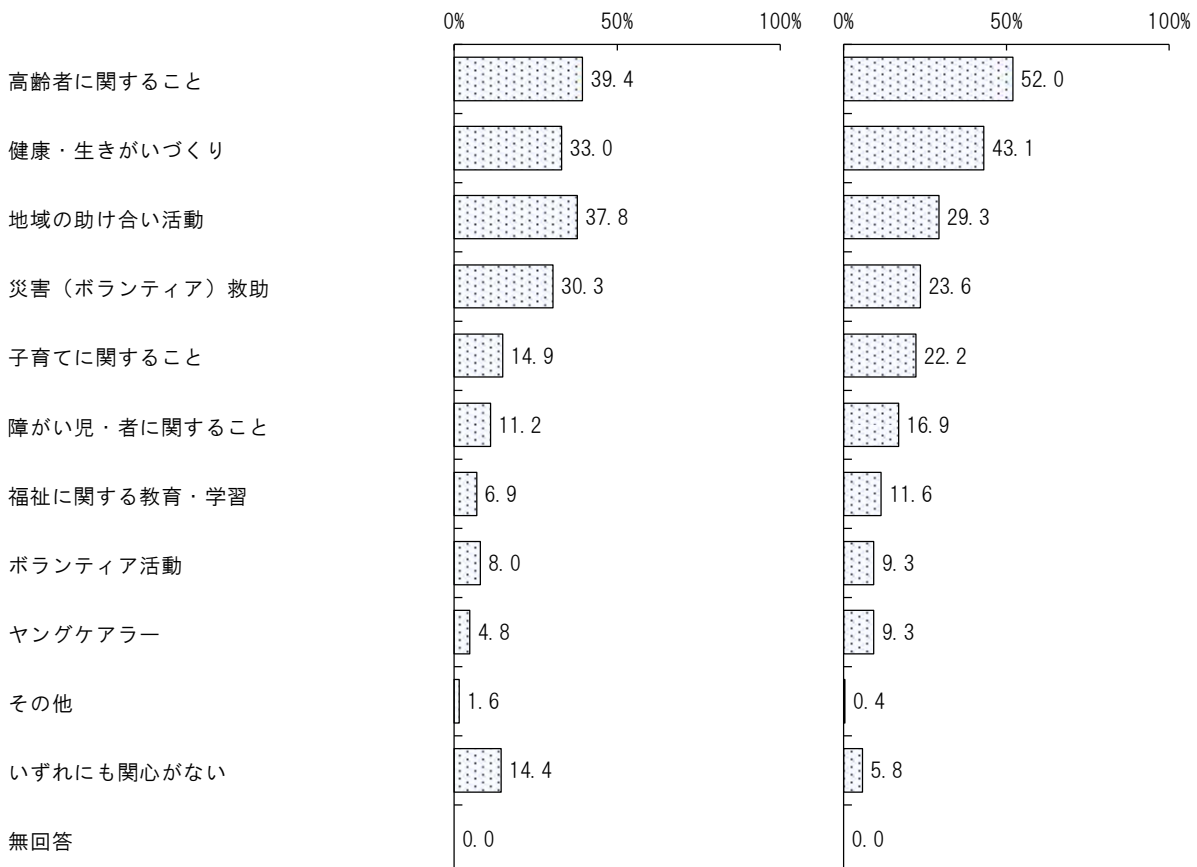
(あてはまるものすべてに○)



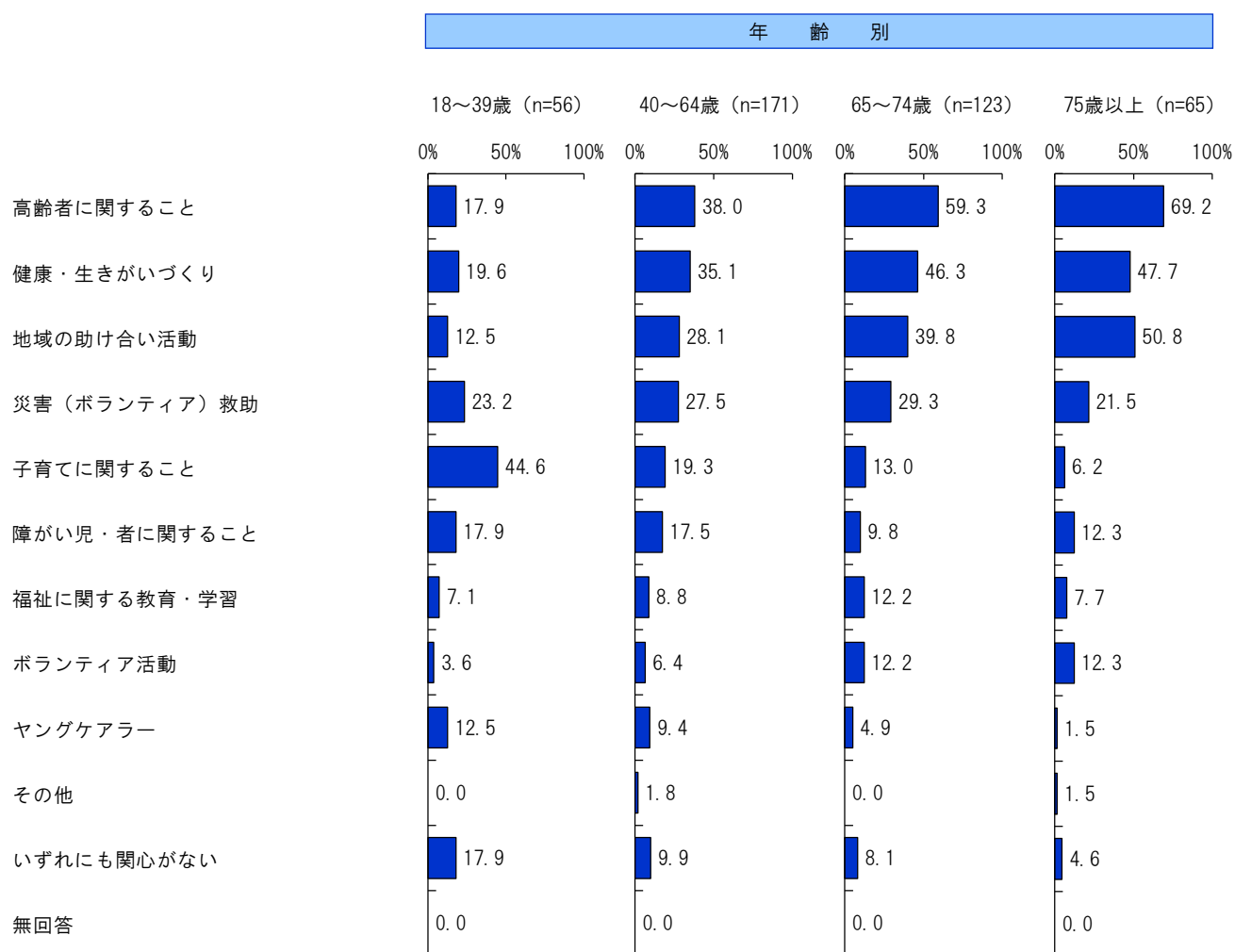
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



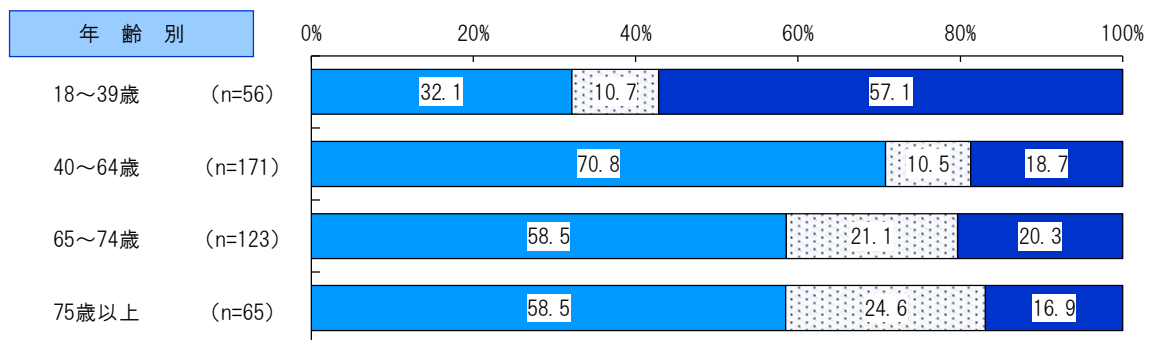
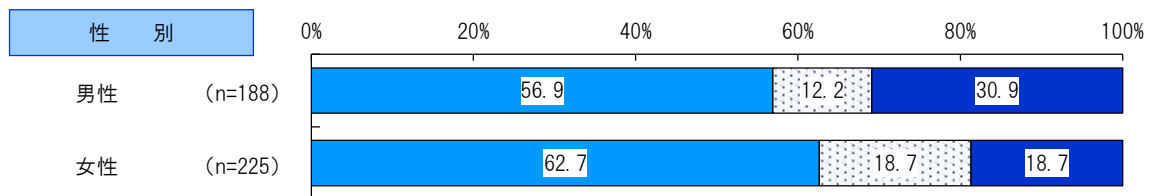
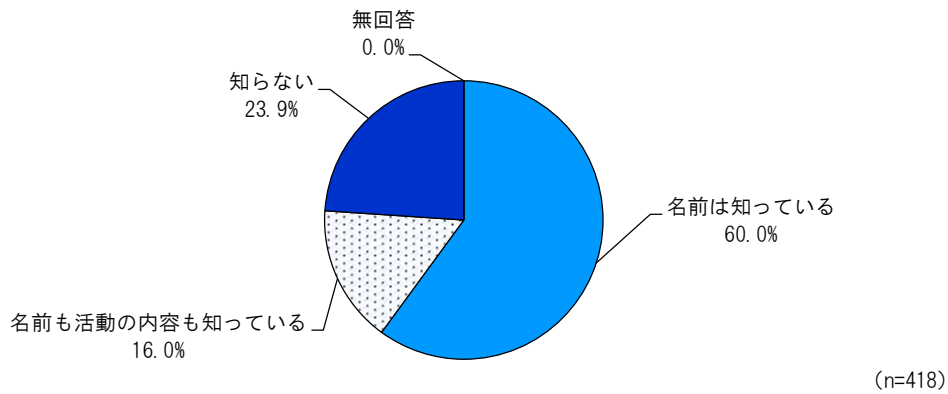
17 今、福祉について関心があること



今、福祉について関心があることについては、「高齢者に関すること」が46.4%と最も多く、次いで「健康・生きがいづくり」が38.3%、「地域の助け合い活動」が32.8%などとなっています。
年齢別でみると、“18～39歳”は「子育てに関すること」が44.6%と最も多くなっています。

18 民生委員・児童委員の認知

問17 あなたは、民生委員・児童委員をご存知ですか。 (○は1つだけ)



■ 名前を知っている ■ 名前も活動の内容も知っている ■ 知らない ■ 無回答

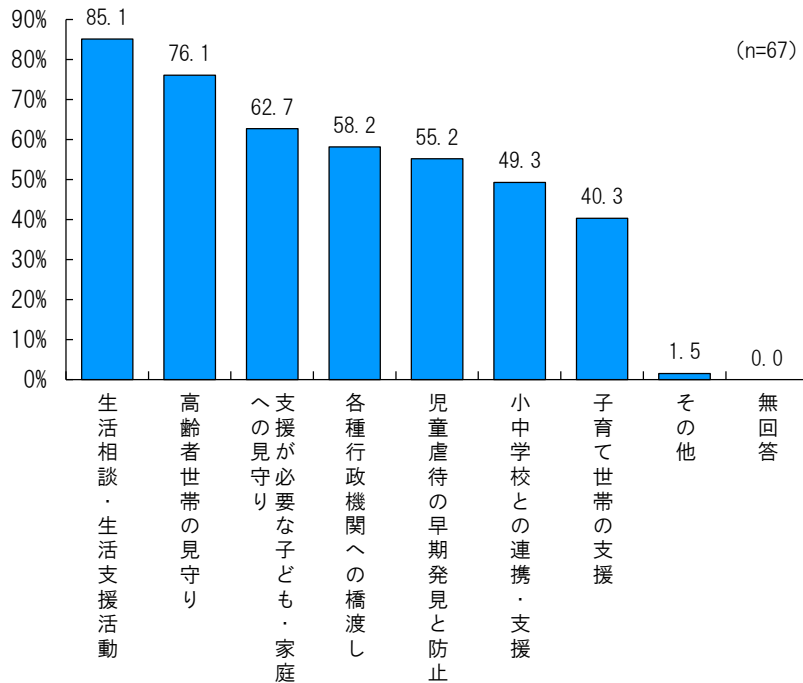
民生委員・児童委員の認知については、「名前を知っている」が60.0%、「名前も活動の内容も知っている」が16.0%、「知らない」が23.9%となっています。

年齢別でみると、「18~39歳」では「知らない」が57.1%と最も多くなっています。

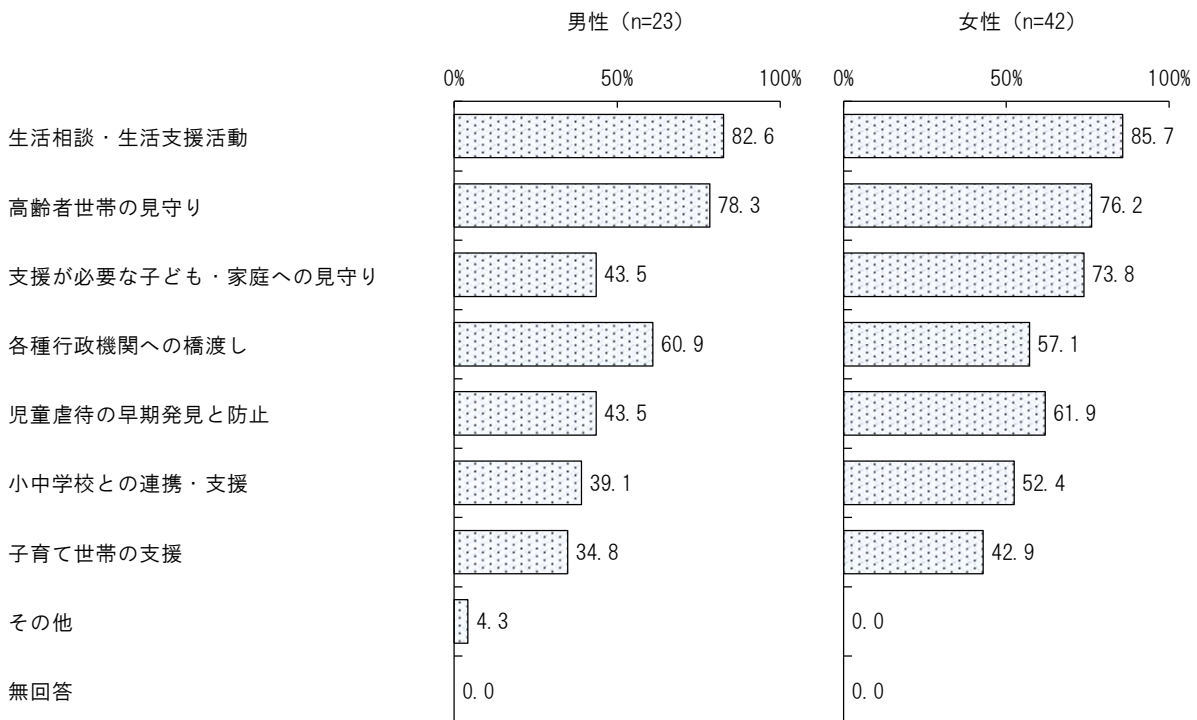
19 知っている民生委員・児童委員の活動

【問17で「2 名前も活動の内容も知っている」と回答した方にお聞きます。】

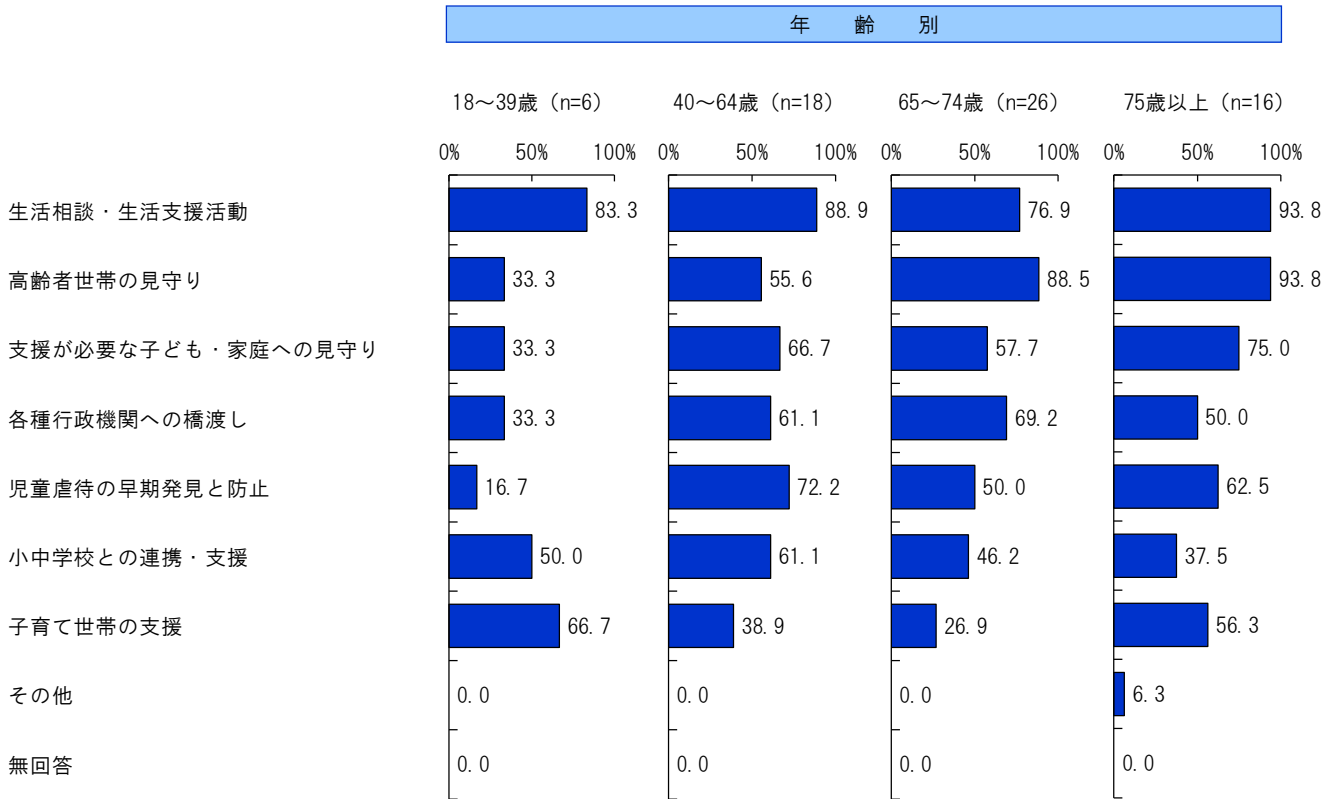
問17-1 民生委員・児童委員が行っている次の活動のうち、ご存知のものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)



性別



19 知っている民生委員・児童委員の活動



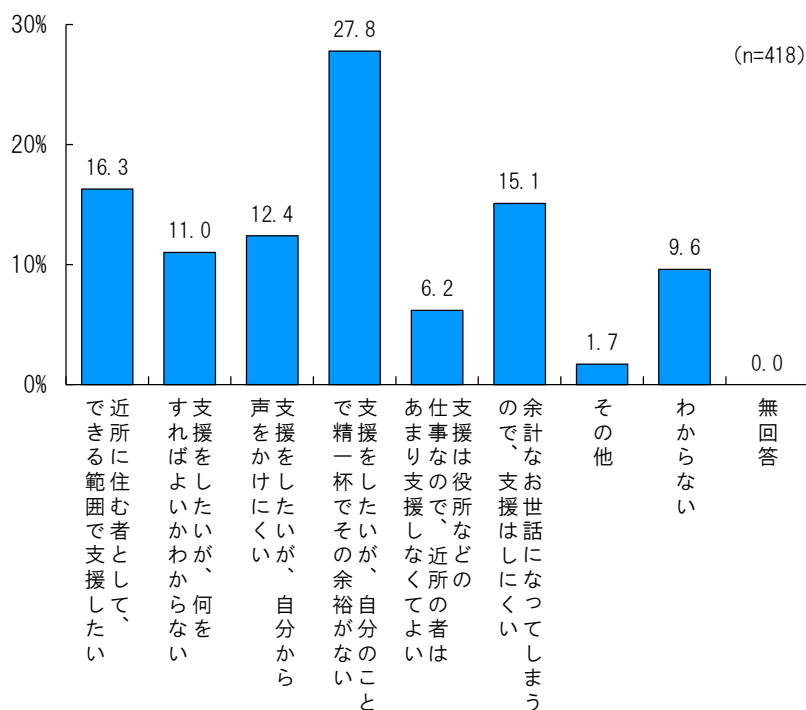
知っている民生委員・児童委員の活動については、「生活相談・生活支援活動」が85.1%と最も多く、次いで「高齢者世帯の見守り」が76.1%、「支援が必要な子ども・家庭への見守り」が62.7%などとなっています。

年齢別でみると、“65～74歳”では「高齢者世帯の見守り」が88.5%と最も多くなっています。

20 近所に住む高齢者・障がい者・子育て世帯に対する支援への考え

問18 近所に住む「ひとり暮らしの高齢者」、「ねたきりの高齢者や障がいのある方のいる家族」、「子育てをしている家族」などに対する支援（日常生活上のお手伝いなど）について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

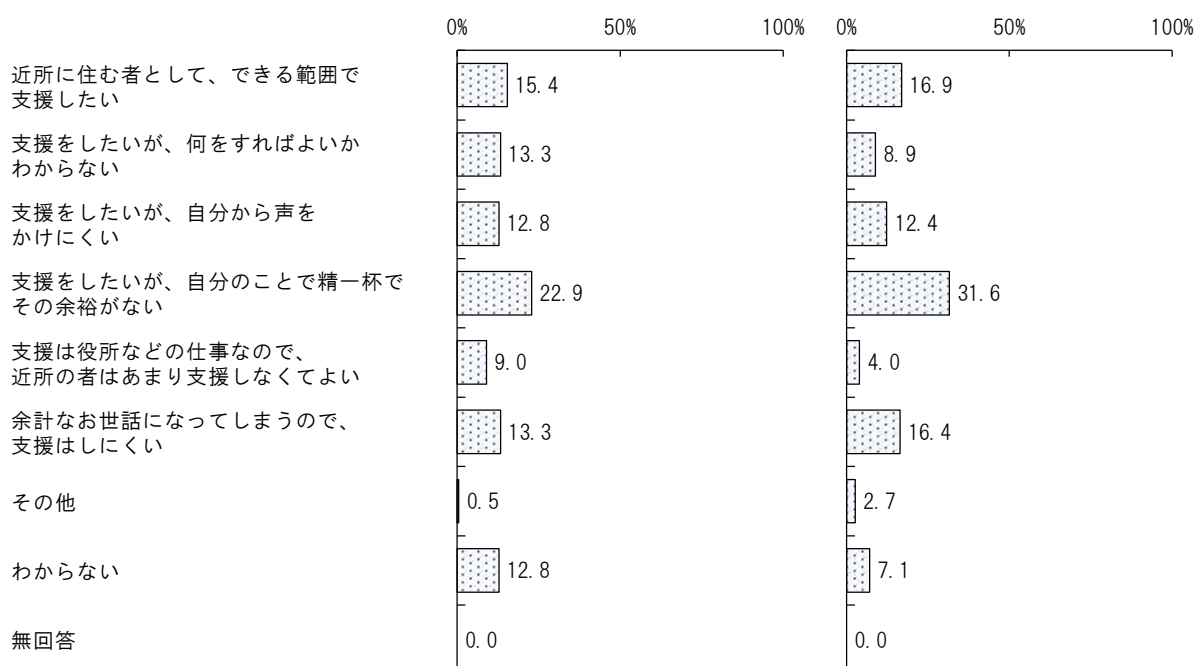
(○は1つだけ)



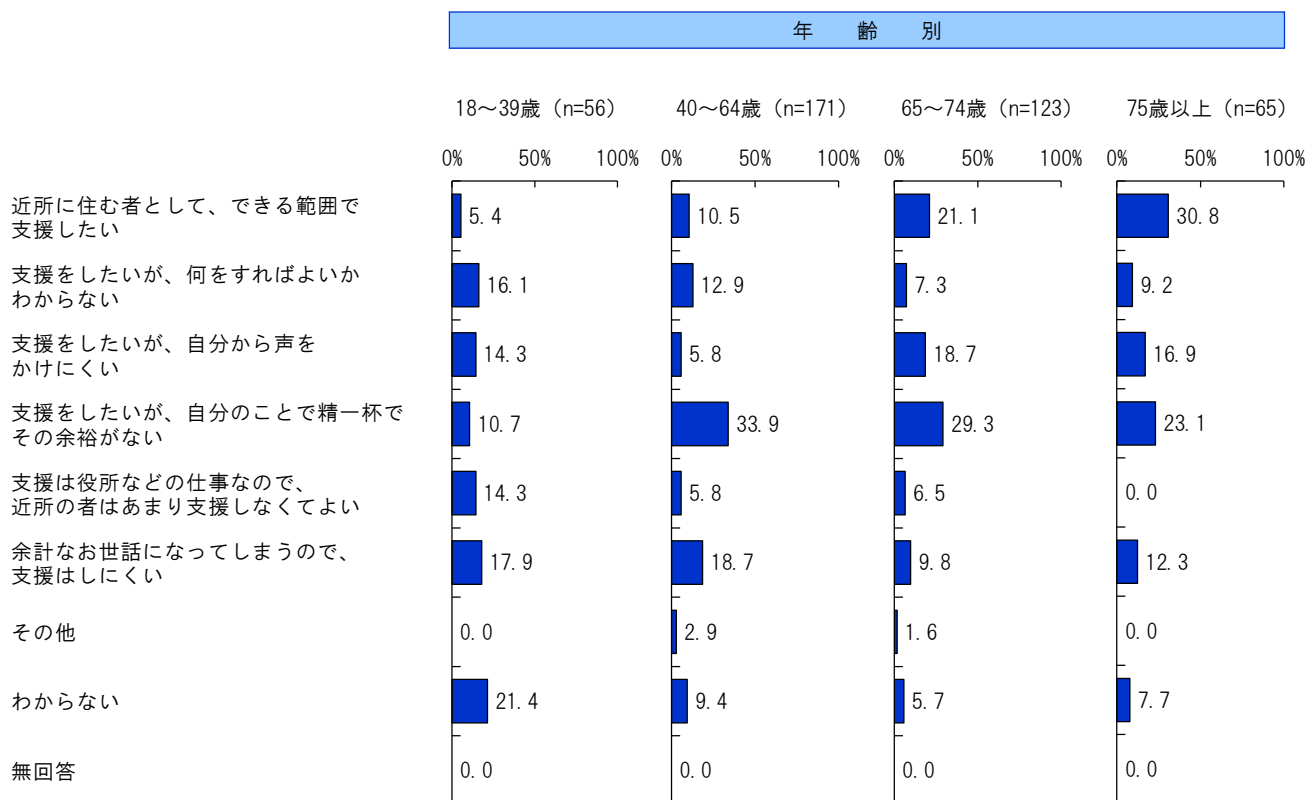
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



20 近所に住む高齢者・障がい者・子育て世帯に対する支援への考え



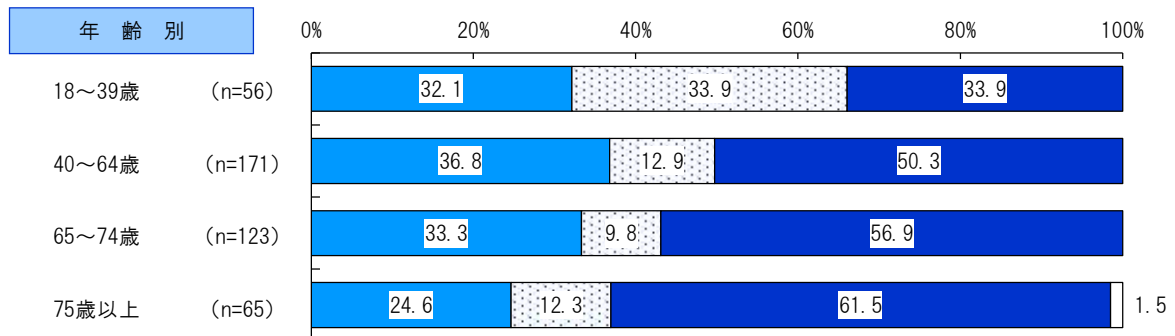
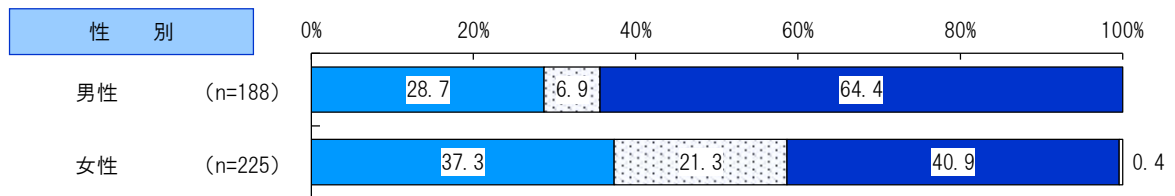
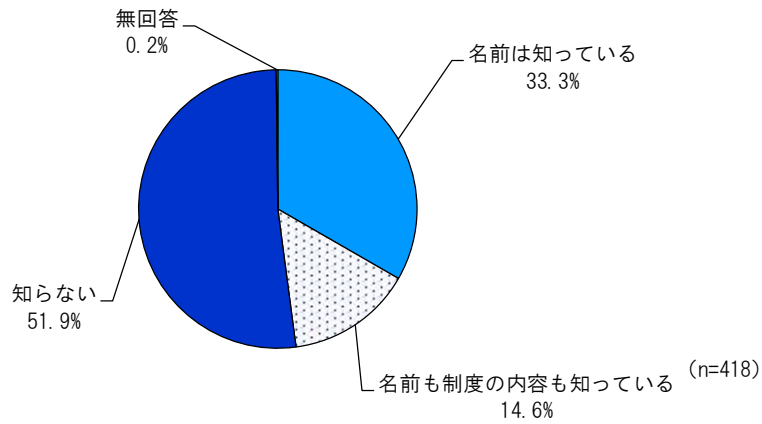
近所に住む高齢者・障がい者・子育て世帯に対する支援への考えについては、「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が27.8%と最も多く、次いで「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」が16.3%、「余計なお世話になってしまうので、支援はしにくい」が15.1%などとなっています。

年齢別でみると、“18～39歳”では「わからない」が21.4%と最も多くなっています。また、“75歳以上”では「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」が30.8%と最も多くなっています。

21 ヘルプマークの認知

問19 あなたは、ヘルプマークを知っていますか。

(○は1つだけ)

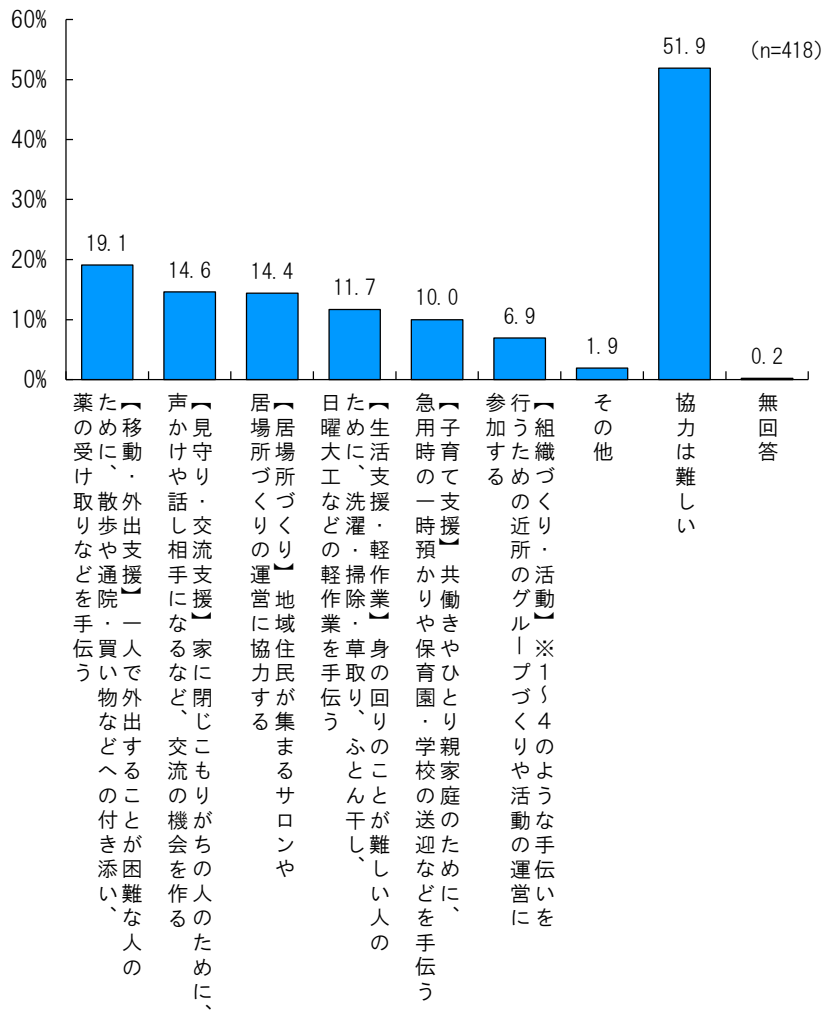


■ 名前を知っている ■ 名前も制度の内容も知っている ■ 知らない ■ 無回答

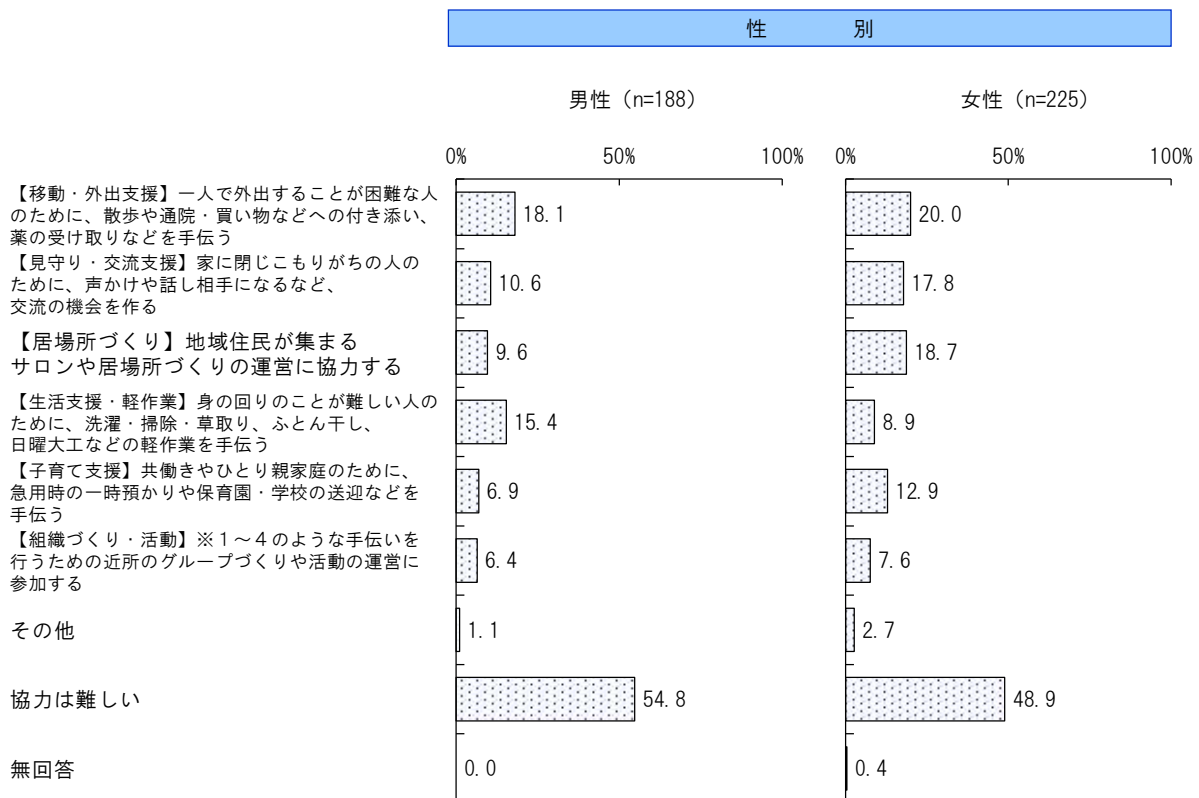
ヘルプマークの認知については、「名前を知っている」が33.3%、「名前も制度の内容も知っている」が14.6%、「知らない」が51.9%となっています。

22 地域福祉を推進するためにできると思うこと

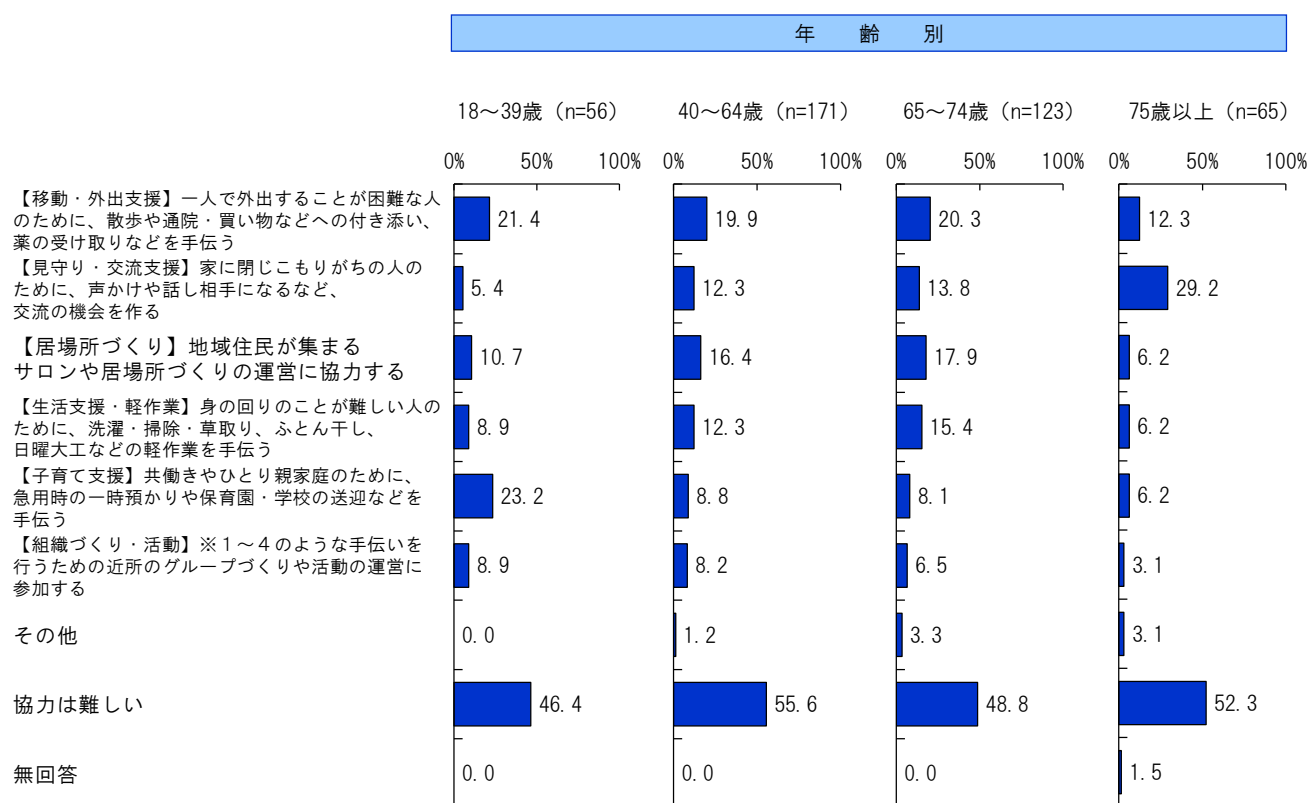
問20 地域内の福祉を推進するために「こんなことであれば私にもできる」と思うことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)



22 地域福祉を推進するためにできると思うこと



22 地域福祉を推進するためにできると思うこと



※1～4とは

選択肢1：【移動・外出支援】一人で外出することが困難な人のために、散歩や通院・買い物などへの付き添い、薬の受け取りなどを手伝える

選択肢2：【見守り・交流支援】家に閉じこもりがちな人のために、声かけや話し相手になるなど、交流の機会を作る

選択肢3：【生活支援・軽作業】身の回りのことが難しい人のために、洗濯・掃除・草取り、ふとん干し、日曜大工などの軽作業を手伝える

選択肢4：【子育て支援】共働きやひとり親家庭のために、急用時の一時預かりや保育園・学校の送迎などを手伝える

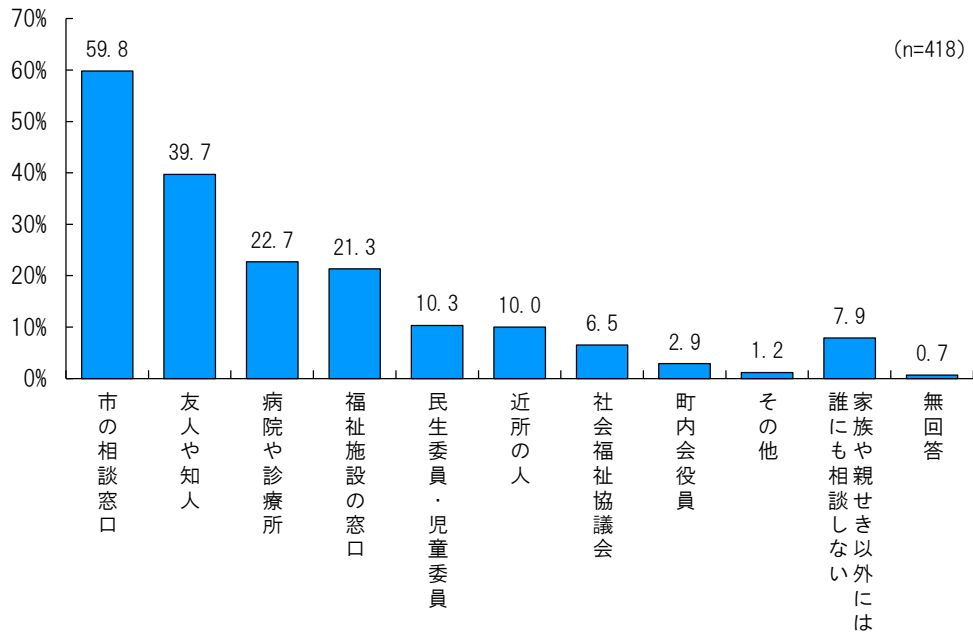
地域福祉を推進するためにできると思うことについては、「【移動・外出支援】一人で外出することが困難な人のために、散歩や通院・買い物などへの付き添い、薬の受け取りなどを手伝える」が19.1%と最も多く、次いで「【見守り・交流支援】家に閉じこもりがちな人のために、声かけや話し相手になるなど、交流の機会を作る」が14.6%、「【居場所づくり】地域住民が集まるサロンや居場所づくりの運営に協力する」が14.4%などとなっています。また、「協力は難しい」が51.9%となっています。

年齢別でみると、“18～39歳”では「【子育て支援】共働きやひとり親家庭のために、急用時の一時預かりや保育園・学校の送迎などを手伝える」が23.2%と最も多くなっています。また、“75歳以上”では「【見守り・交流支援】家に閉じこもりがちな人のために、声かけや話し相手になるなど、交流の機会を作る」が29.2%と最も多くなっています。

4. 福祉サービスに対する意識について

23 家族や親せき以外に相談できる相手

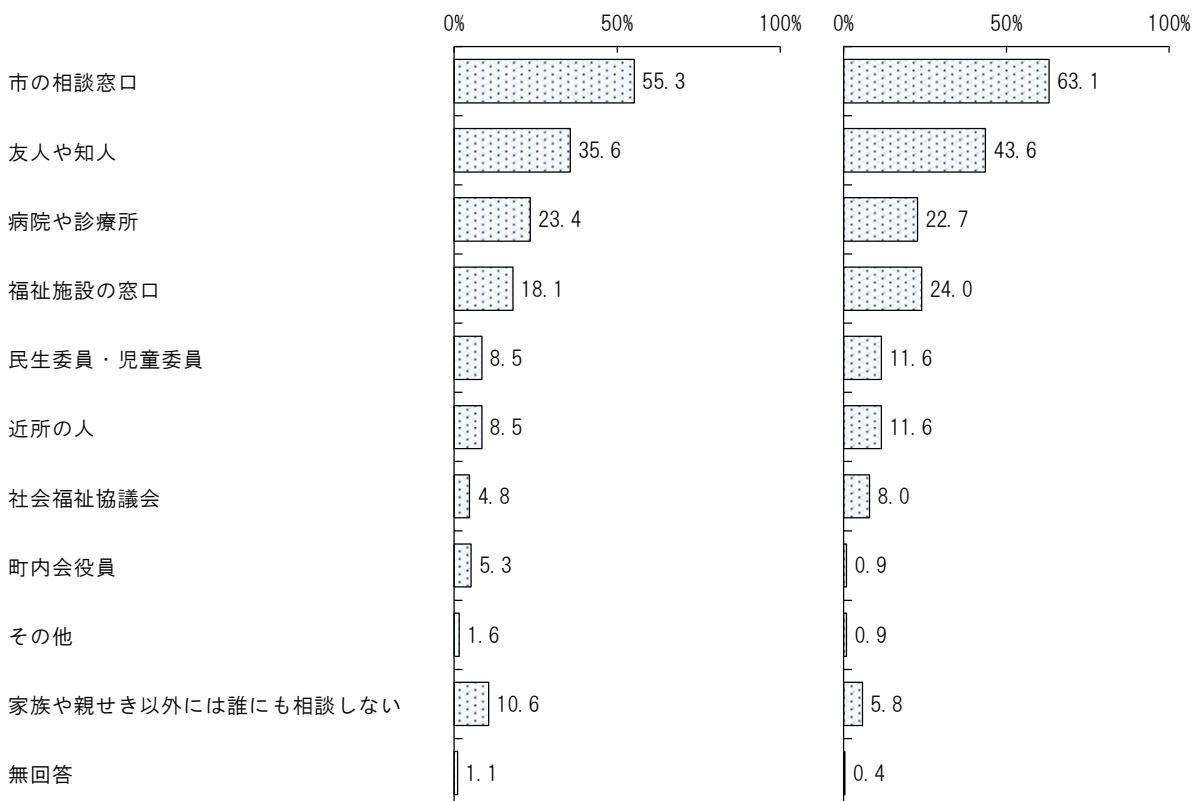
問21 あなたが生活上で困ったり、福祉サービスが必要になったりしたとき、家族や親せき以外に誰（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）



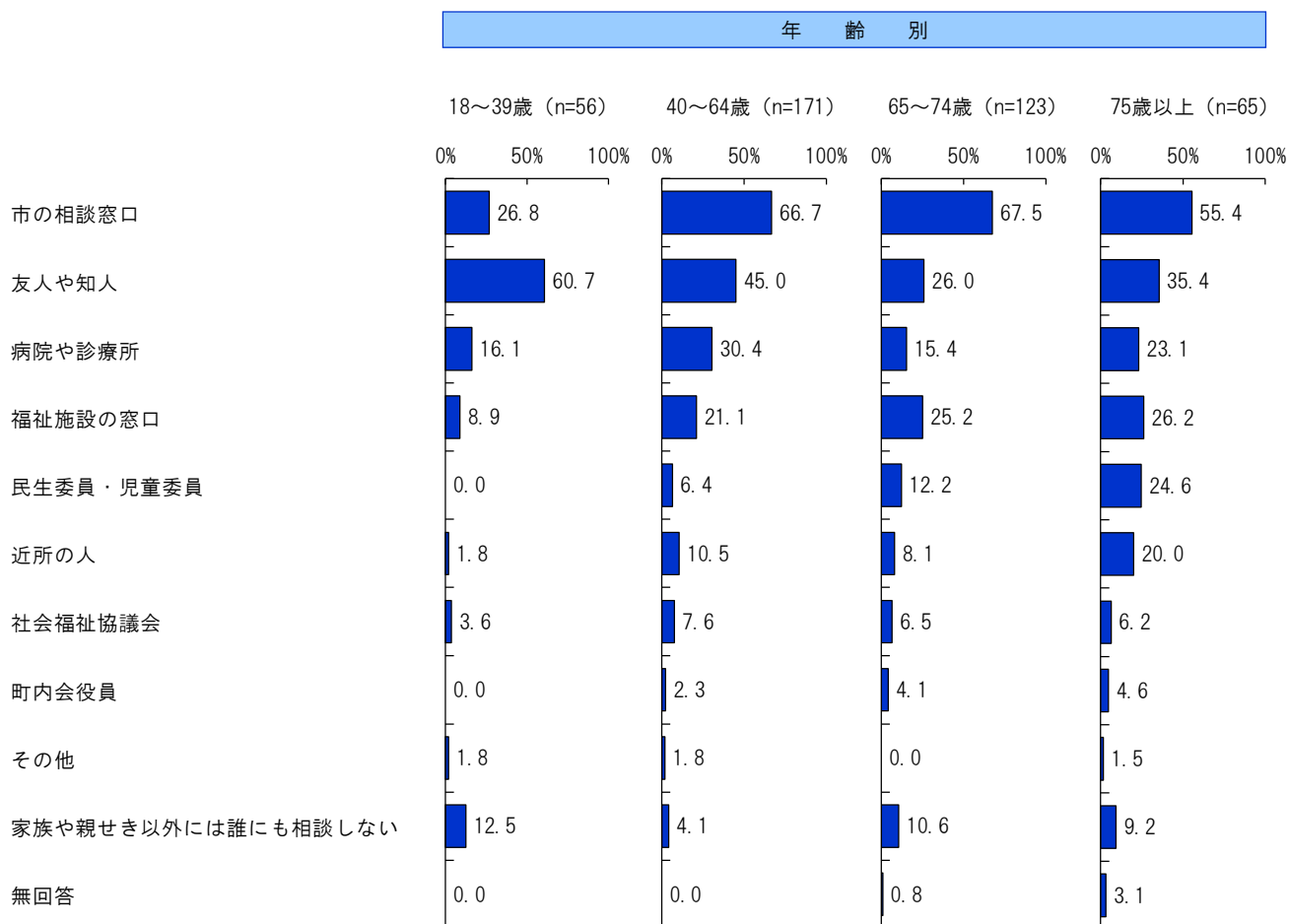
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



23 家族や親せき以外に相談できる相手

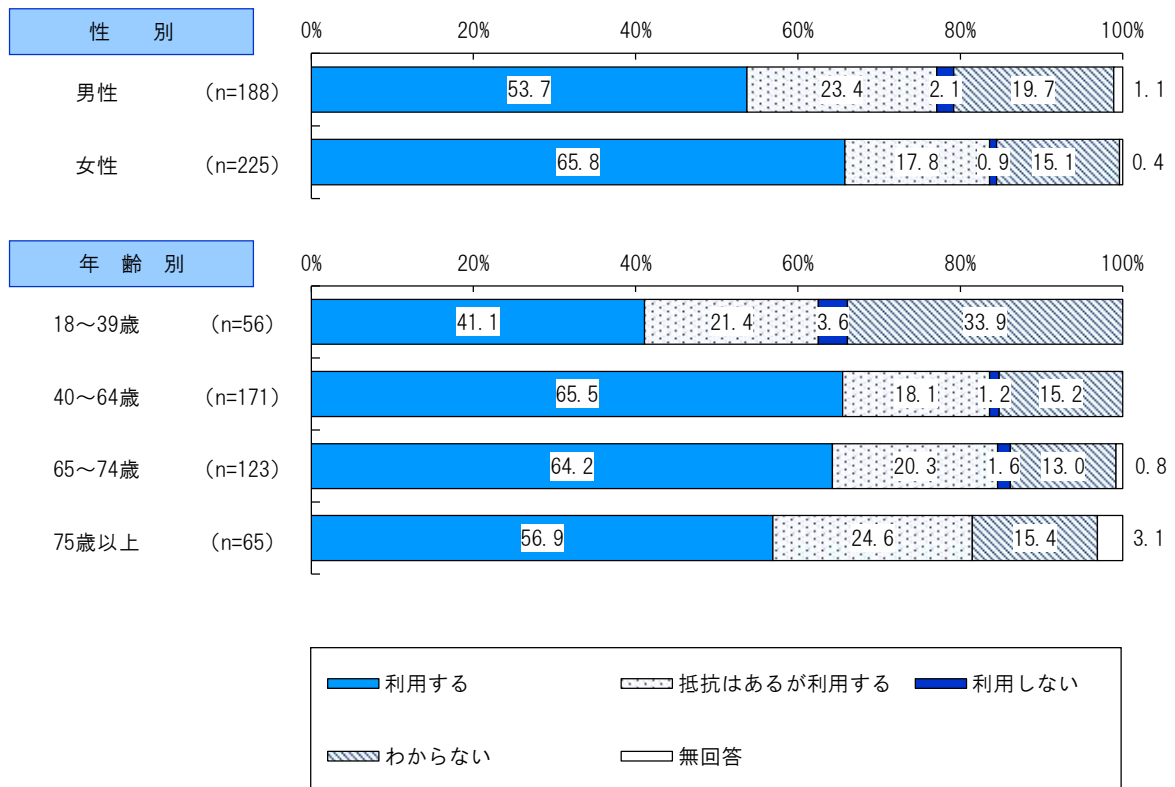
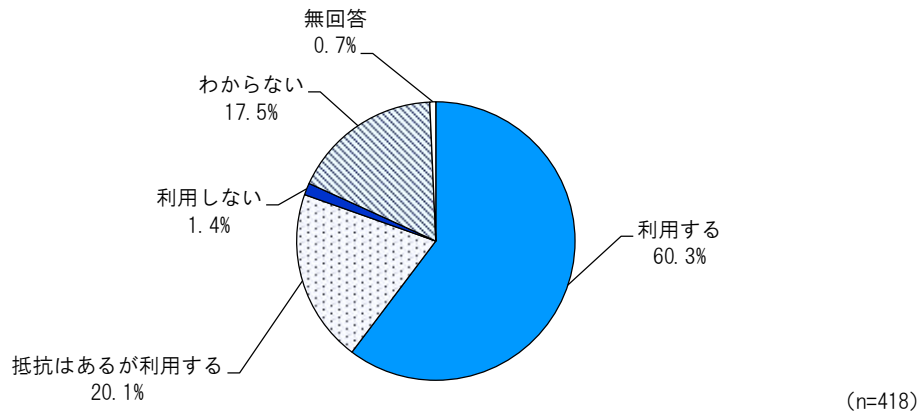


家族や親せき以外に相談できる相手については、「市の相談窓口」が59.8%と最も多く、次いで「友人や知人」が39.7%、「病院や診療所」が22.7%などとなっています。

年齢別でみると、“18～39歳”では「友人や知人」が60.7%と最も多くなっています。

24 福祉サービスが必要になったとき、すぐに利用するか

問22 あなた自身やあなたの家族に、福祉サービスが必要になったとき、すぐにサービスを利用しますか。
(○は1つだけ)



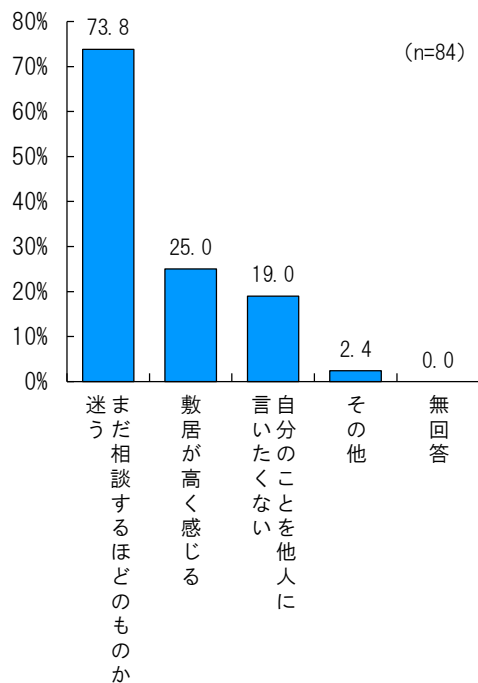
福祉サービスが必要になったとき、すぐに利用するかについては、「利用する」が60.3%、「抵抗はあるが利用する」が20.1%、「利用しない」が1.4%、「わからない」が17.5%となっています。

25 抵抗はあるが利用する理由

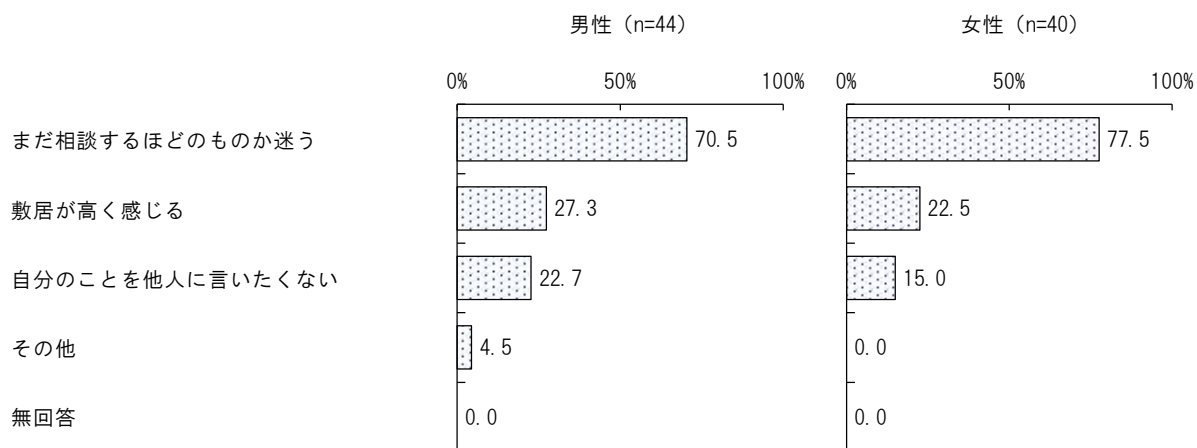
【問22で「2 抵抗はあるが利用する」と回答した方にお聞きします。】

問22-1 抵抗はあるが利用する主な理由をお聞かせください。

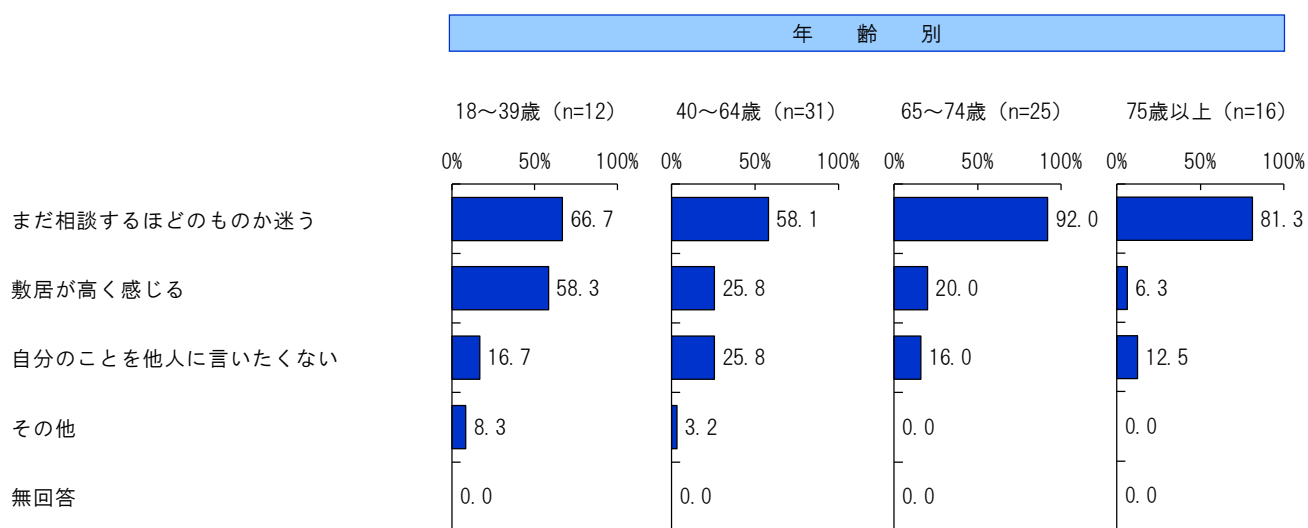
(あてはまるものすべてに○)



性別



25 抵抗はあるが利用する理由



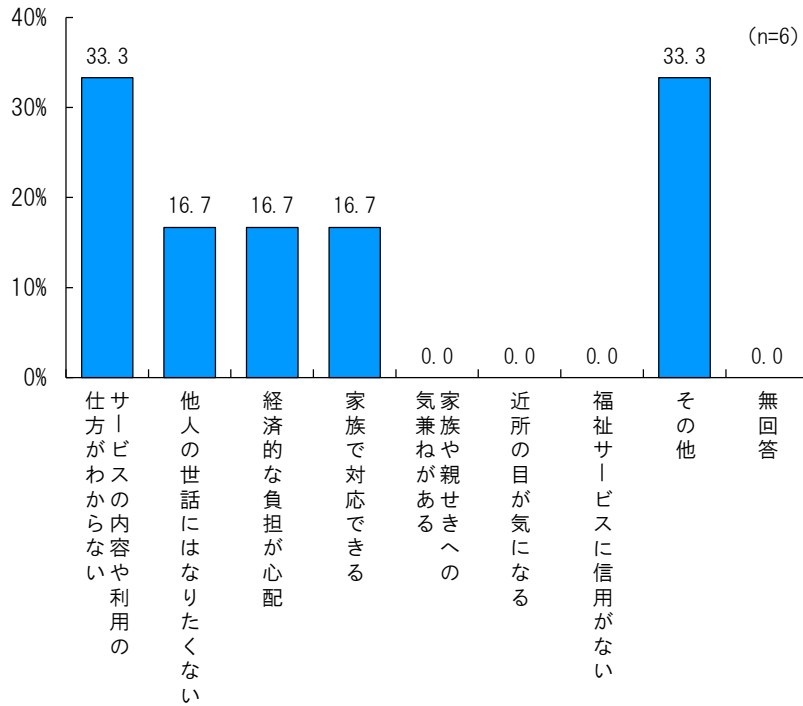
抵抗はあるが利用する理由については、「まだ相談するほどのものか迷う」が73.8%と最も多く、次いで「敷居が高く感じる」が25.0%、「自分のことを他人に言いたくない」が19.0%などとなっています。

26 すぐにサービスを利用しない理由

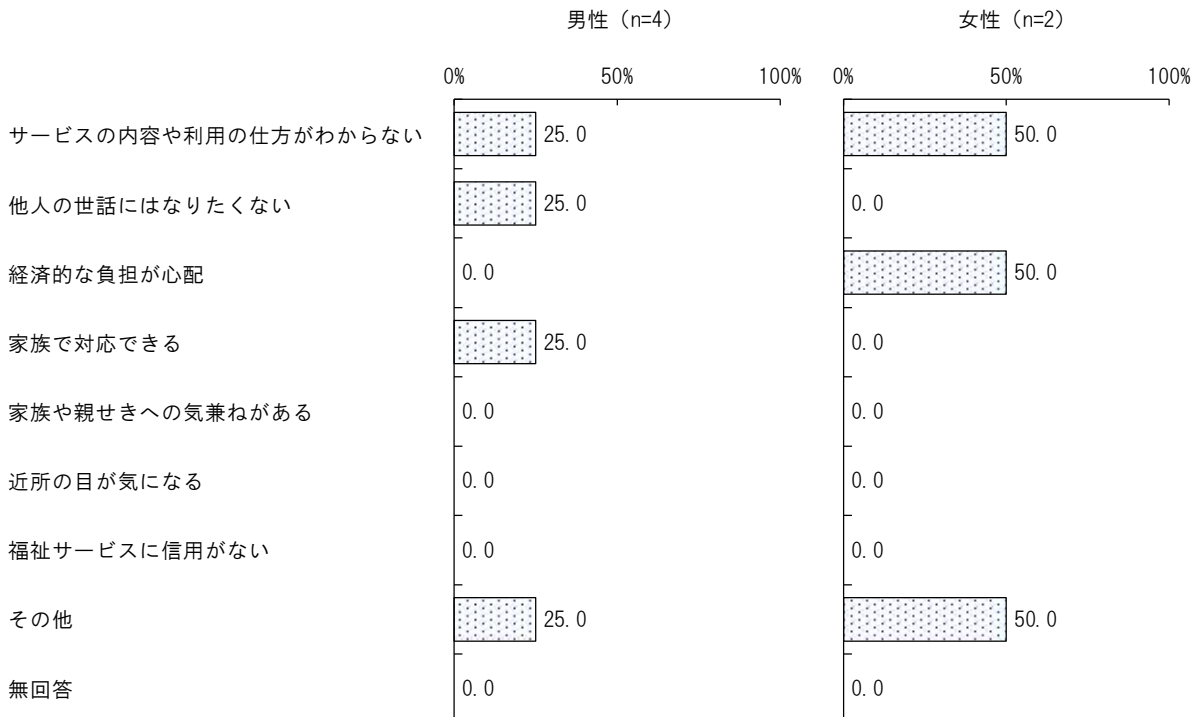
【問22で「3 利用しない」と回答した方にお聞きします。】

問22-2 すぐにサービスを利用しない主な理由をお聞かせください。

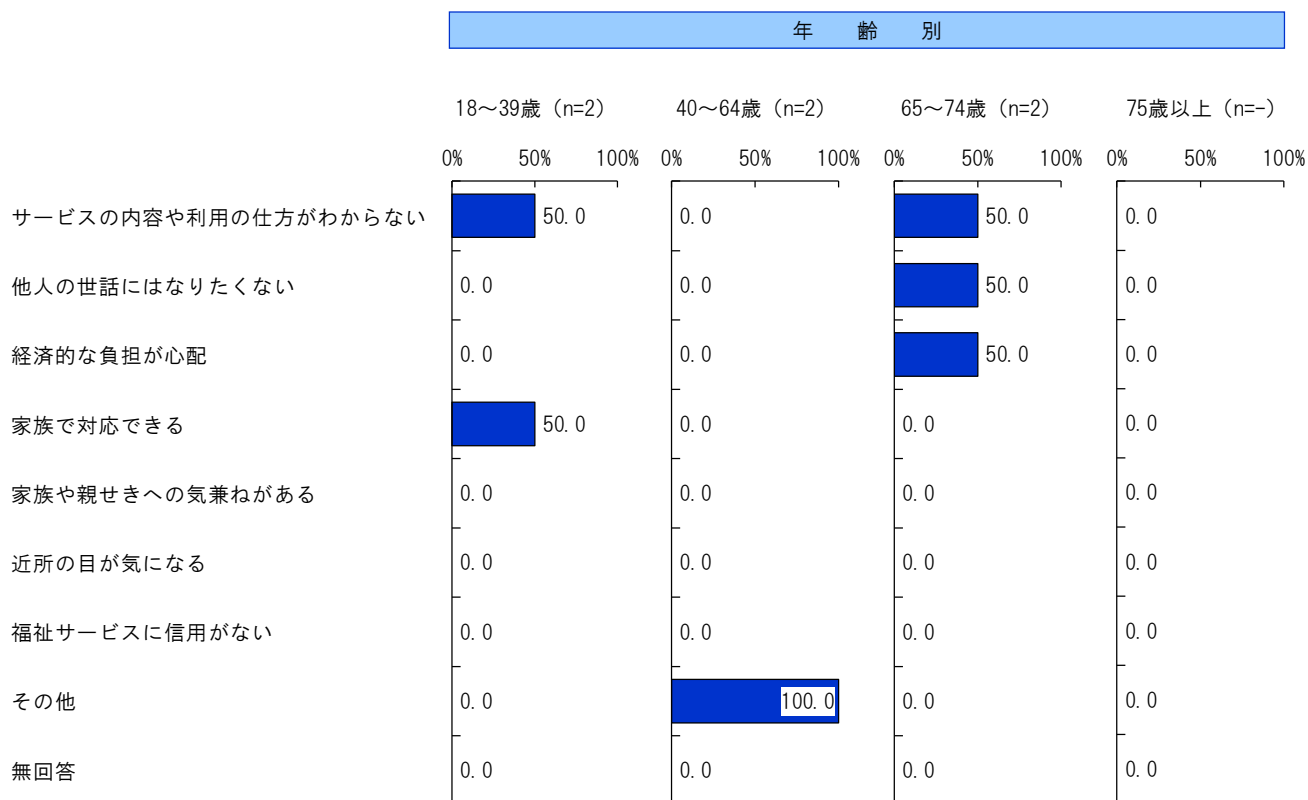
(あてはまるものすべてに○)



性別



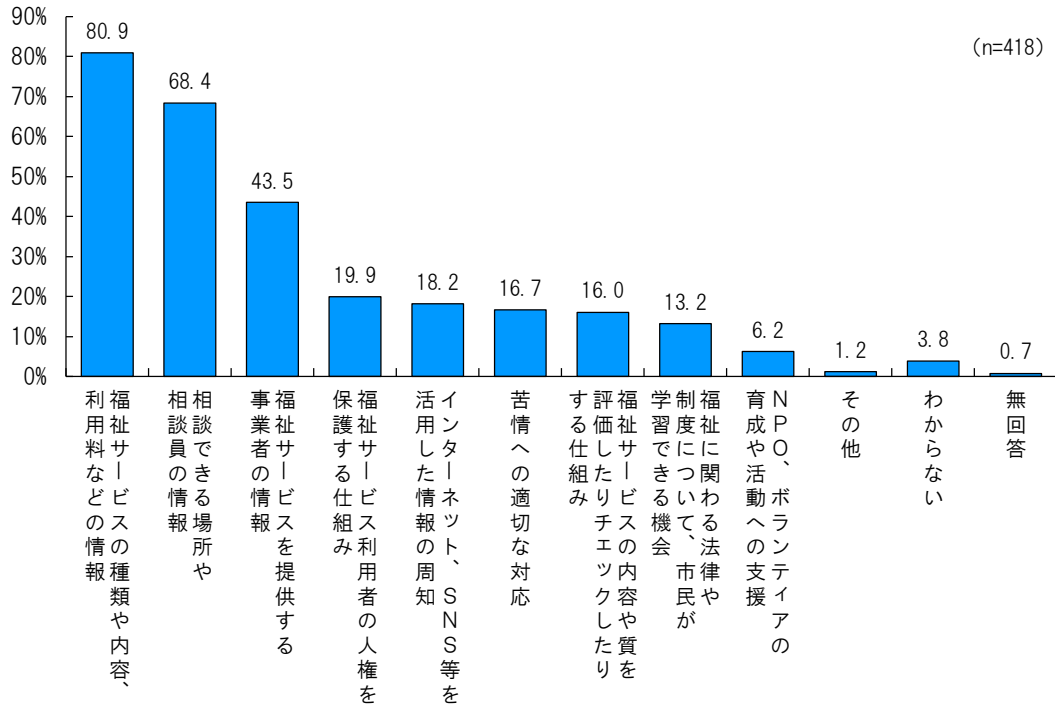
26 すぐにサービスを利用しない理由



すぐにサービスを利用しない理由については、「サービスの内容や利用の仕方がわからない」が33.3%と最も多く、次いで「他人の世話にはなりたくない」、「経済的な負担が心配」、「家族で対応できる」が16.7%などとなっています。

27 安心して福祉サービスを利用するために必要なこと

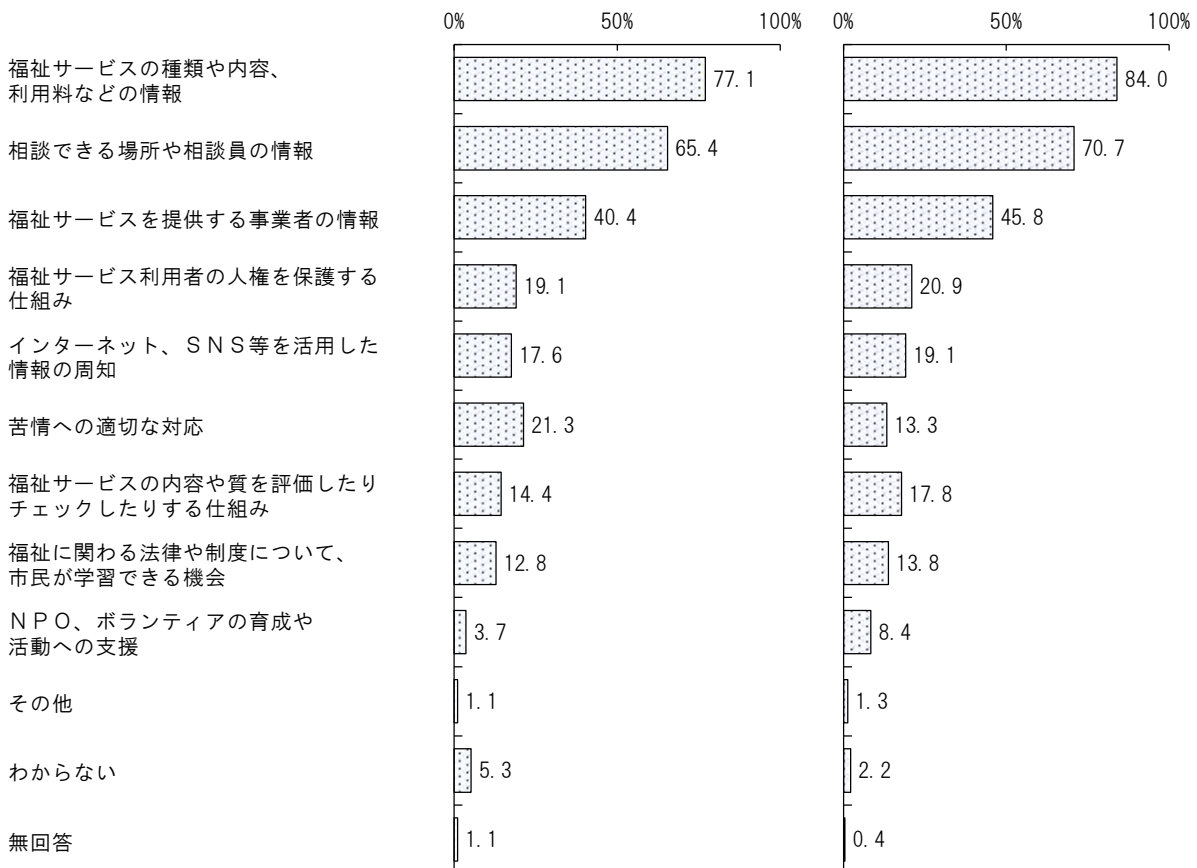
問23 福祉サービスを安心して利用できる環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



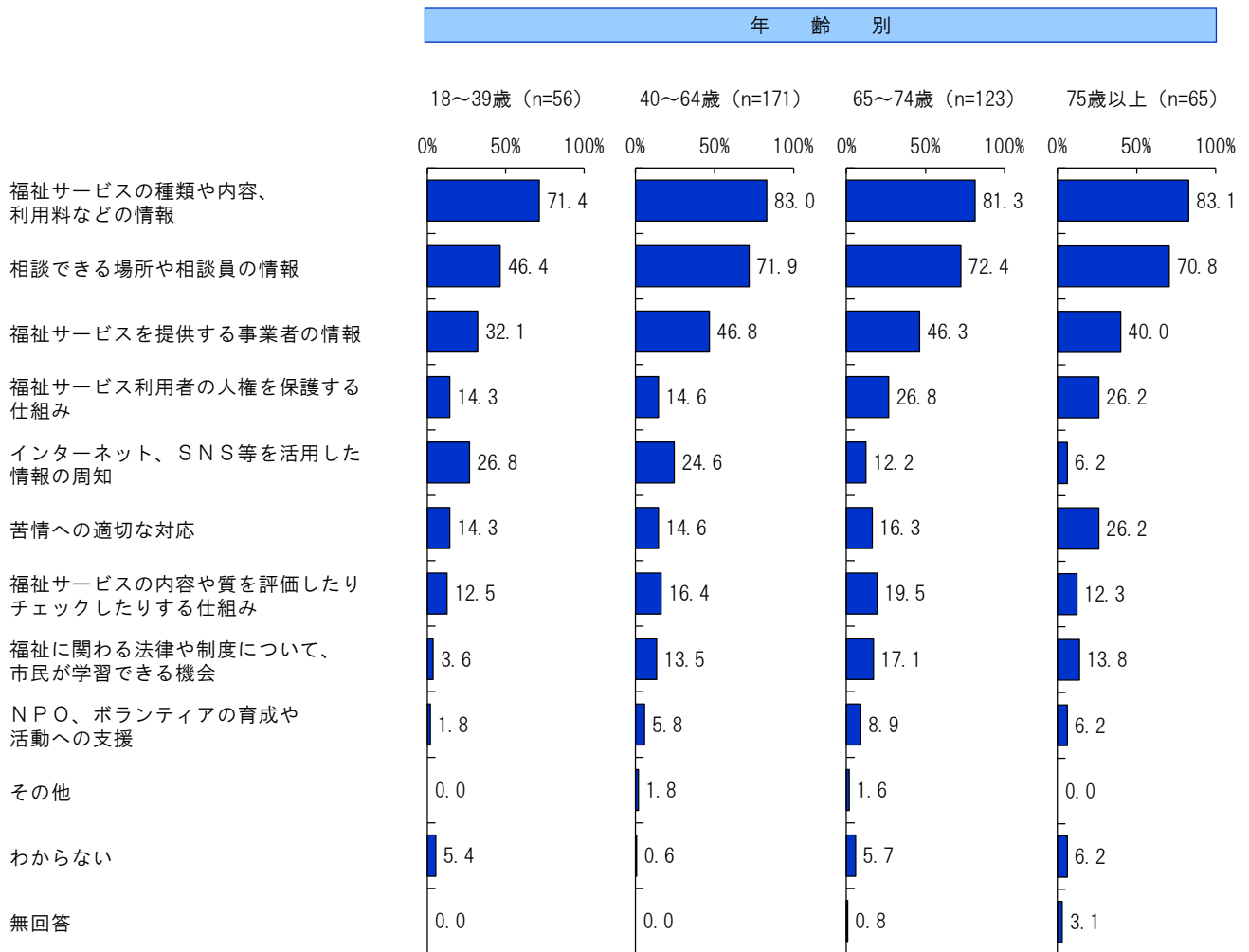
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



27 安心して福祉サービスを利用するために必要なこと

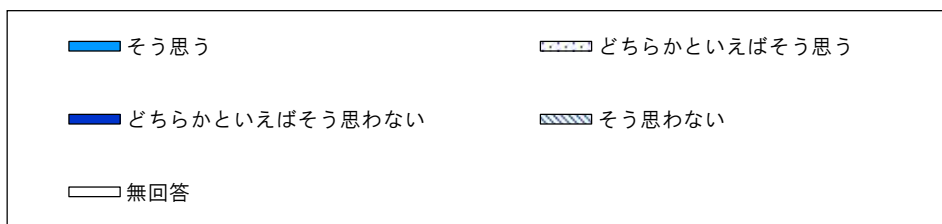
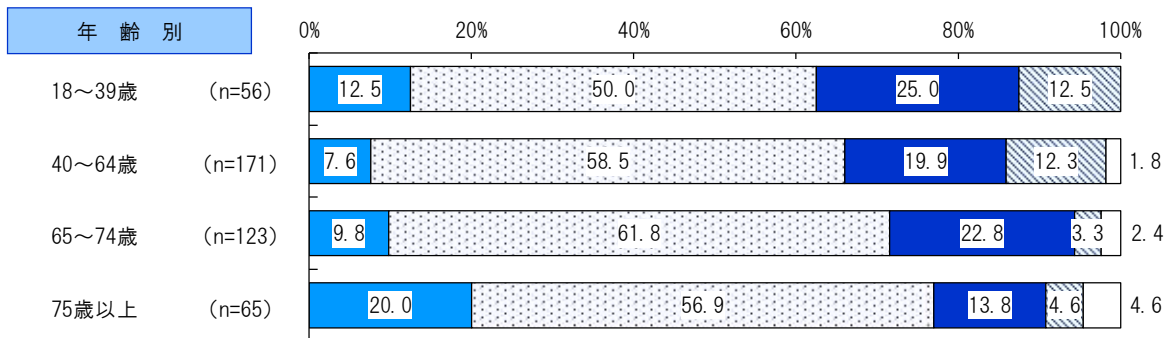
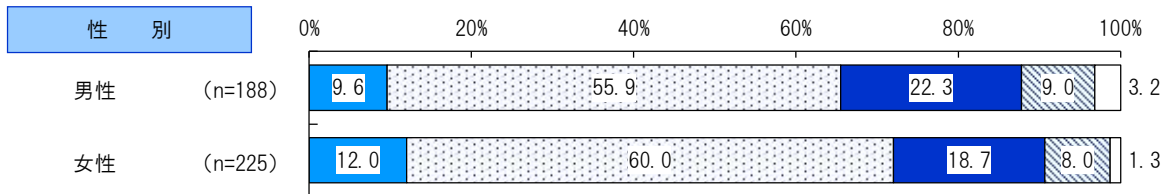
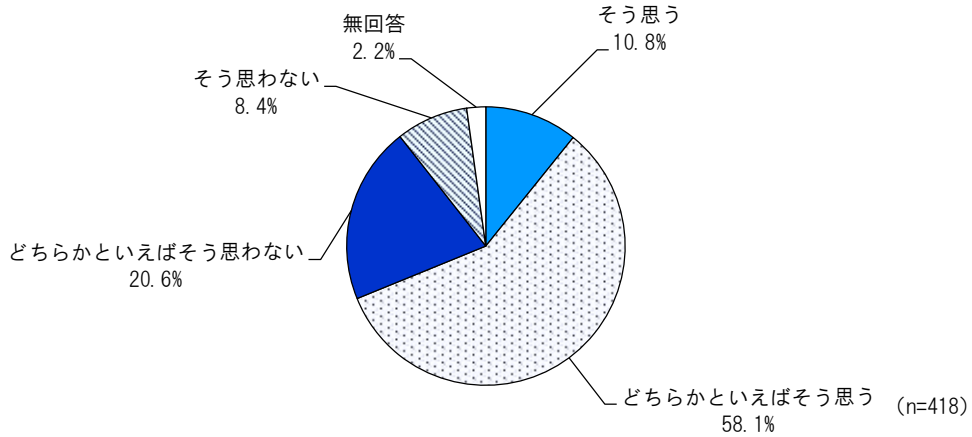


安心して福祉サービスを利用するために必要なことについては、「福祉サービスの種類や内容、利用料などの情報」が80.9%と最も多く、次いで「相談できる場所や相談員の情報」が68.4%、「福祉サービスを提供する事業者の情報」が43.5%などとなっています。

28 御前崎市をどのようなまちだと思うか

問24 あなたは、御前崎市はどのようなまちだと思いますか。(それぞれ1つに○)

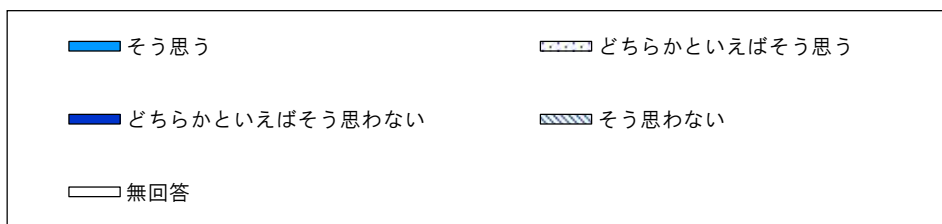
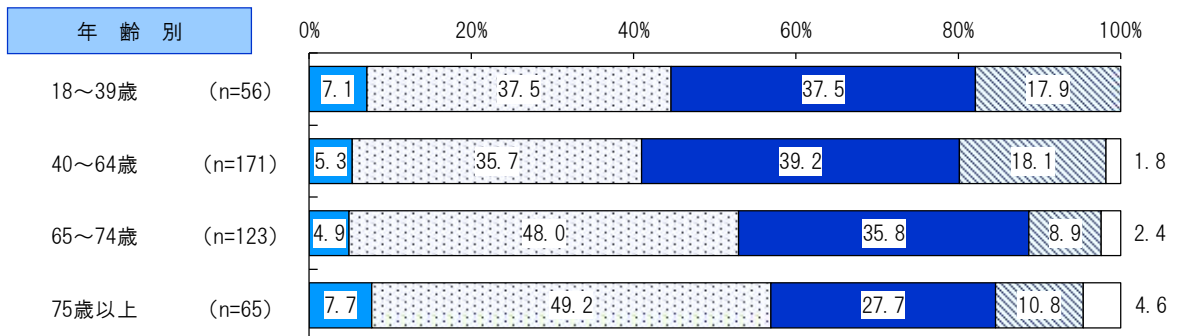
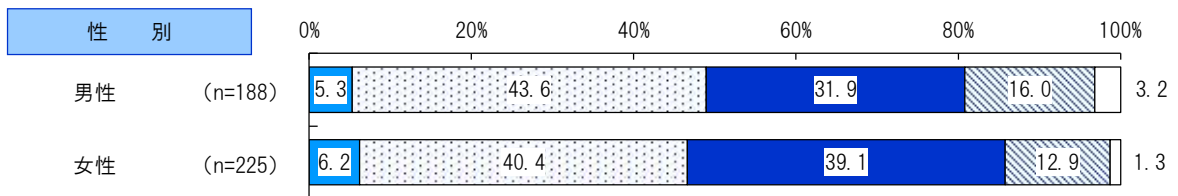
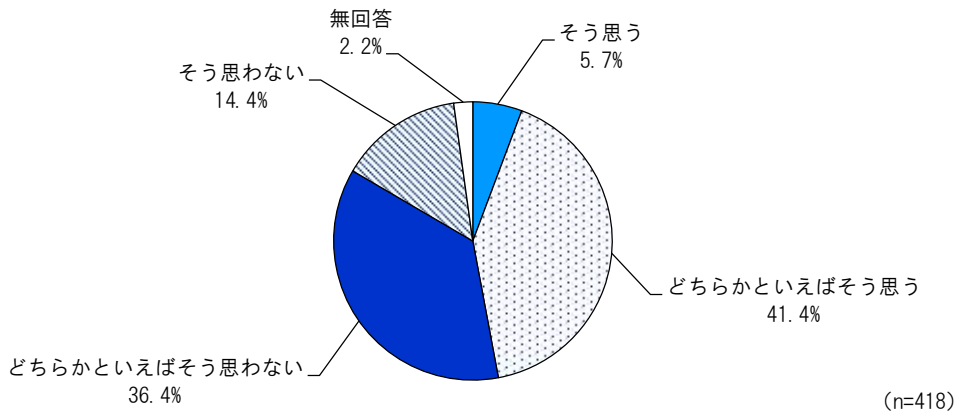
①子どもがいきいきと育つまち



子どもがいきいきと育つまちについては、「そう思う」が10.8%、「どちらかといえばそう思う」が58.1%、「どちらかといえばそう思わない」が20.6%、「そう思わない」が8.4%となっています。

28 御前崎市をどのようなまちだと思うか

②高齢者が暮らしやすいまち

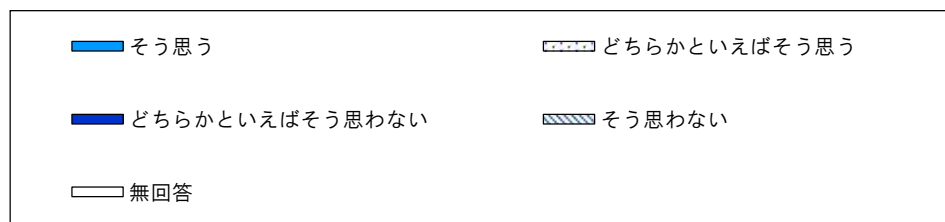
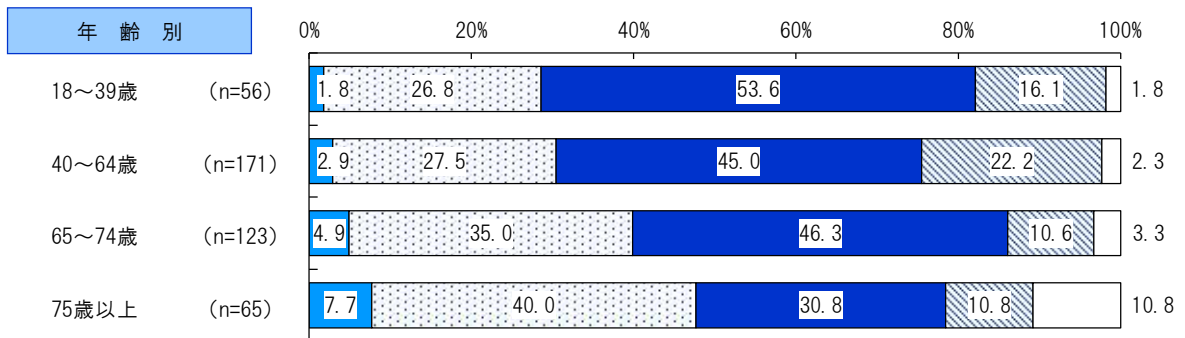
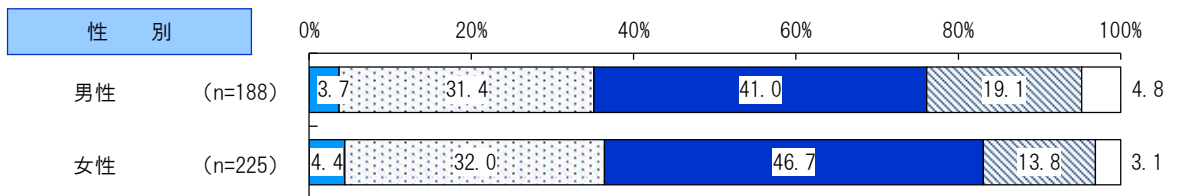
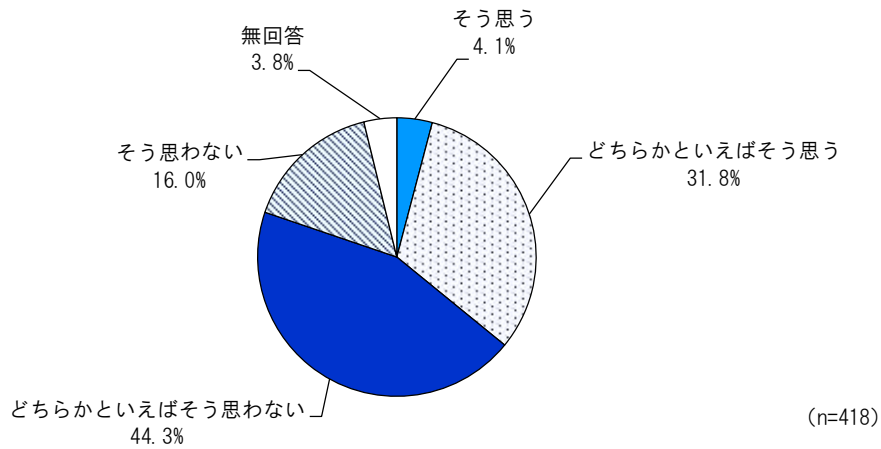


高齢者が暮らしやすいまちについては、「そう思う」が5.7%、「どちらかといえばそう思う」が41.4%、「どちらかといえばそう思わない」が36.4%、「そう思わない」が14.4%となっています。

年齢別でみると、“40～64歳”では「どちらかといえばそう思わない」が39.2%と最も多くなっています。

28 御前崎市をどのようなまちだと思うか

③障がいのある方が暮らしやすいまち

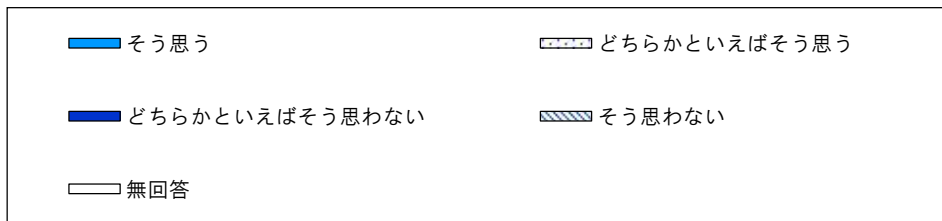
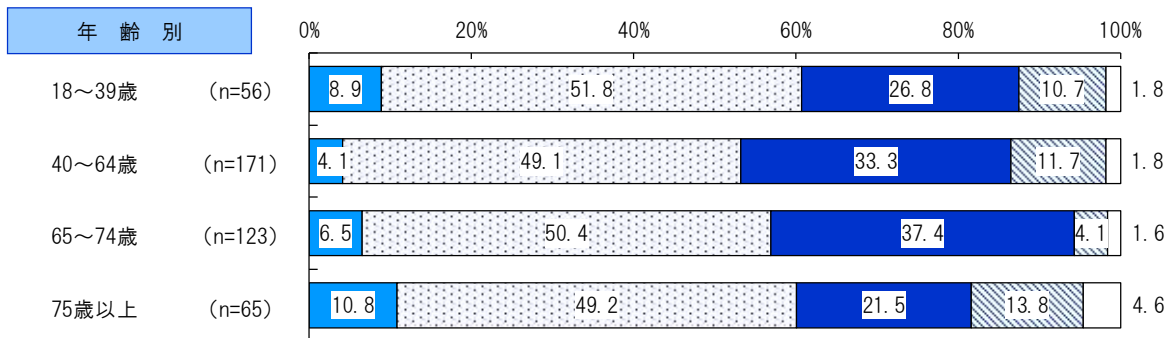
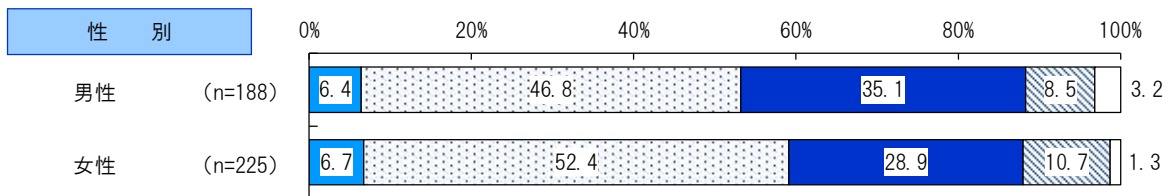
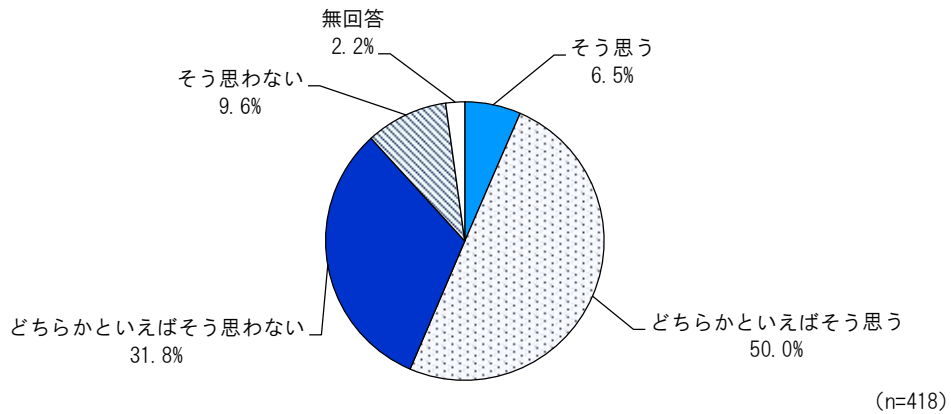


障がいのある方が暮らしやすいまちについては、「そう思う」が4.1%、「どちらかといえばそう思う」が31.8%、「どちらかといえばそう思わない」が44.3%、「そう思わない」が16.0%となっています。

年齢別でみると、“75歳以上”では「どちらかといえばそう思う」が40.0%と最も多くなっています。

28 御前崎市をどのようなまちだと思うか

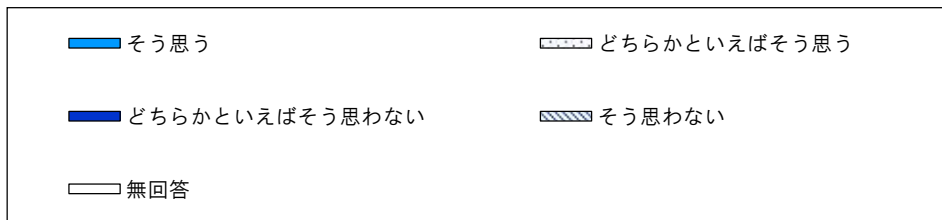
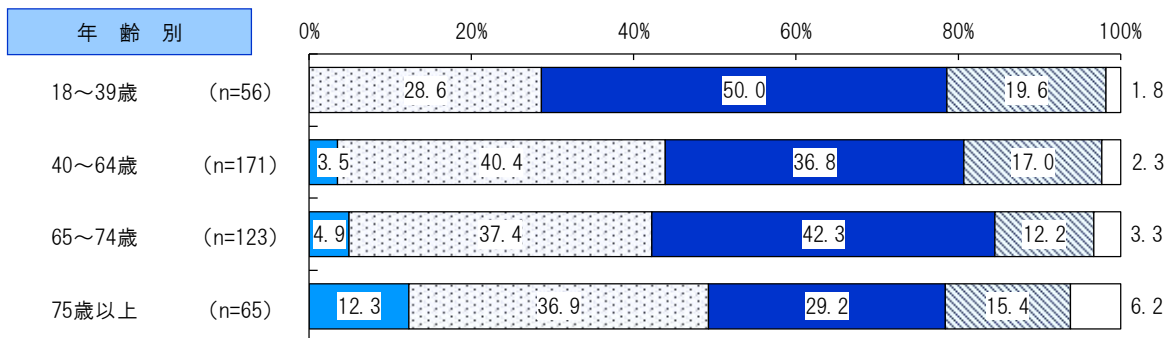
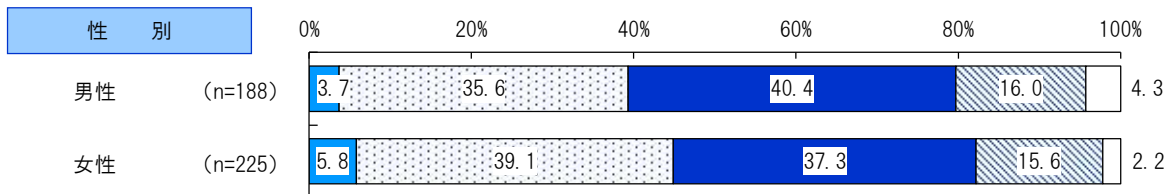
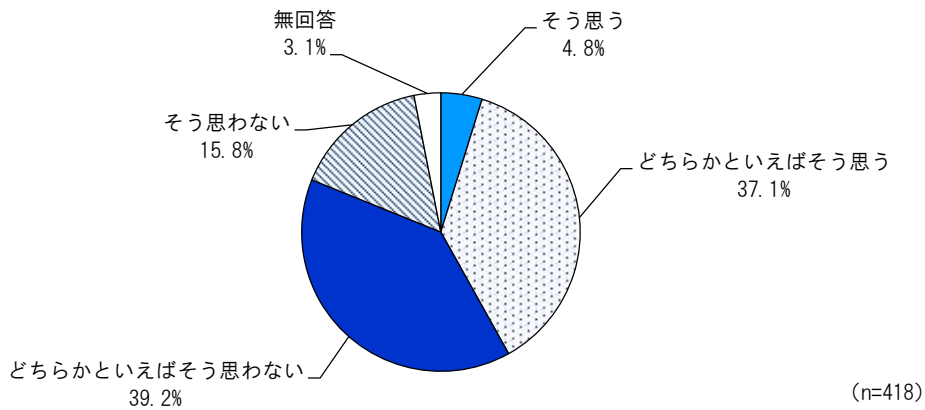
④困った時に隣近所で助け合えるまち



困った時に隣近所で助け合えるまちについては、「そう思う」が6.5%、「どちらかといえばそう思う」が50.0%、「どちらかといえばそう思わない」が31.8%、「そう思わない」が9.6%となっています。

28 御前崎市をどのようなまちだと思うか

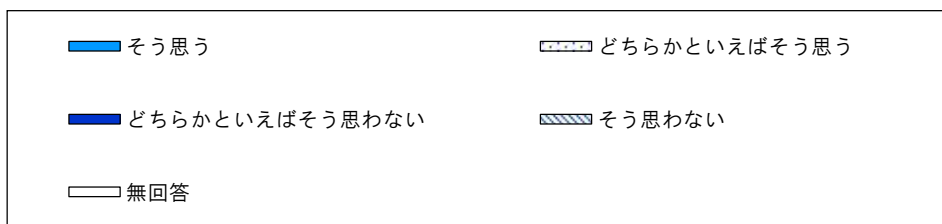
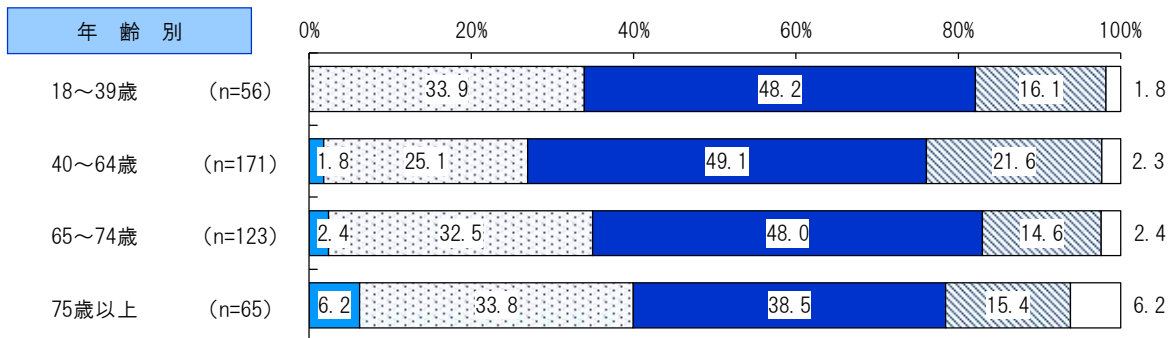
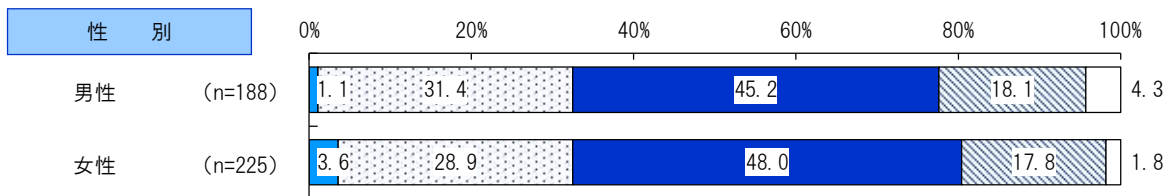
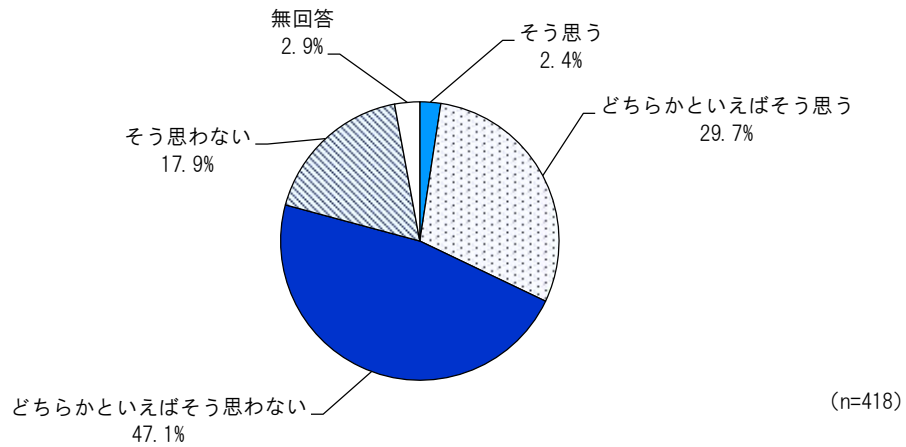
⑤福祉施設が整備されているまち



福祉施設が整備されているまちについては、「そう思う」が4.8%、「どちらかといえばそう思う」が37.1%、「どちらかといえばそう思わない」が39.2%、「そう思わない」が15.8%となっています。性別でみると、“女性”では「どちらかといえばそう思う」が39.1%と最も多くなっています。年齢別でみると、“40～64歳”、“75歳以上”では「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

28 御前崎市をどのようなまちだと思うか

⑥市民の福祉活動が活発に行われているまち

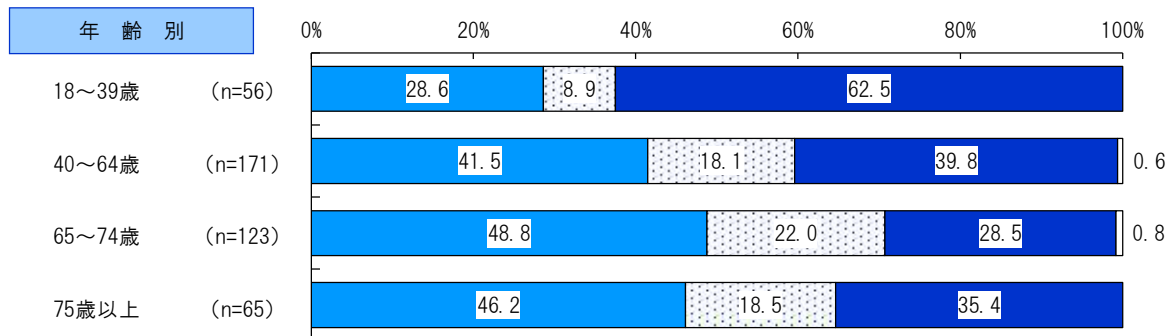
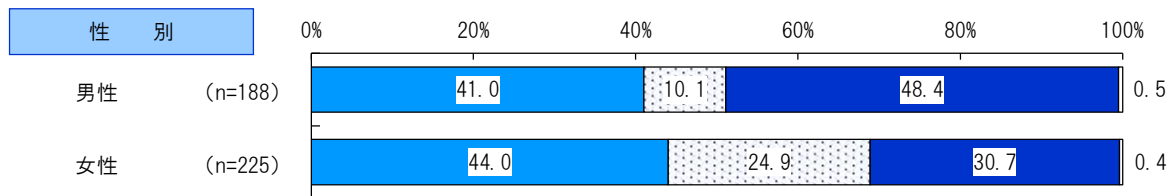
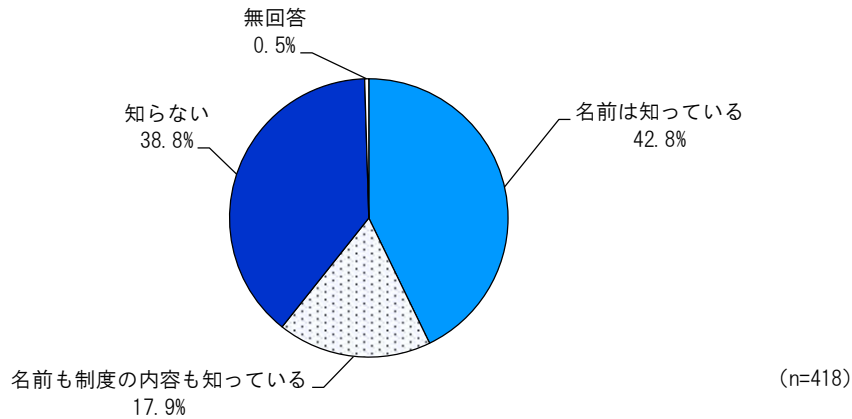


市民の福祉活動が活発に行われているまちについては、「そう思う」が2.4%、「どちらかといえばそう思う」が29.7%、「どちらかといえばそう思わない」が47.1%、「そう思わない」が17.9%となっています。

29 成年後見制度の認知

問25 あなたは、成年後見制度を知っていますか。

(○は1つだけ)



■ 名前を知っている ■ 名前も制度の内容も知っている ■ 知らない ■ 無回答

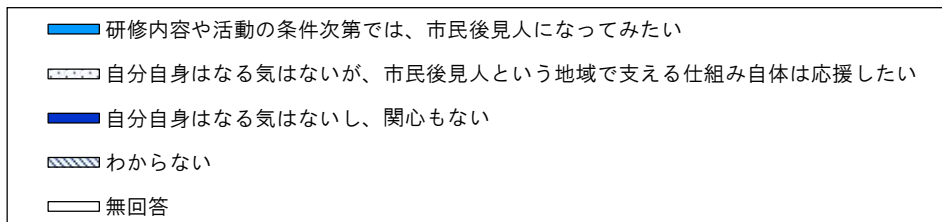
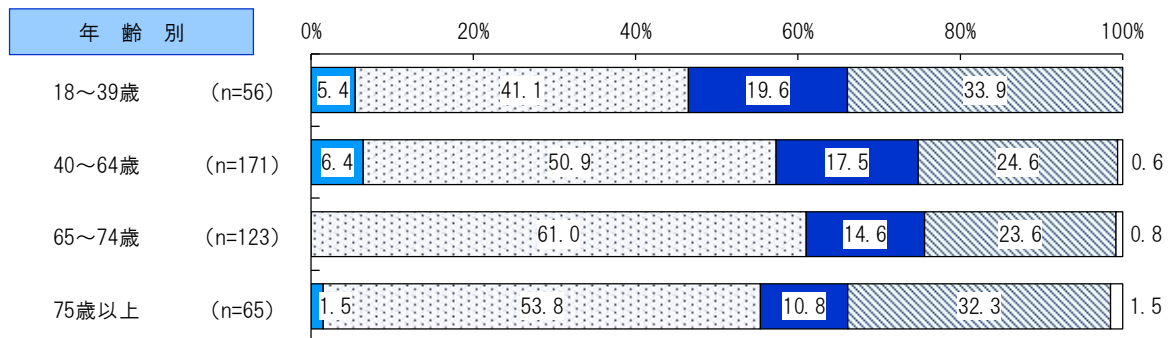
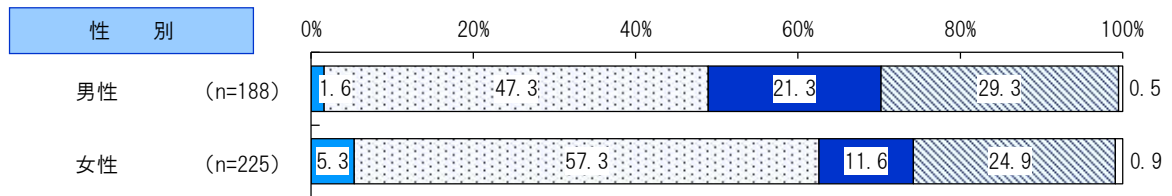
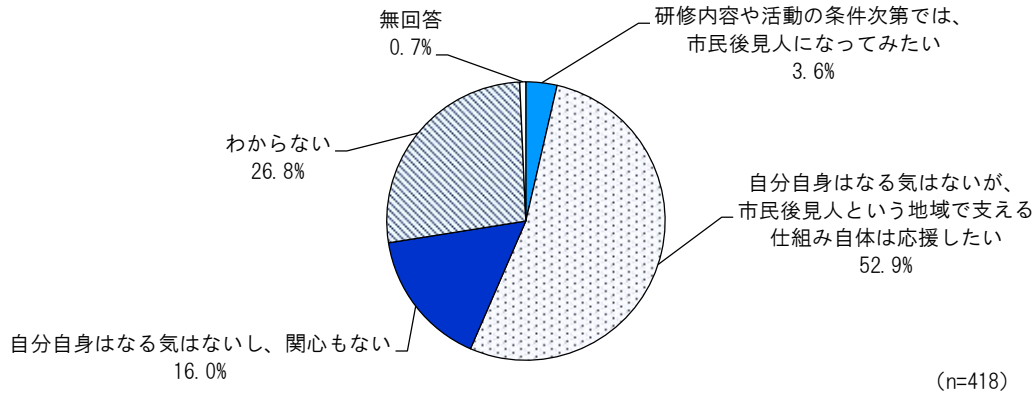
成年後見制度の認知については、「名前を知っている」が42.8%、「名前も制度の内容も知っている」が17.9%、「知らない」が38.8%となっています。

性別でみると、「男性」では「知らない」が48.4%と最も多くなっています。

年齢別でみると、「18~39歳」では「知らない」が62.5%と最も多くなっています。

30 市民後見人について、あなたの考えに最も近いもの

問26 御前崎市では、一定の研修を修了した一般の方に成年後見人として活動してもらう「市民後見人」を育成しています。この市民後見人について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。（○は1つだけ）

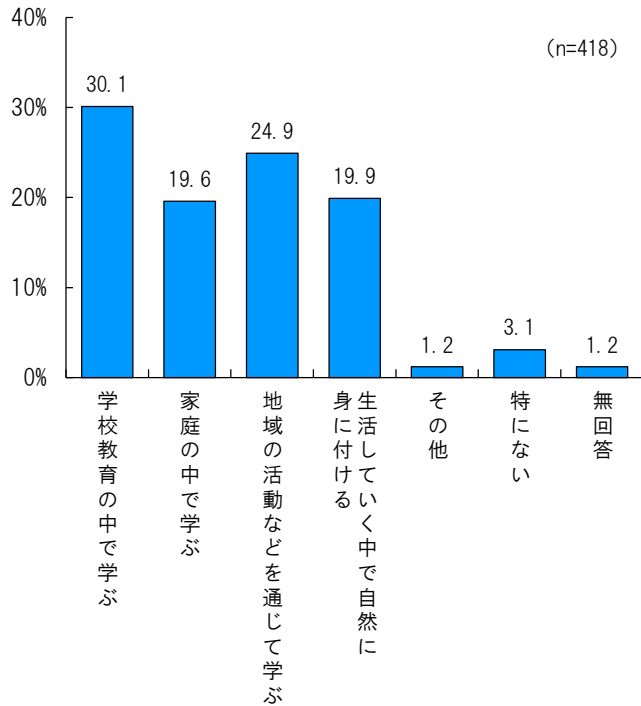


市民後見人について、あなたの考えに最も近いものについては、「研修内容や活動の条件次第では、市民後見人になってみたい」が3.6%、「自分自身はなる気はないが、市民後見人という地域で支える仕組み自体は応援したい」が52.9%、「自分自身はなる気はないし、関心もない」が16.0%、「わからない」が26.8%となっています。

31 子どもの福祉教育で最も大切だと思うこと

問27 子どもたちに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）について、あなたが最も大切だと思うものは何ですか。

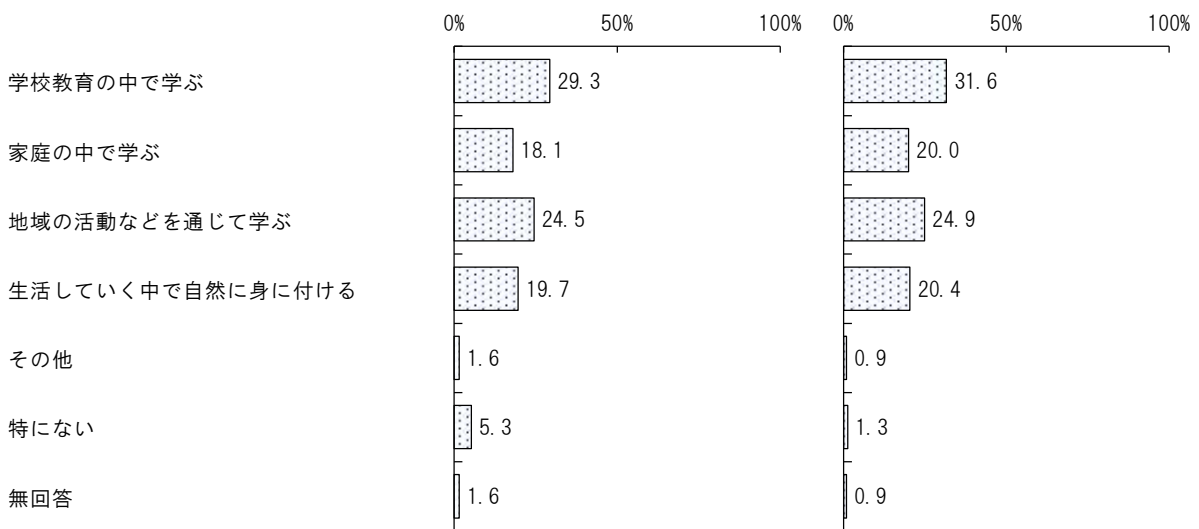
（○は1つだけ）



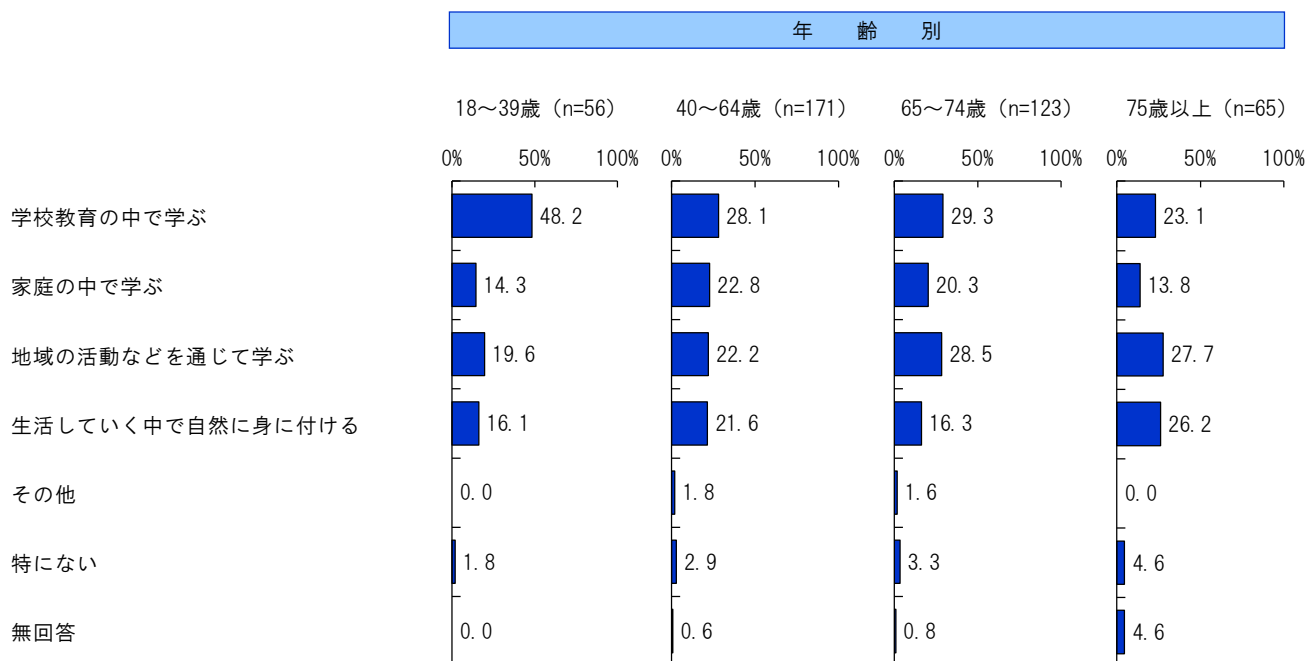
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



31 子どもの福祉教育で最も大切だと思うこと



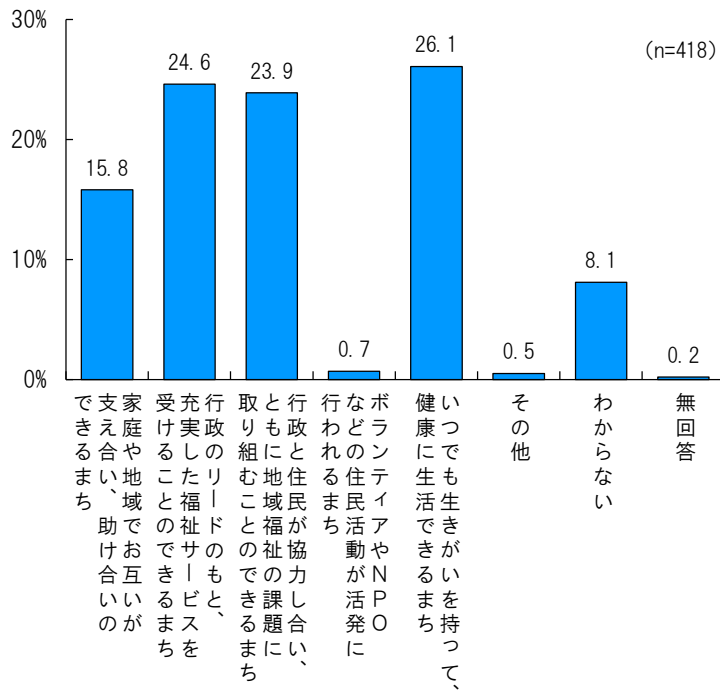
子どもの福祉教育で最も大切だと思うことについては、「学校教育の中で学ぶ」が30.1%と最も多く、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」が24.9%、「生活していく中で自然に身に付ける」が19.9%などとなっています。

年齢別でみると、“75歳以上”では「地域の活動などを通じて学ぶ」が27.7%と最も多くなっています。

32 どのような『福祉のまち』にしたいか

問28 あなたは、御前崎市をどのような『福祉のまち』にしたいと思いますか。

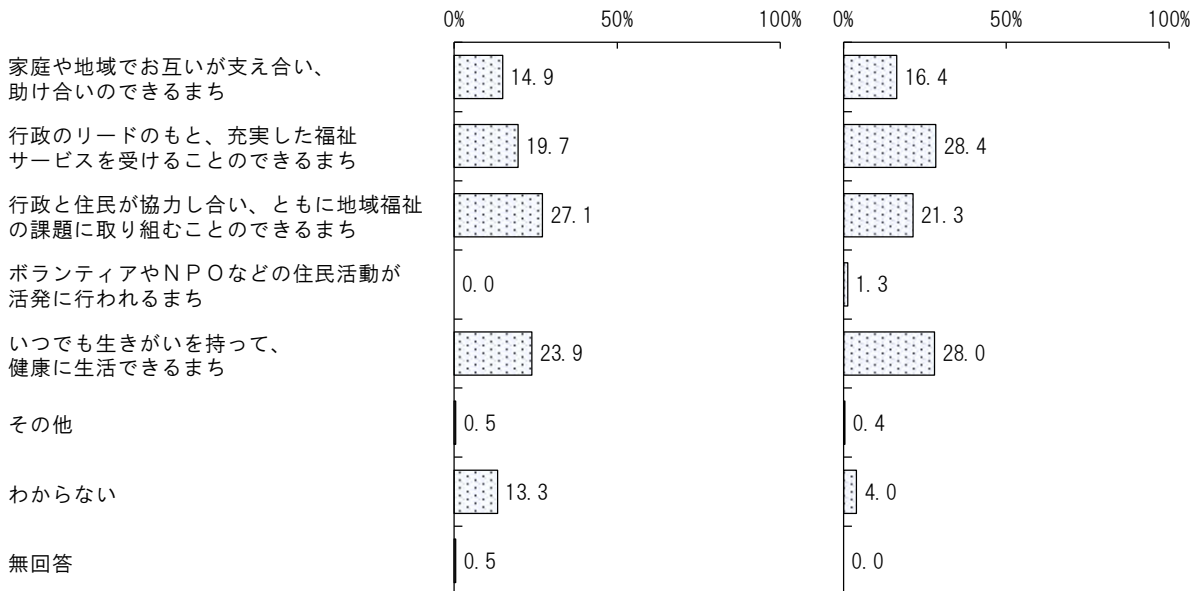
(○は1つだけ)



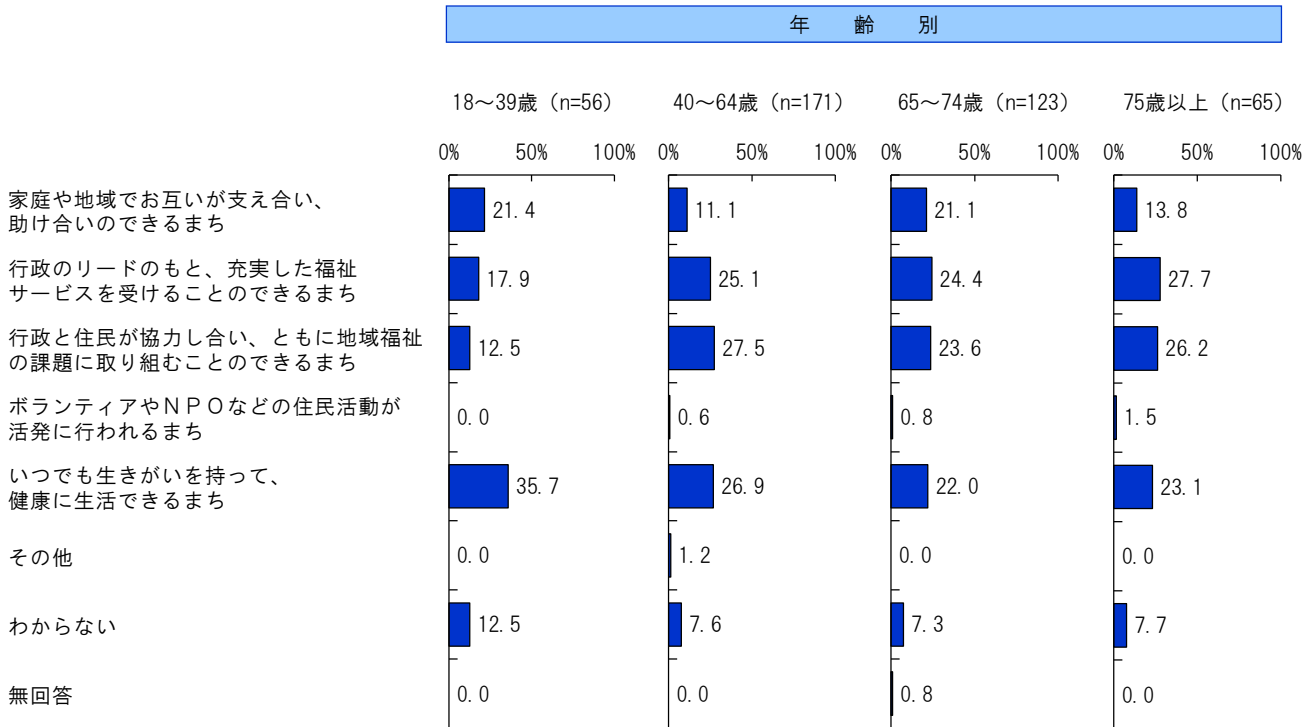
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



32 どのような『福祉のまち』にしたいか



どのような『福祉のまち』にしたいかについては、「いつでも生きがいを持って、健康に生活できるまち」が26.1%と最も多く、次いで「行政のリードのもと、充実した福祉サービスを受けることのできるまち」が24.6%、「行政と住民が協力し合い、ともに地域福祉の課題に取り組むことのできるまち」が23.9%などとなっています。

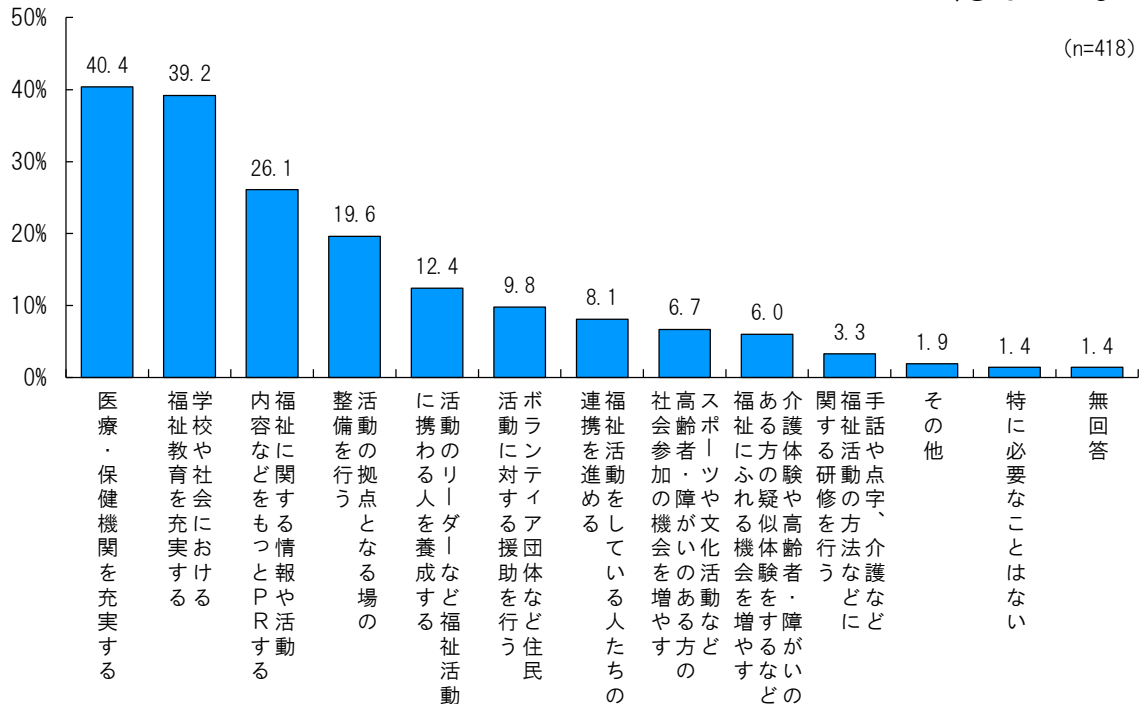
性別でみると、“男性”では「行政と住民が協力し合い、ともに地域福祉の課題に取り組むことのできるまち」が27.1%と最も多くなっています。また、“女性”では「行政のリードのもと、充実した福祉サービスを受けることのできるまち」が28.4%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“40～64歳”では「行政と住民が協力し合い、ともに地域福祉の課題に取り組むことのできるまち」が27.5%と最も多くなっています。また、“65～74歳”、“75歳以上”では「行政のリードのもと、充実した福祉サービスを受けることのできるまち」が最も多くなっています。

33 地域の福祉活動を進めるために必要なこと

問29 地域の福祉活動を進めるために、どのようなことが主に必要だと思いますか。

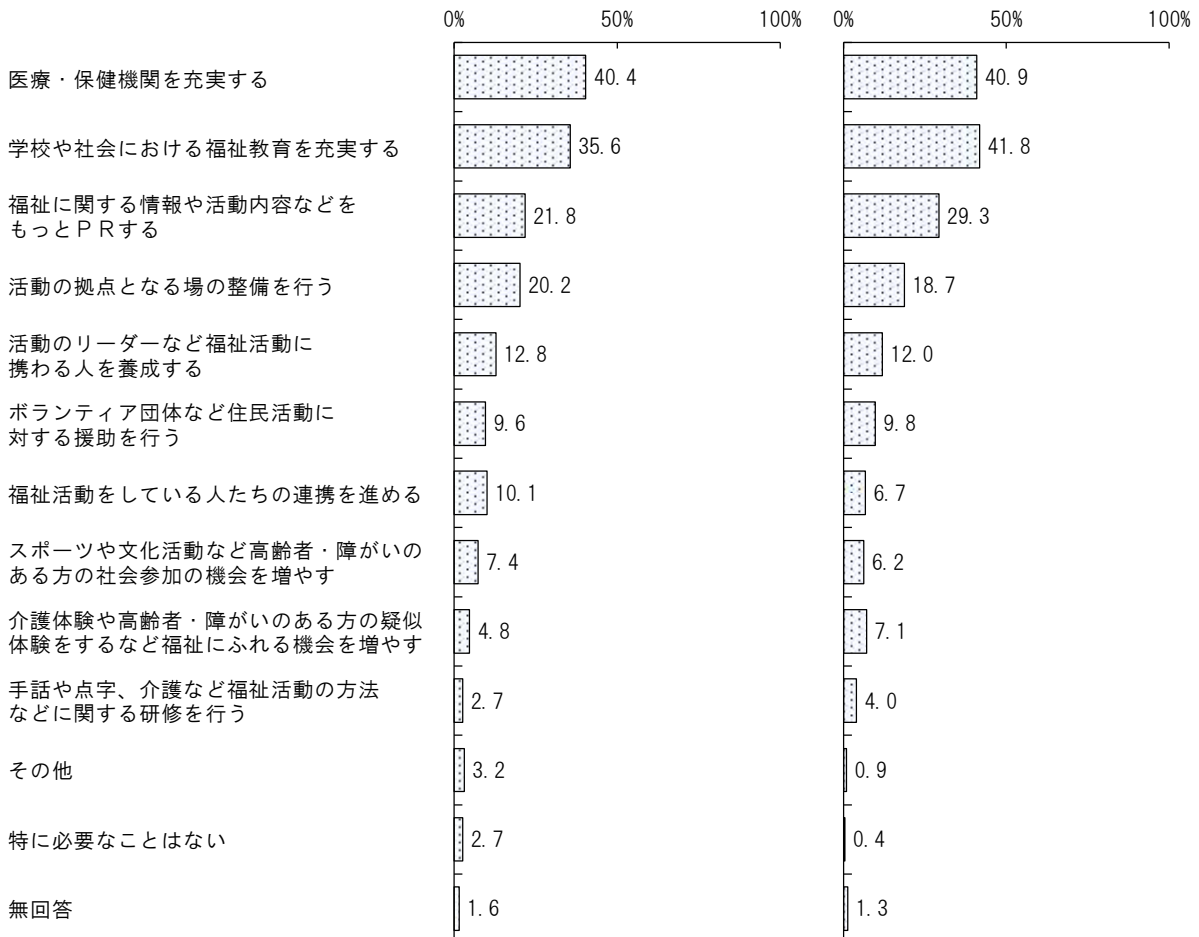
(○は2つまで)



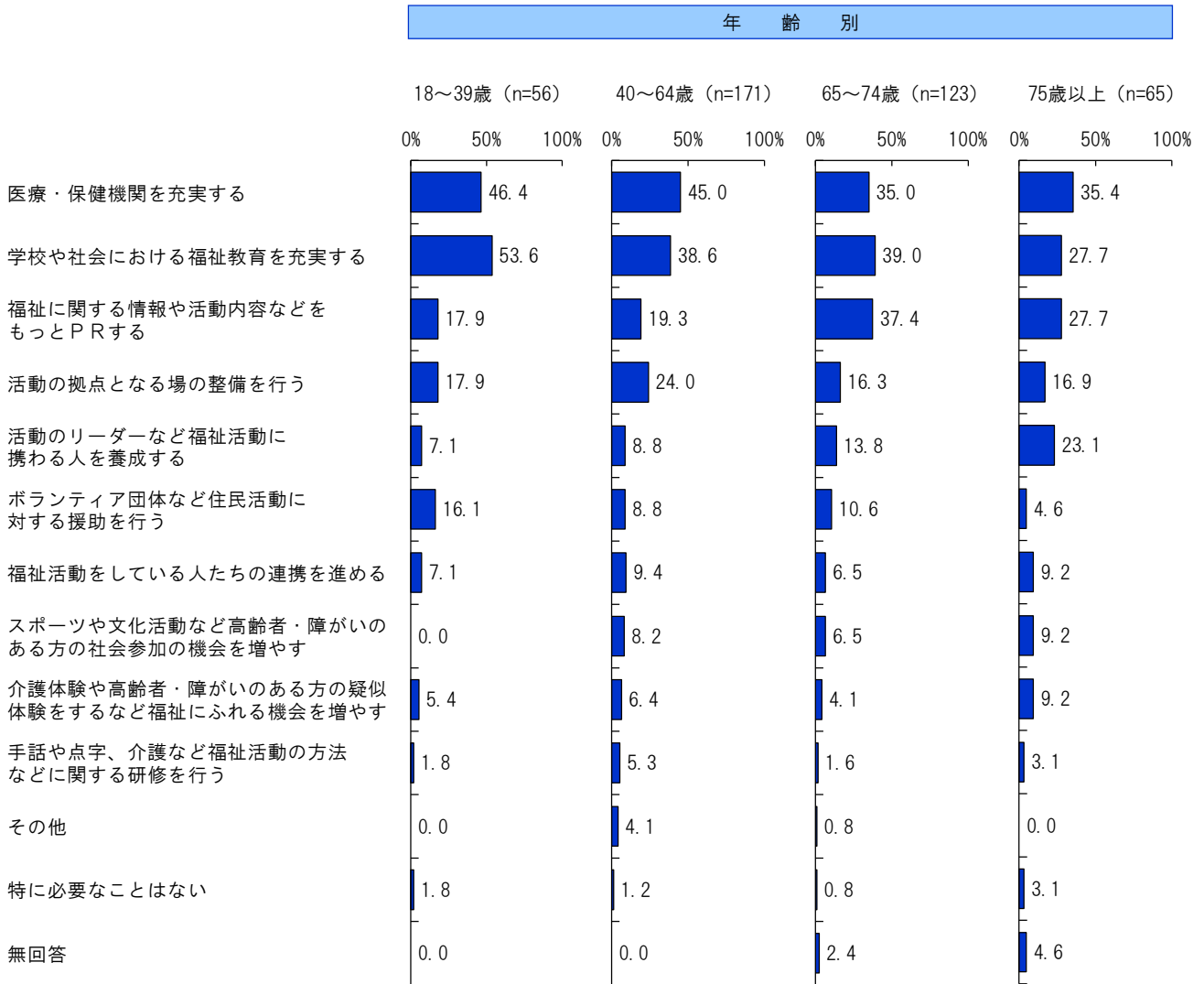
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



33 地域の福祉活動を進めるために必要なこと



地域の福祉活動を進めるために必要なことについては、「医療・保健機関を充実する」が40.4%と最も多く、次いで「学校や社会における福祉教育を充実する」が39.2%、「福祉に関する情報や活動内容などをもっとPRする」が26.1%などとなっています。

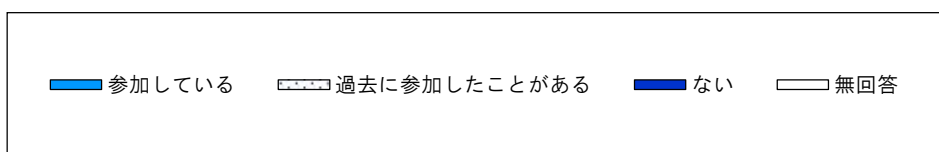
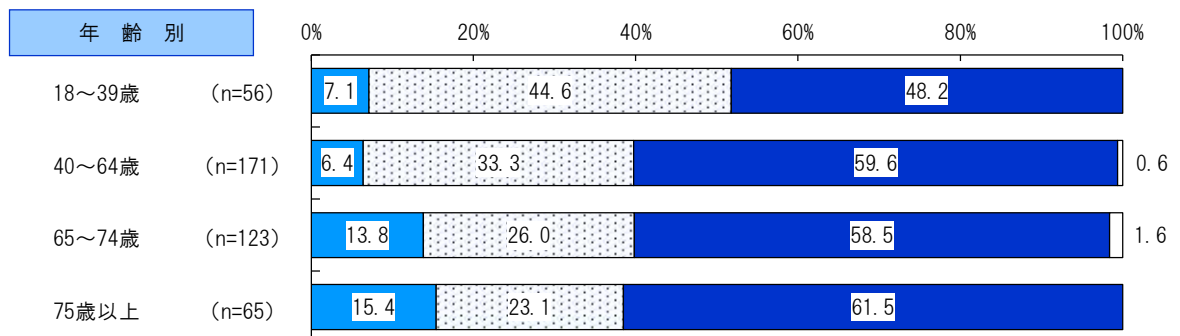
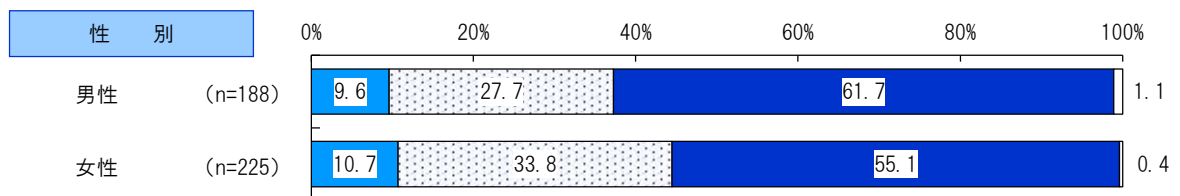
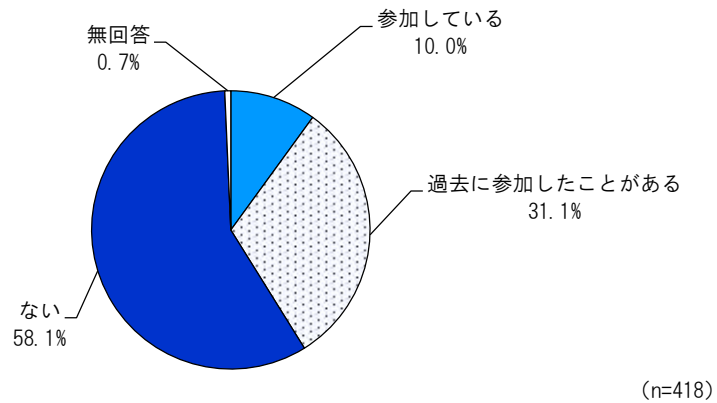
性別でみると、“女性”では「学校や社会における福祉教育を充実する」が41.8%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“18～39歳”、“65～74歳”では「学校や社会における福祉教育を充実する」が最も多くなっています。

5. ボランティア活動などに関することについて

34 ボランティア活動への参加

問30 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)



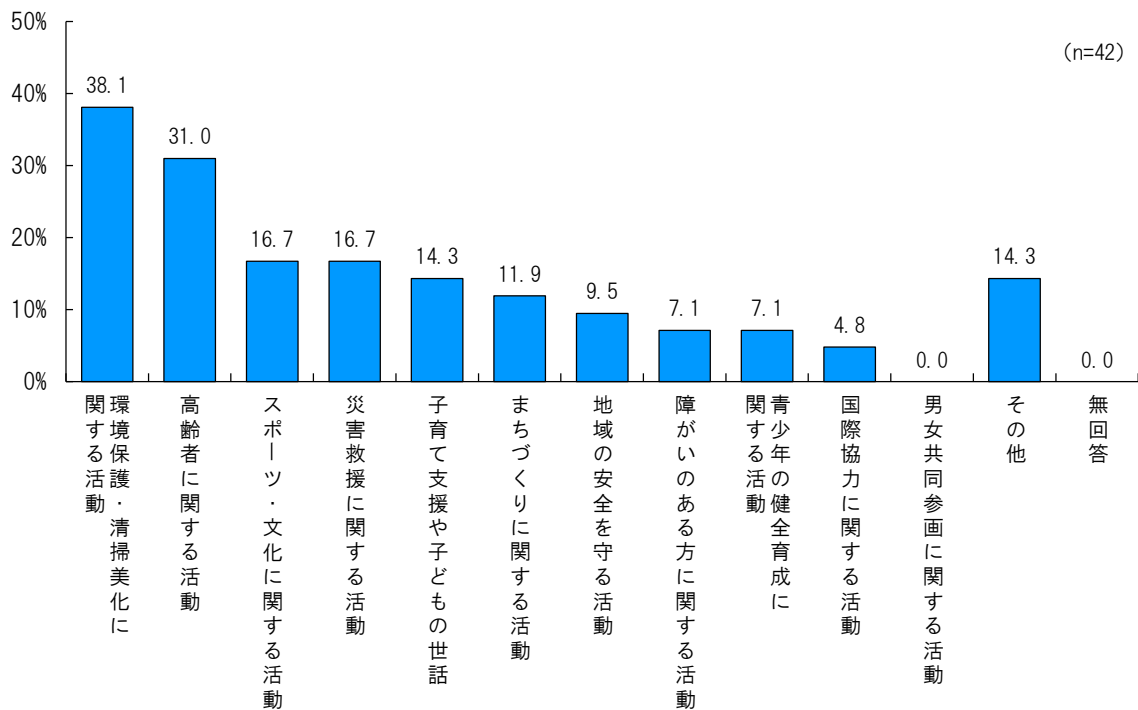
ボランティア活動への参加については、「参加している」が10.0%、「過去に参加したことがある」が31.1%、「ない」が58.1%となっています。

35 参加している活動

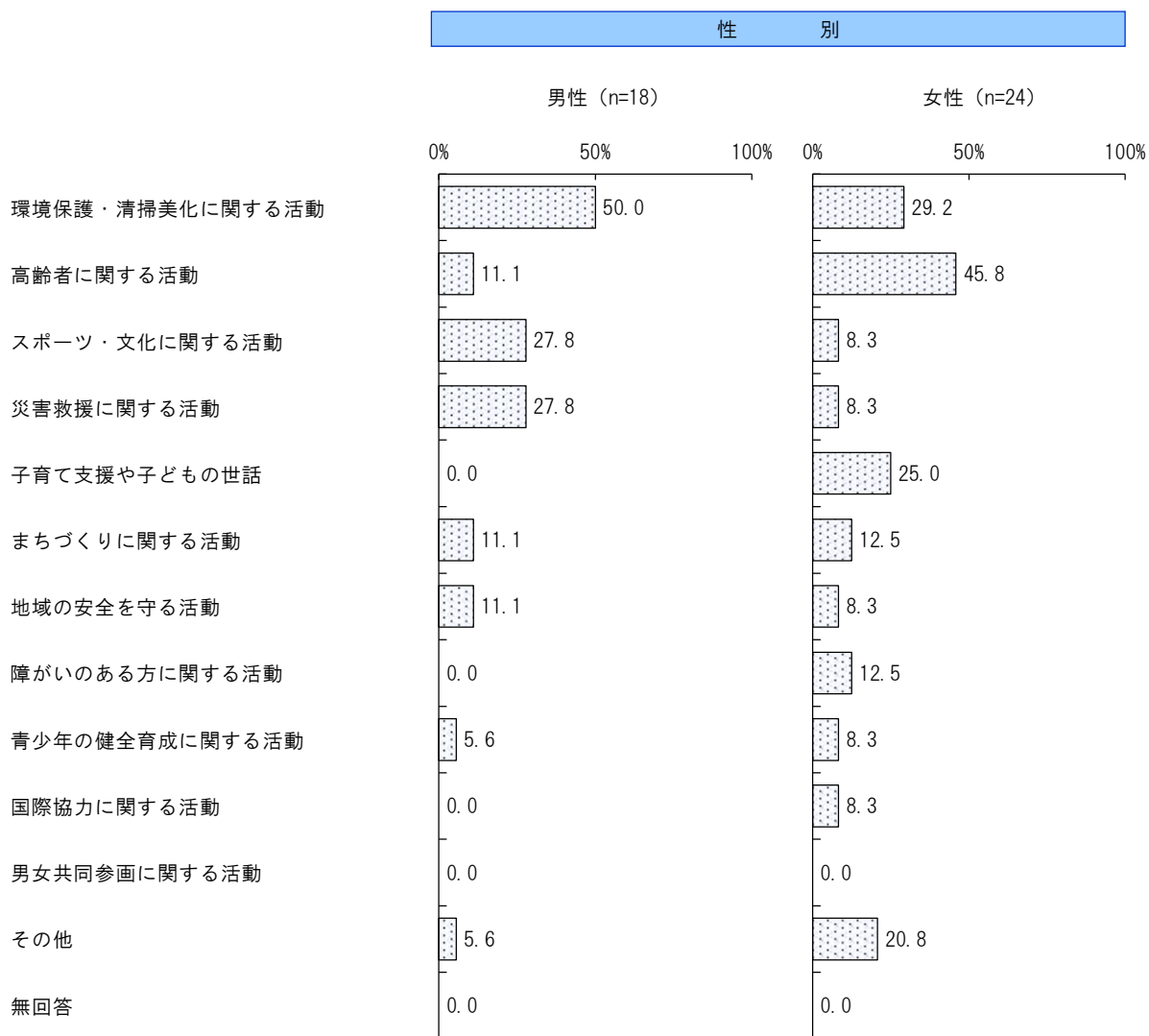
【問30で「1 参加している」と回答した方にお聞きします。】

問30-1 あなたが参加している活動はどのような活動ですか。

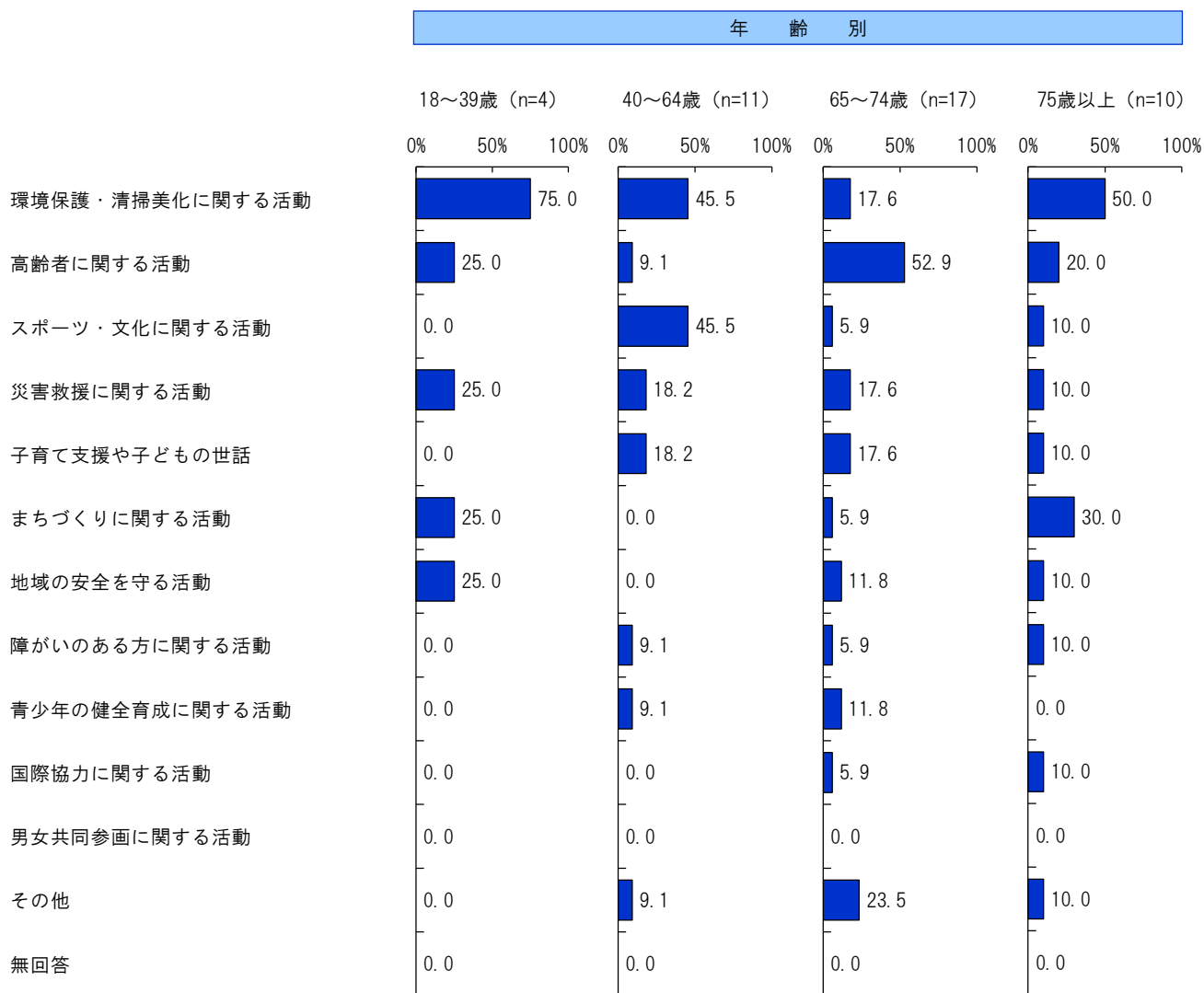
(あてはまるものすべてに○)



35 参加している活動



35 参加している活動



参加している活動については、「環境保護・清掃美化に関する活動」が38.1%と最も多く、次いで「高齢者に関する活動」が31.0%、「スポーツ・文化に関する活動」と「災害救援に関する活動」が16.7%などとなっています。

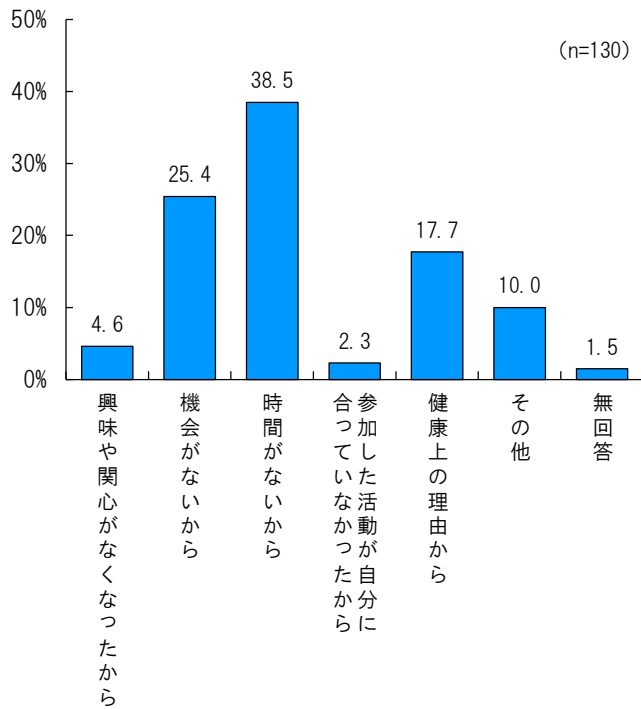
性別でみると、“女性”では「高齢者に関する活動」が45.8%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“65~74歳”では「高齢者に関する活動」が52.9%と最も多くなっています。

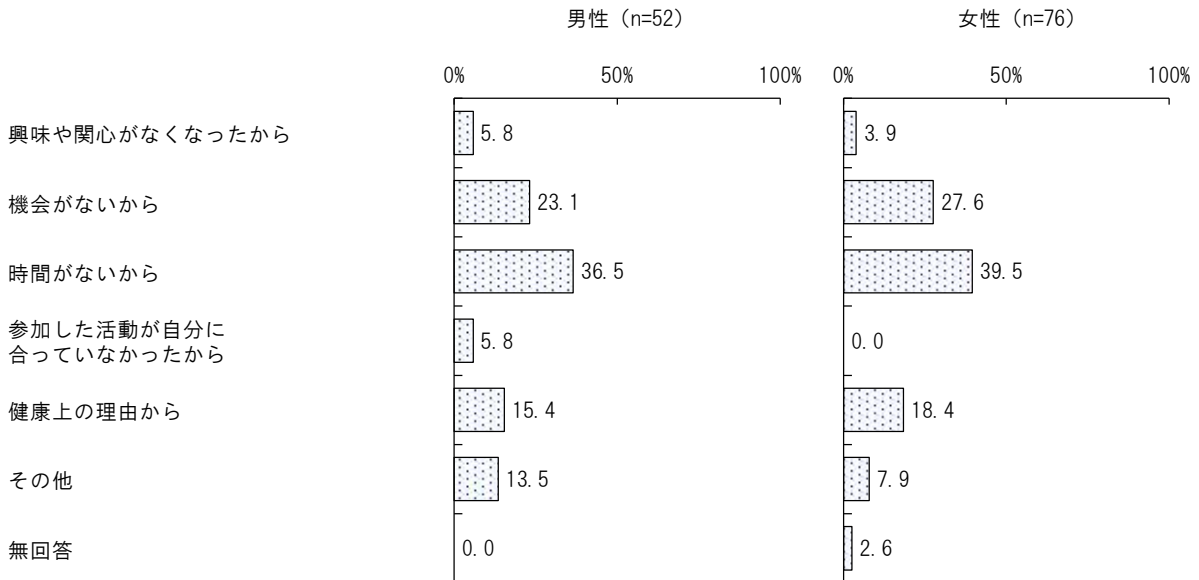
36 現在参加していない理由

【問30で「2 過去に参加したことがある」と回答した方にお聞きします。】

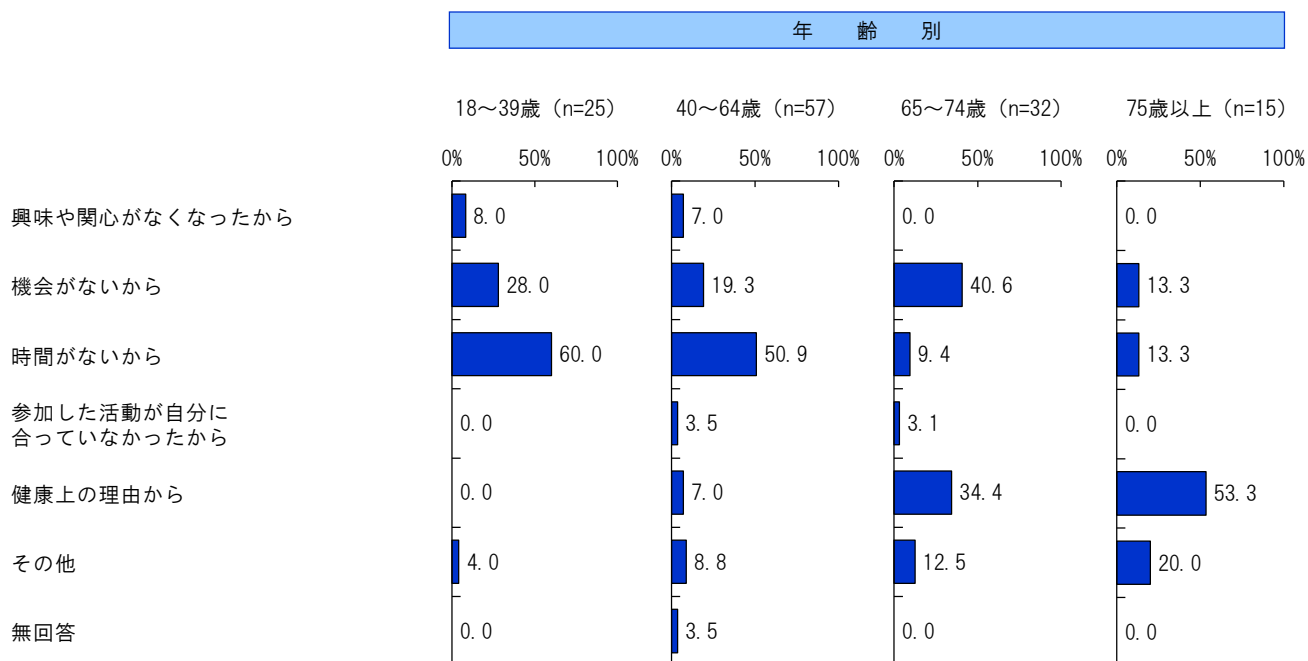
問30-2 現在参加していない主な理由をお聞かせください。 (○は1つだけ)



性別



36 現在参加していない理由



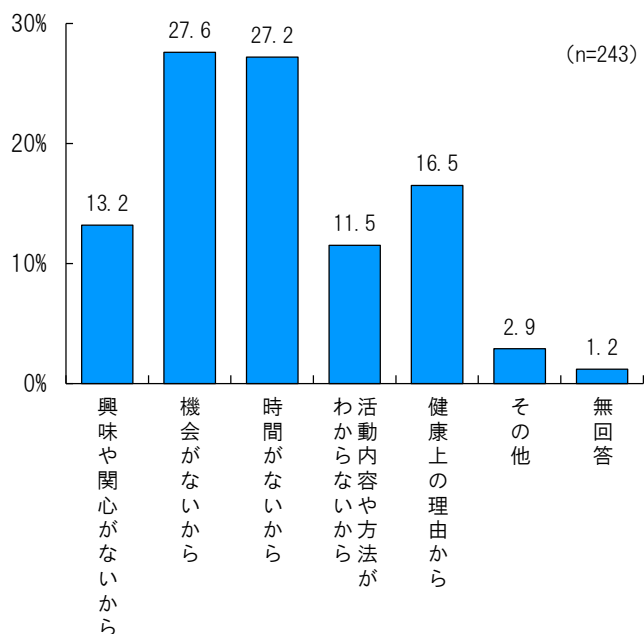
現在参加していない理由については、「時間がないから」が38.5%と最も多く、次いで「機会がないから」が25.4%、「健康上の理由から」が17.7%などとなっています。

年齢別でみると、“65～74歳”では「機会がないから」が40.6%と最も多くなっています。また、“75歳以上”では「健康上の理由から」が53.3%と最も多くなっています。

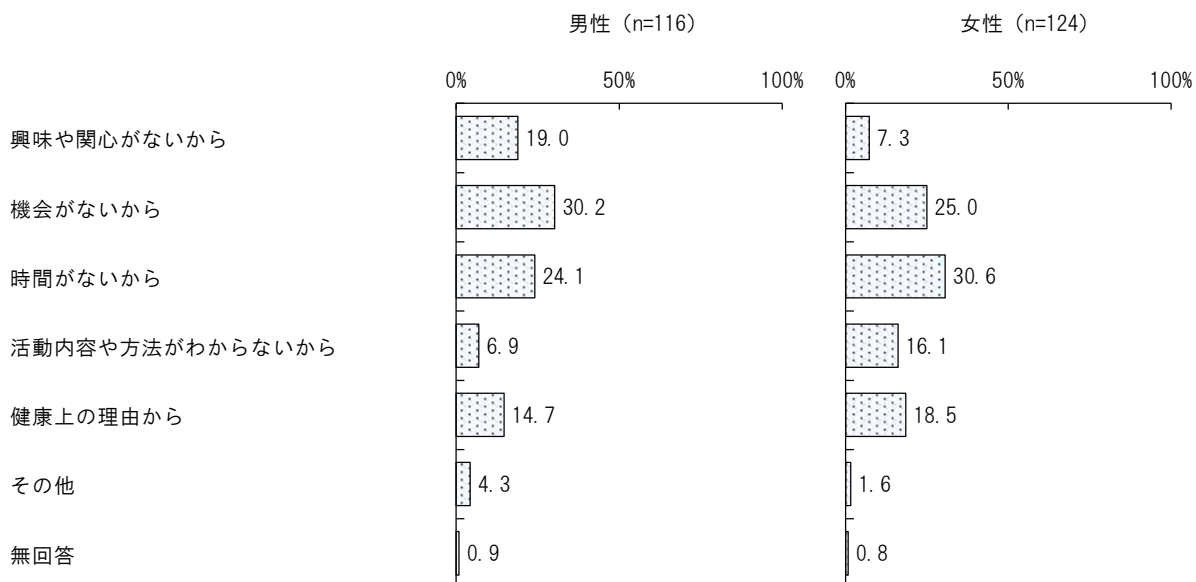
37 参加したことがない理由

【問30で「3 ない」と回答した方にお聞きします。】

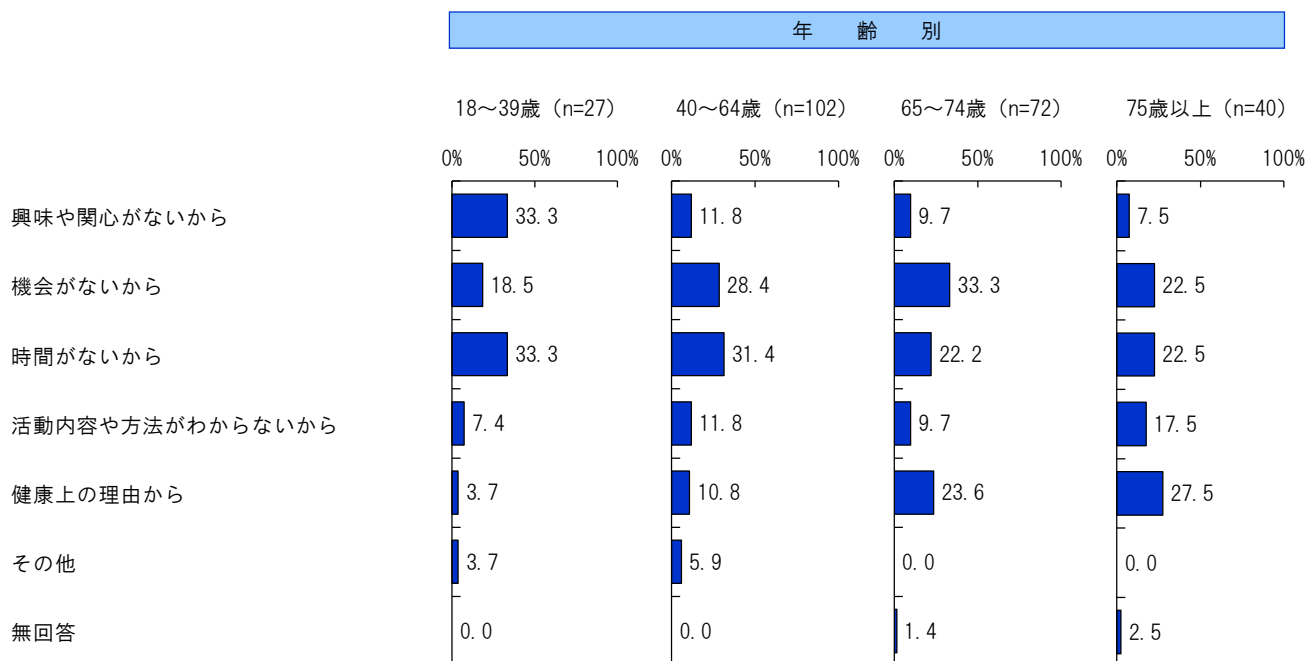
問30-3 参加したことがない主な理由をお聞かせください。 (○は1つだけ)



性別



37 参加したことがない理由



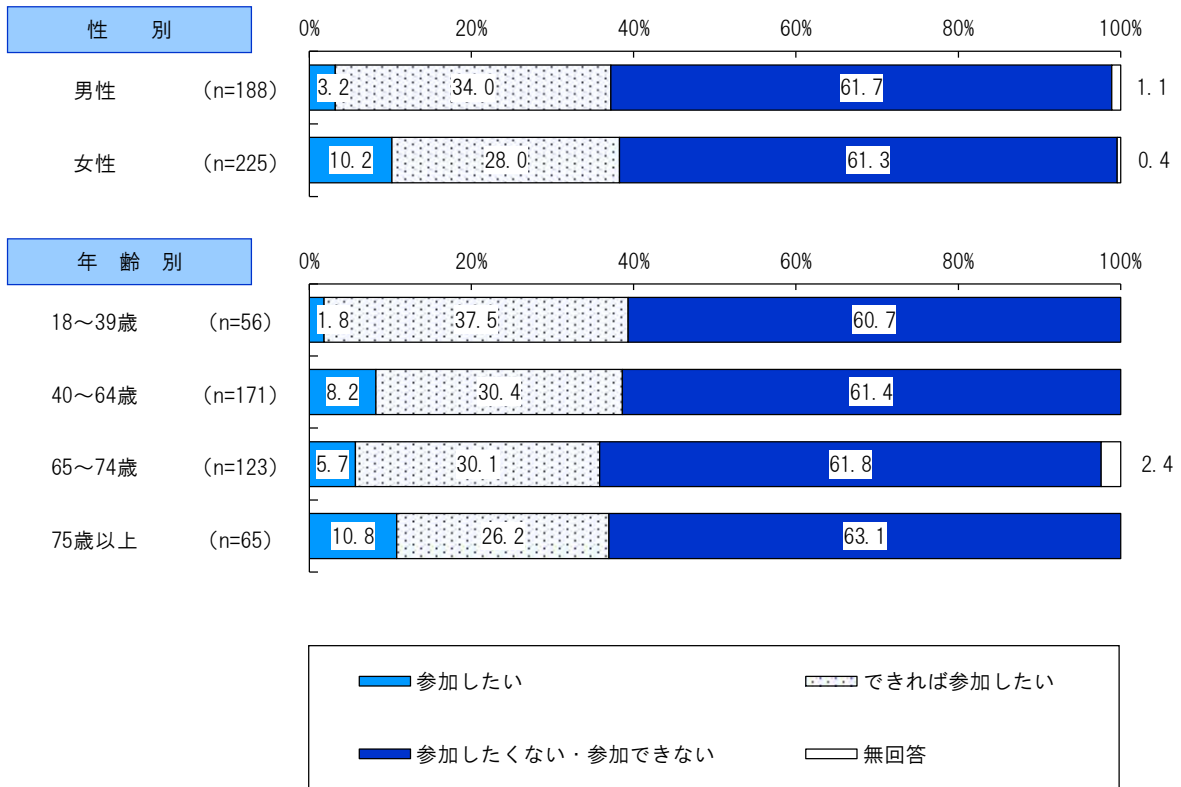
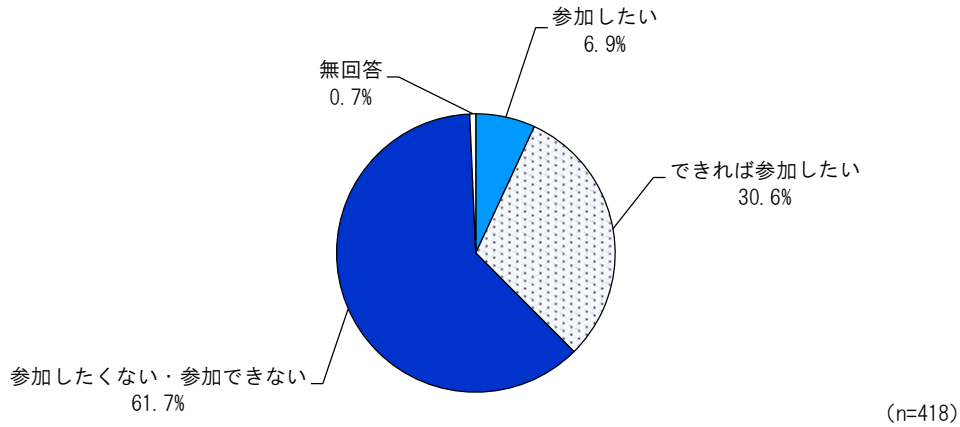
参加したことがない理由については、「機会がないから」が27.6%と最も多く、次いで「時間がないから」が27.2%、「健康上の理由から」が16.5%などとなっています。

性別で見ると、“女性”では「時間がないから」が30.6%と最も多くなっています。

年齢別で見ると、“18～39歳”では「興味や関心がないから」と「時間がないから」が33.3%と最も多くなっています。また、“40～64歳”では「時間がないから」が31.4%と最も多くなっています。また、“75歳以上”では「健康上の理由から」が27.5%と最も多くなっています。

38 ボランティア活動への参加希望

問31 あなたは、ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)



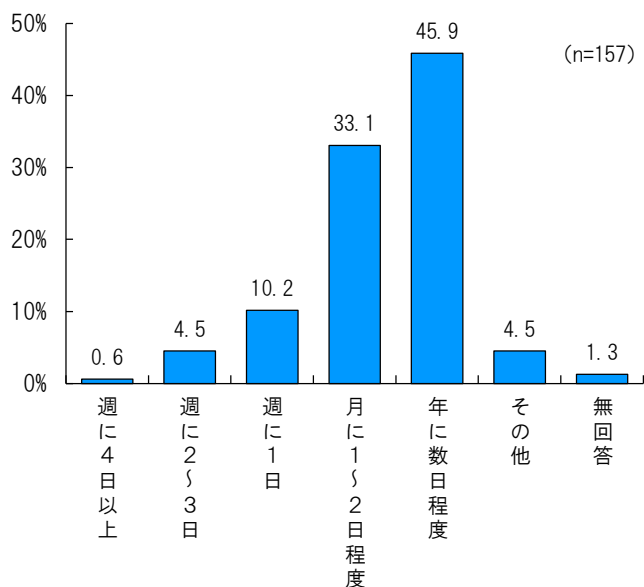
ボランティア活動への参加希望については、「参加したい」が6.9%、「できれば参加したい」が30.6%、「参加したくない・参加できない」が61.7%となっています。

39 参加する際の活動頻度

【問31で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。】

問31-1 どのくらいの頻度で活動に参加できますか。

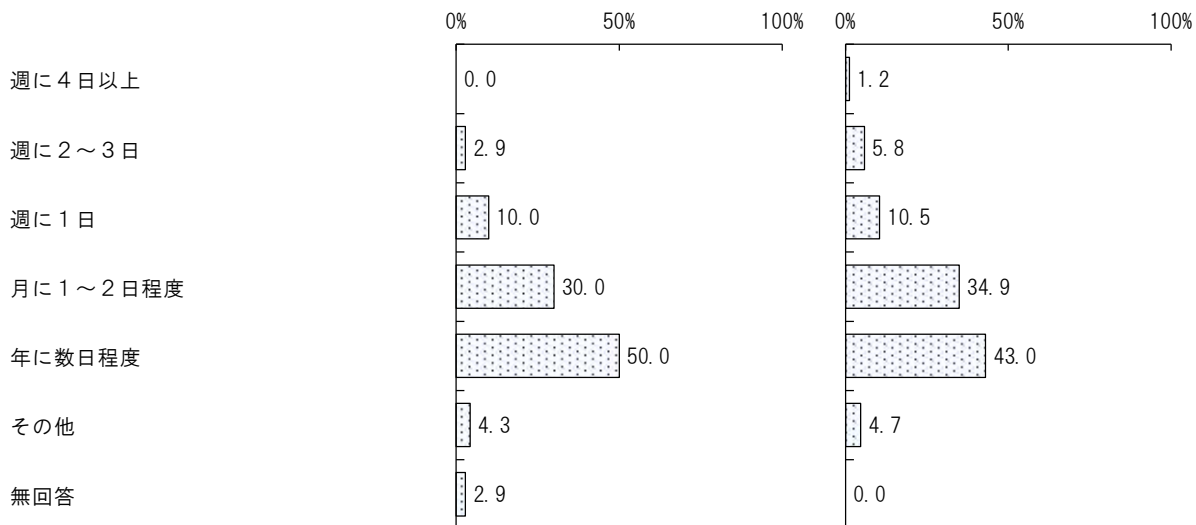
(○は1つだけ)



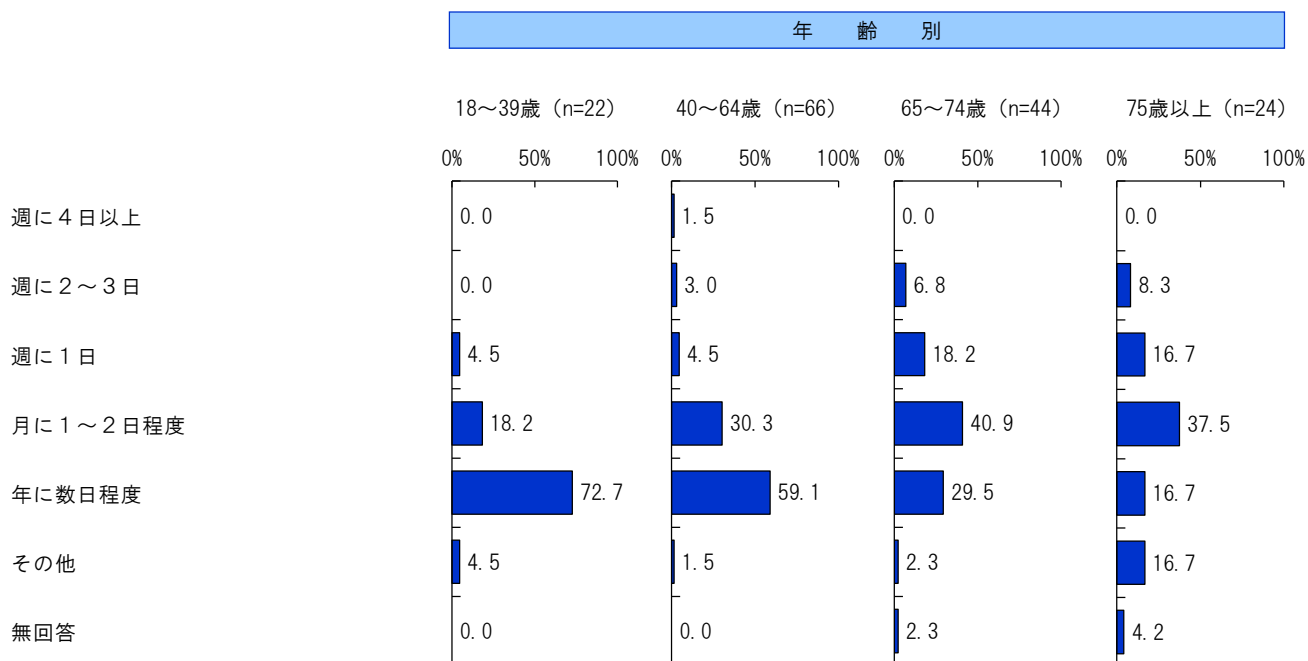
性別

男性 (n=70)

女性 (n=86)



39 参加する際の活動頻度



参加する際の活動頻度については、「年に数日程度」が45.9%と最も多く、次いで「月に1～2日程度」が33.1%、「週に1日」が10.2%などとなっています。

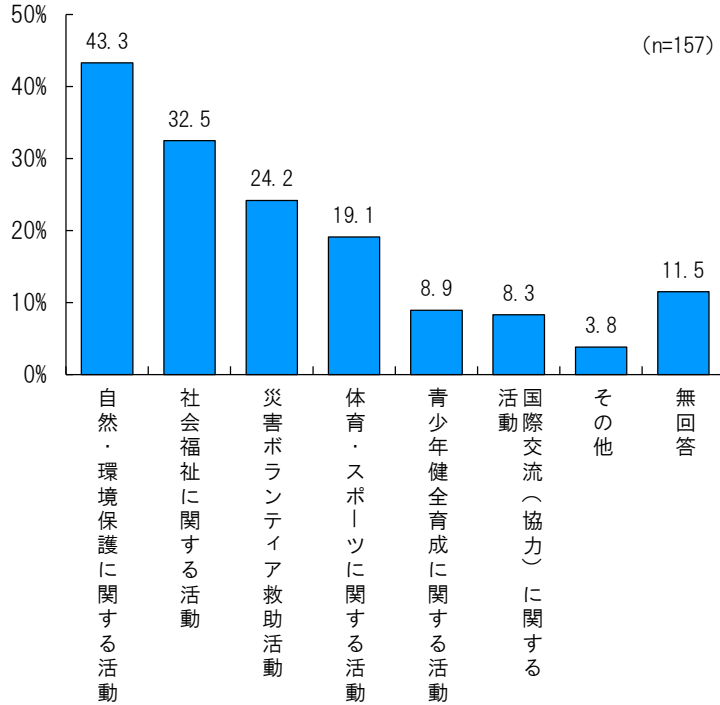
年齢別でみると、“65～74歳”、“75歳以上”では「月に1～2日程度」が最も多くなっています。

40 参加したい活動の内容

【問31で「1」または「2」と回答した方にお聞きます。】

問31-2 どのような活動に参加したいと思いますか。

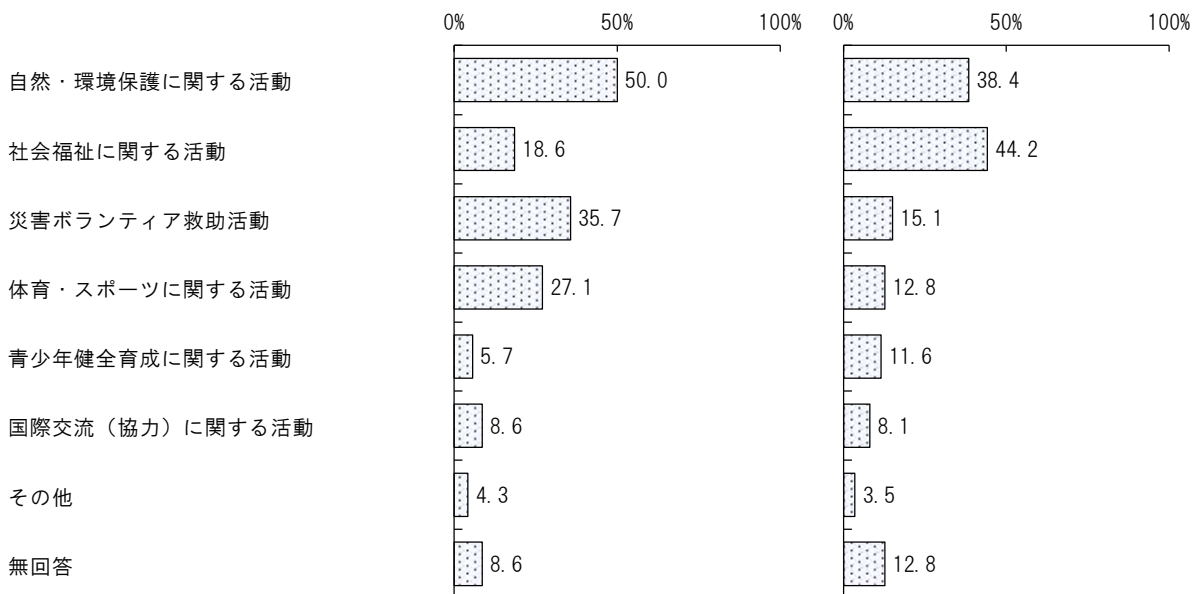
(あてはまるものすべてに○)



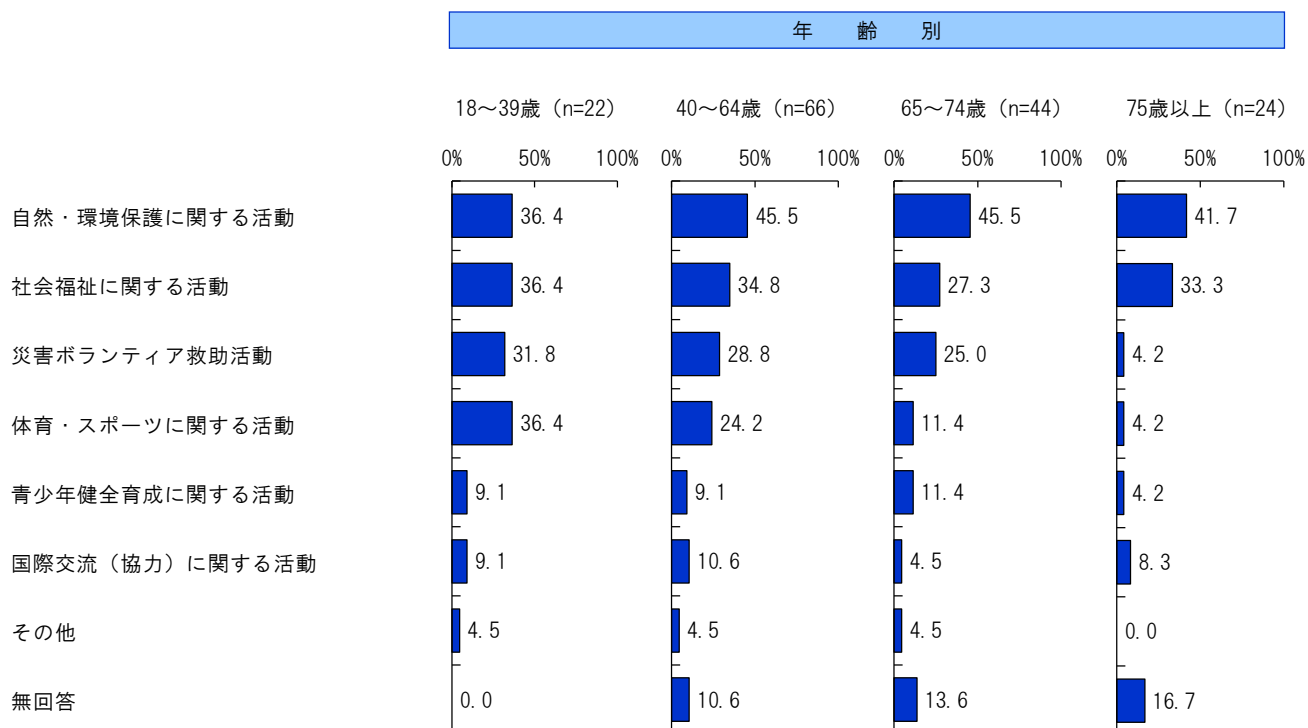
性別

男性 (n=70)

女性 (n=86)



40 参加したい活動の内容



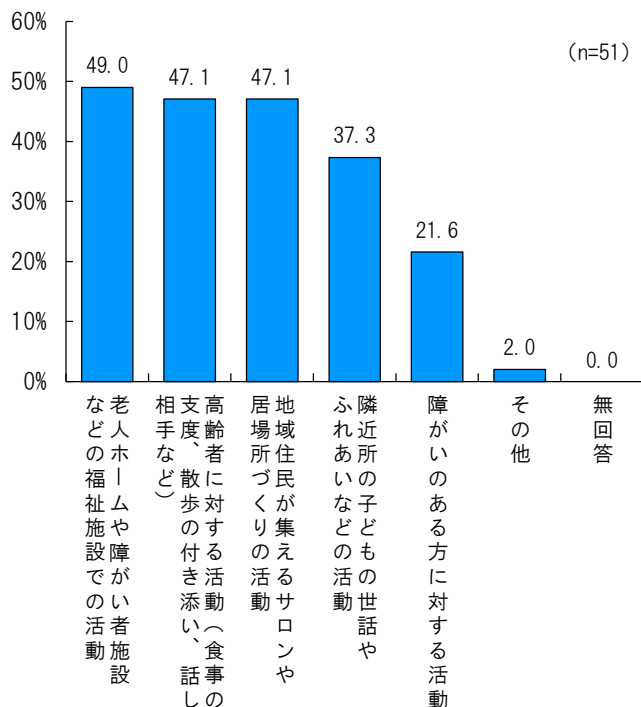
参加したい活動の内容については、「自然・環境保護に関する活動」が43.3%と最も多く、次いで「社会福祉に関する活動」が32.5%、「災害ボランティア救助活動」が24.2%などとなっています。性別でみると、“女性”では「社会福祉に関する活動」が44.2%と最も多くなっています。

41 参加したい社会福祉活動の内容

【問31-2で「1 社会福祉に関する活動」と回答した方にお聞きします。】

問31-3 どのような社会福祉活動に参加したいと思いますか。

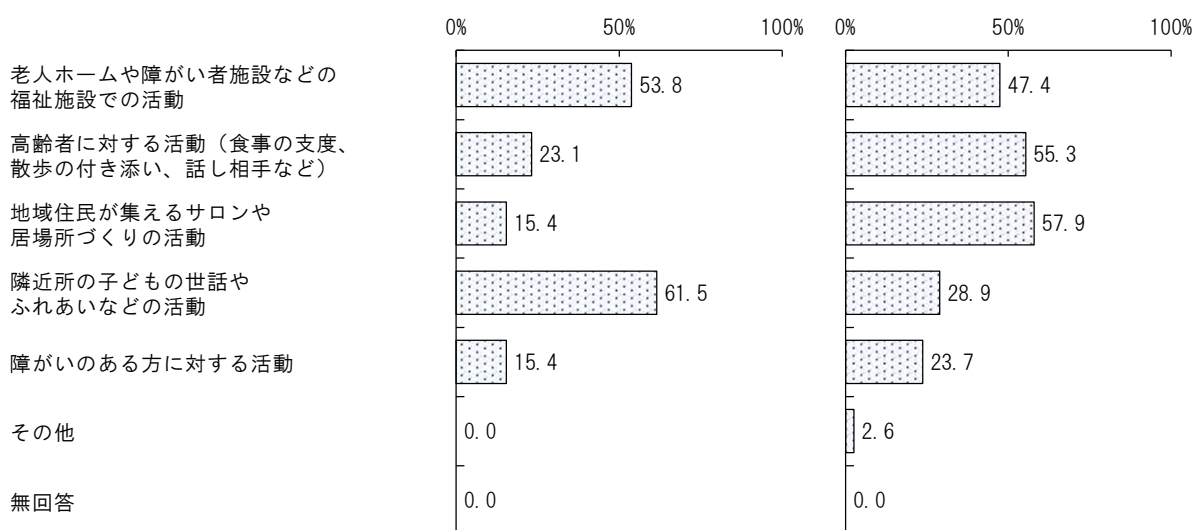
(あてはまるものすべてに○)



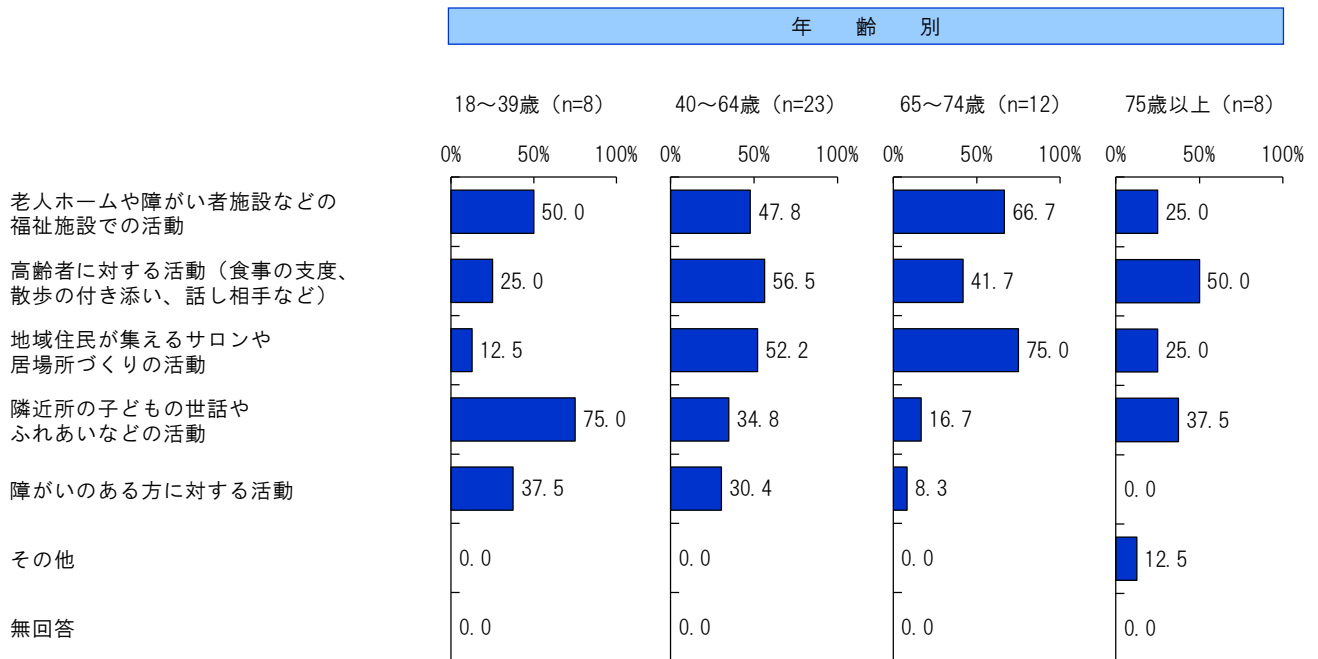
性別

男性 (n=13)

女性 (n=38)



41 参加したい社会福祉活動の内容



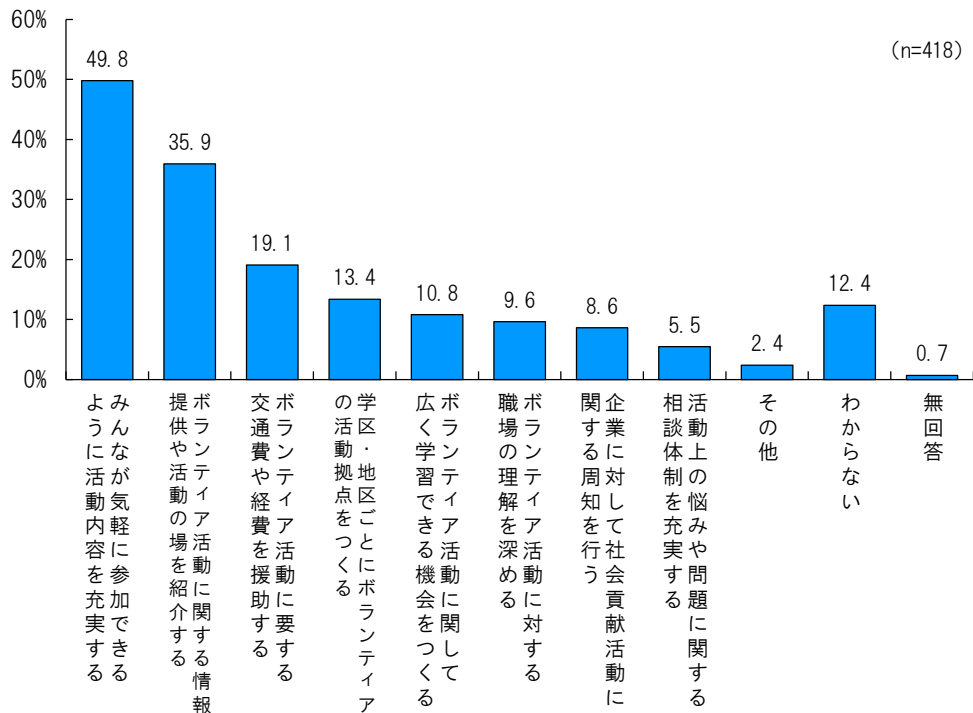
参加したい社会福祉活動の内容については、「老人ホームや障がい者施設などの福祉施設での活動」が49.0%と最も多く、次いで「高齢者に対する活動（食事の支度、散歩の付き添い、話し相手など）」と「地域住民が集えるサロンや居場所づくりの活動」が47.1%、「隣近所の子どもの世話やふれあいなどの活動」が37.3%などとなっています。

性別でみると、“男性”では「隣近所の子どもの世話やふれあいなどの活動」が61.5%と最も多くなっています。また、“女性”では「地域住民が集えるサロンや居場所づくりの活動」が57.9%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“40～64歳”では「高齢者に対する活動（食事の支度、散歩の付き添い、話し相手など）」が56.5%と最も多くなっています。また、“65～74歳”では「地域住民が集えるサロンや居場所づくりの活動」が75.0%と最も多くなっています。

42 ボランティア活動が活発になるために必要なこと

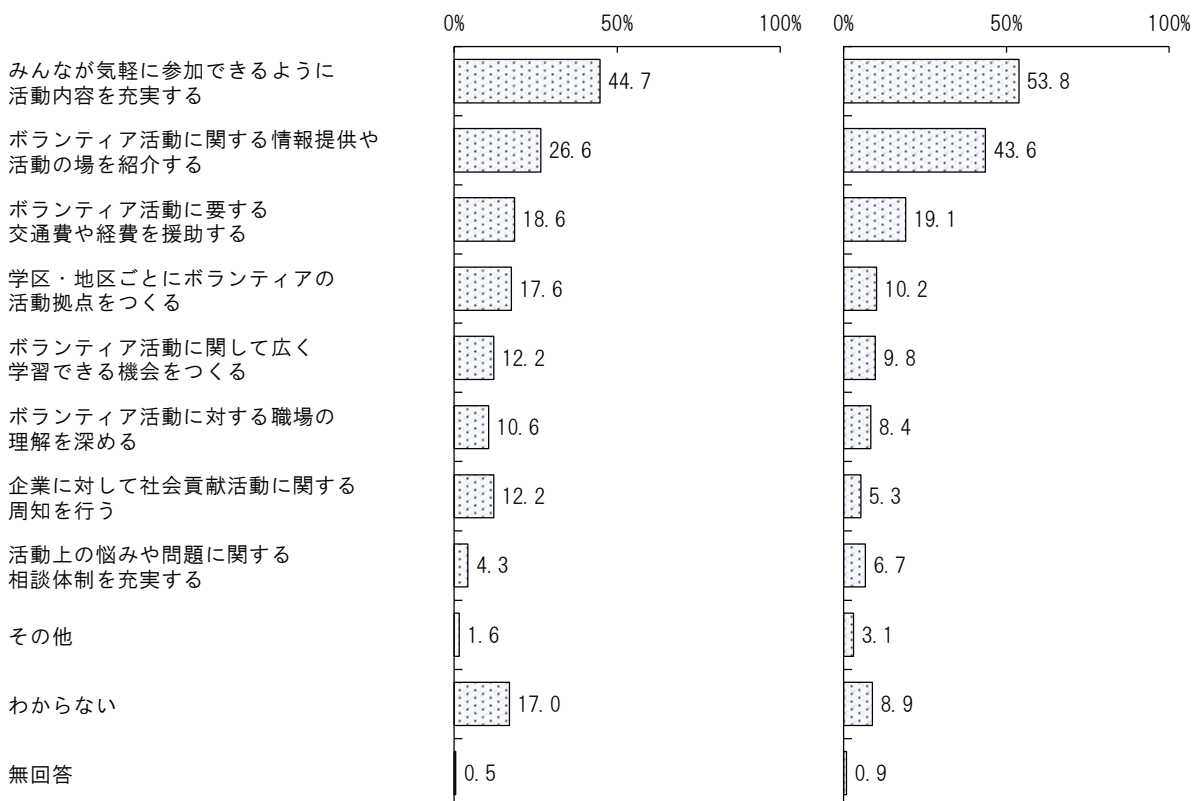
問32 今後、御前崎市でボランティア活動が活発になるためには、主にどのようなことが必要だと思いますか。
(○は2つまで)



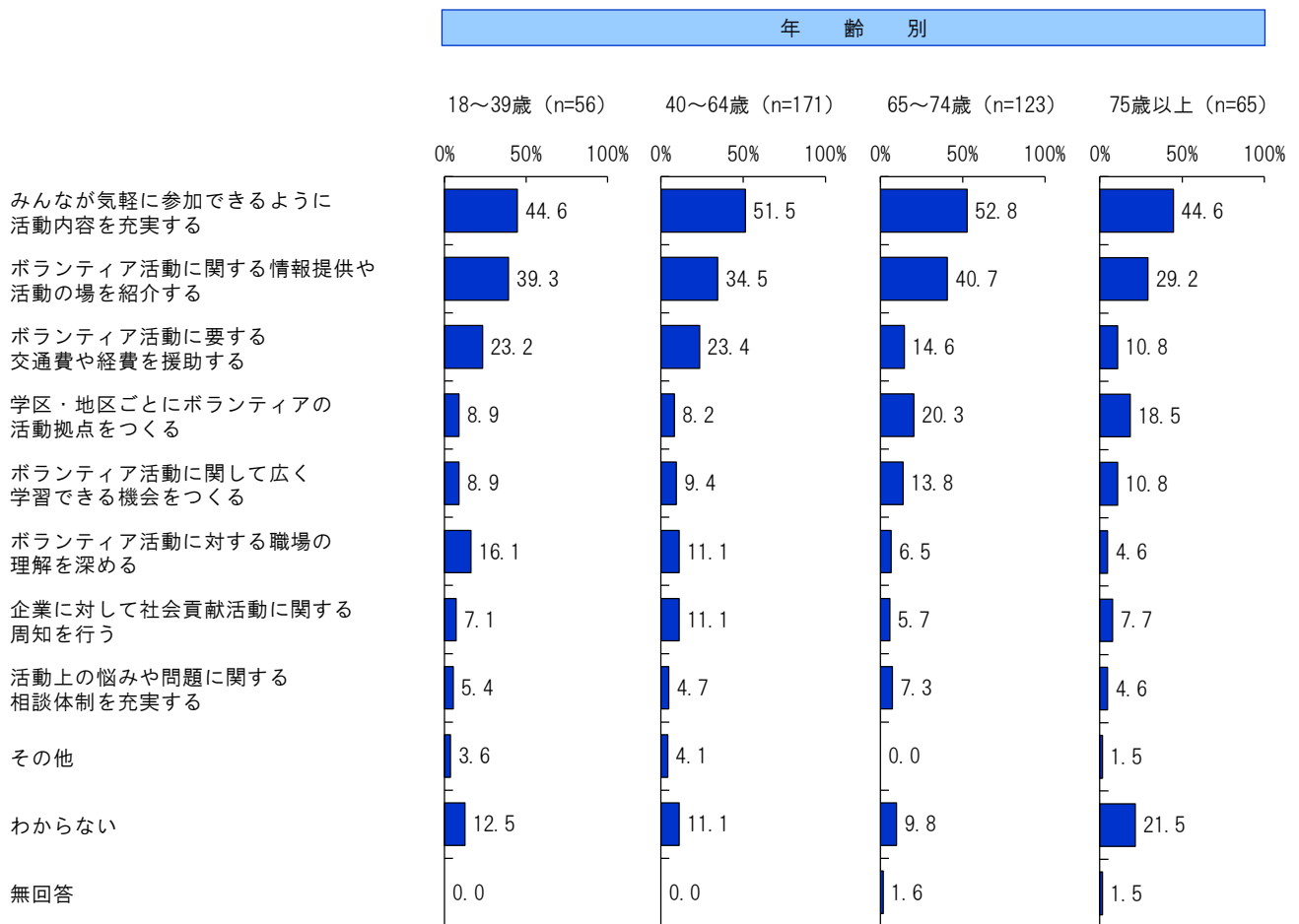
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



42 ボランティア活動が活発になるために必要なこと



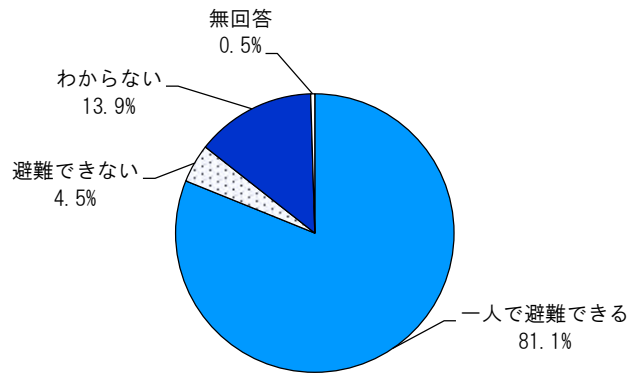
ボランティア活動が活発になるために必要なことについては、「みんなが気軽に参加できるように活動内容を充実する」が49.8%と最も多く、次いで「ボランティア活動に関する情報提供や活動の場を紹介する」が35.9%、「ボランティア活動に要する交通費や経費を援助する」が19.1%などとなっています。

6. 災害に関することについて

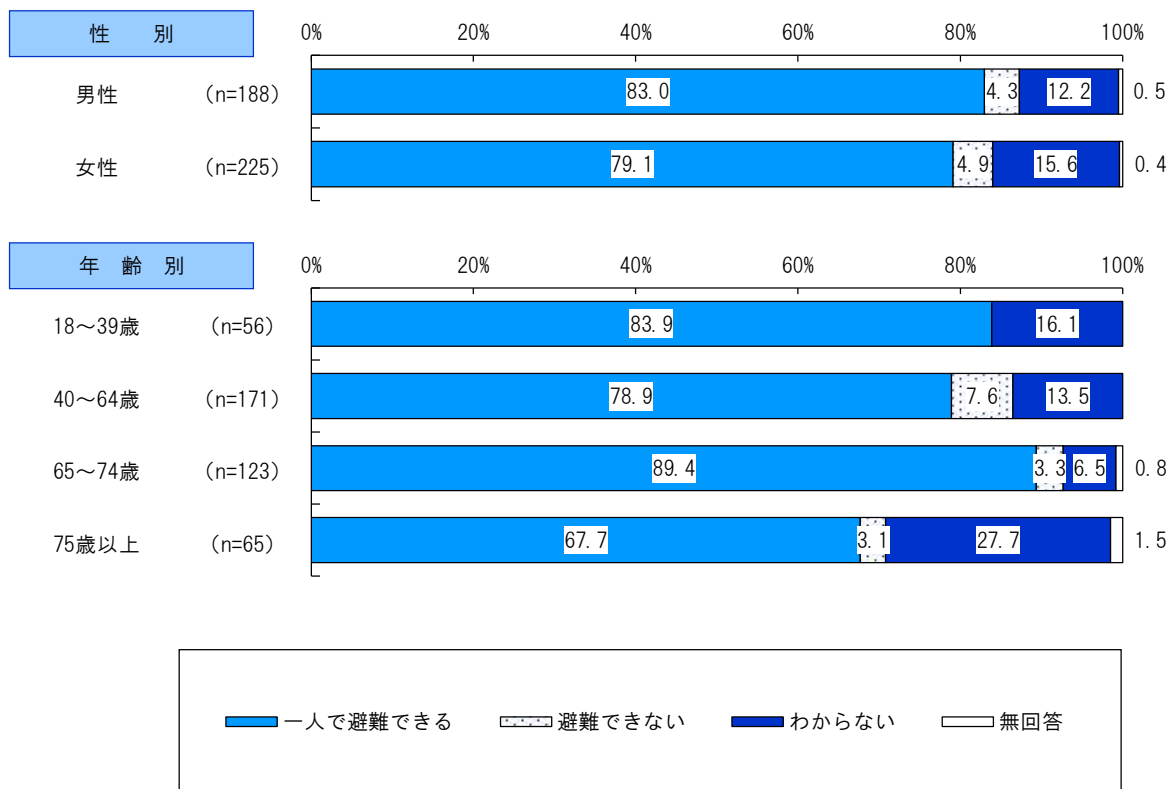
43 災害等の緊急時の一人での避難

問33 あなたは、災害等の緊急時の場合、一人で避難できますか。

(○は1つだけ)



(n=418)

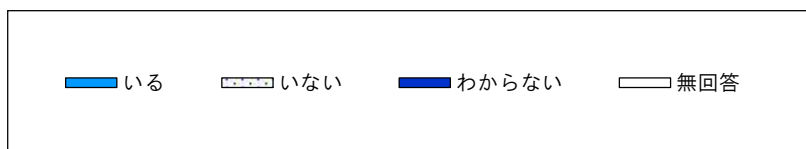
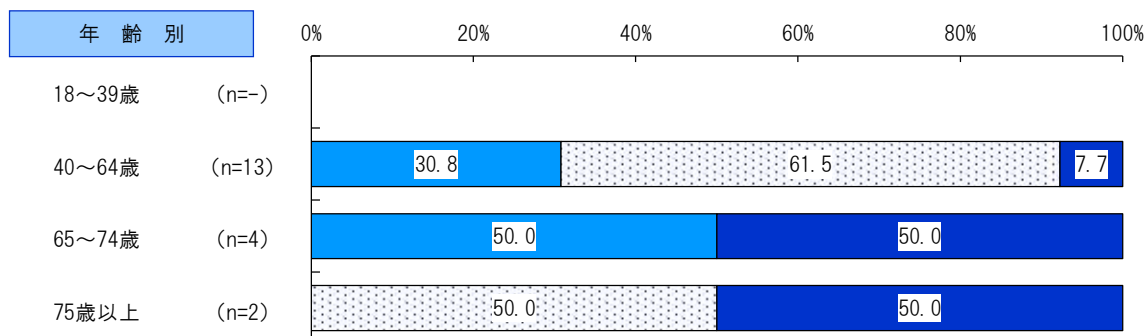
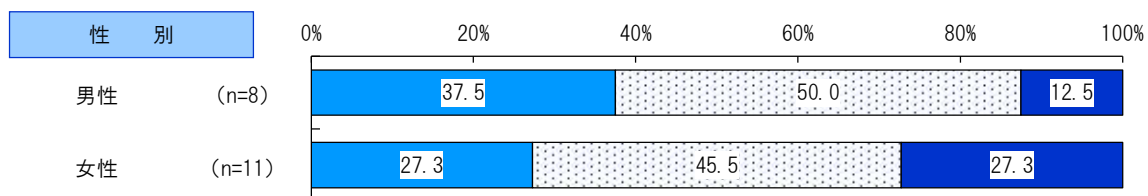
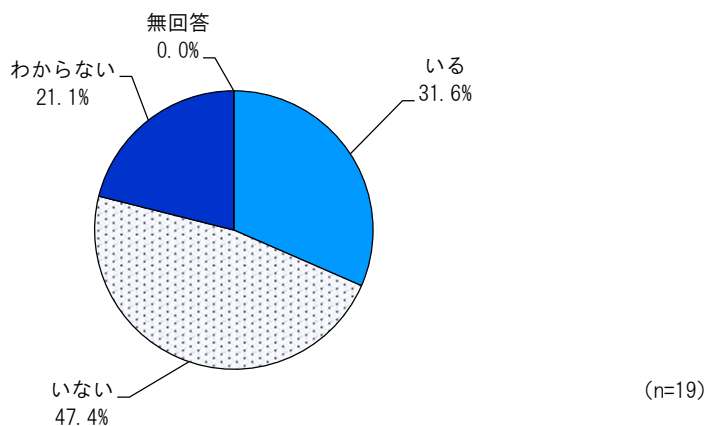


災害等の緊急時の一人での避難については、「一人でも避難できる」が81.1%、「避難できない」が4.5%、「わからない」が13.9%となっています。

44 災害発生時に近所で助けてくれる人

【問33で「2 避難できない」と回答した方にお聞きします。】

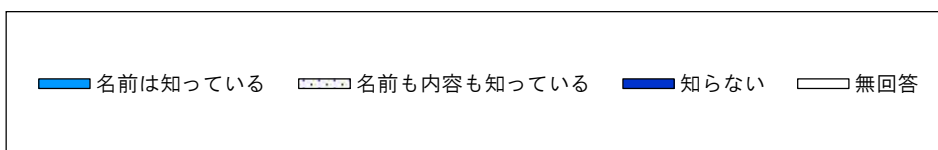
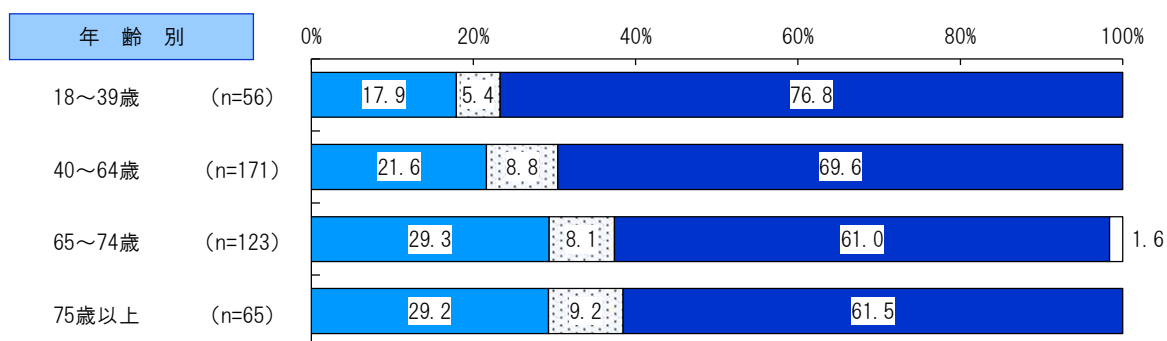
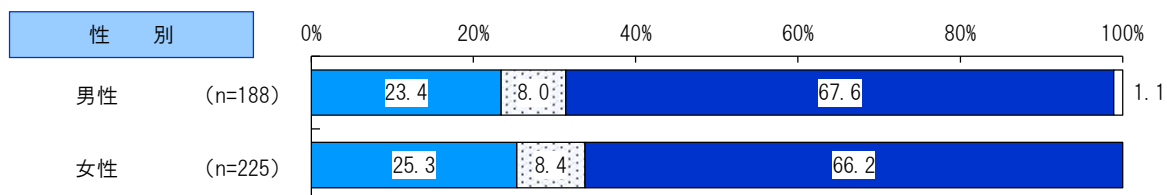
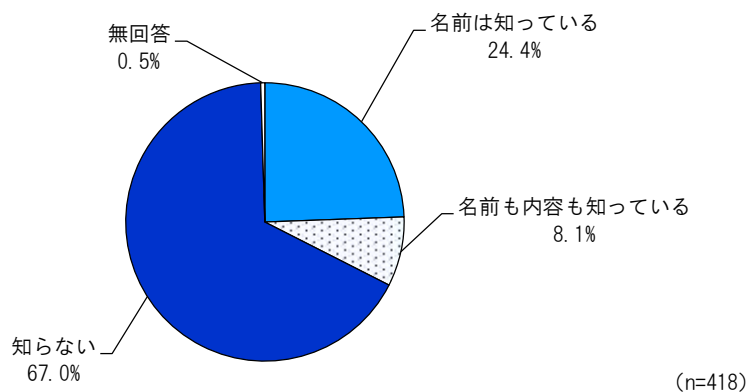
問33-1 家族や介助者等が不在、またはひとり暮らしの場合に、火事や地震等の災害が発生した時、ご近所に助けてくれる方はいますか。(〇は1つだけ)



災害発生時に近所で助けてくれる人については、「いる」が31.6%、「いない」が47.4%、「わからない」が21.1%となっています。

45 個別避難計画の認知

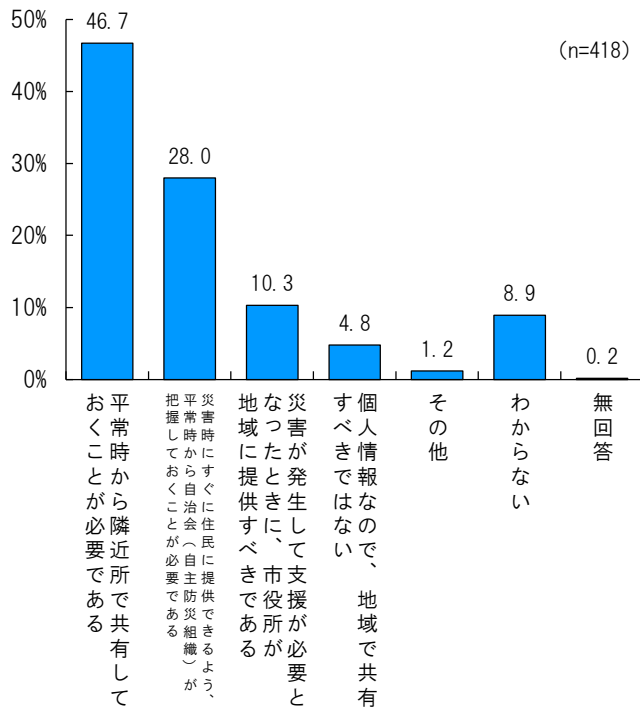
問34 あなたは、個別避難計画を知っていますか。 (○は1つだけ)



個別避難計画の認知については、「名前を知っている」が24.4%、「名前も内容も知っている」が8.1%、「知らない」が67.0%となっています。

46 地域で避難支援の必要な人の情報共有

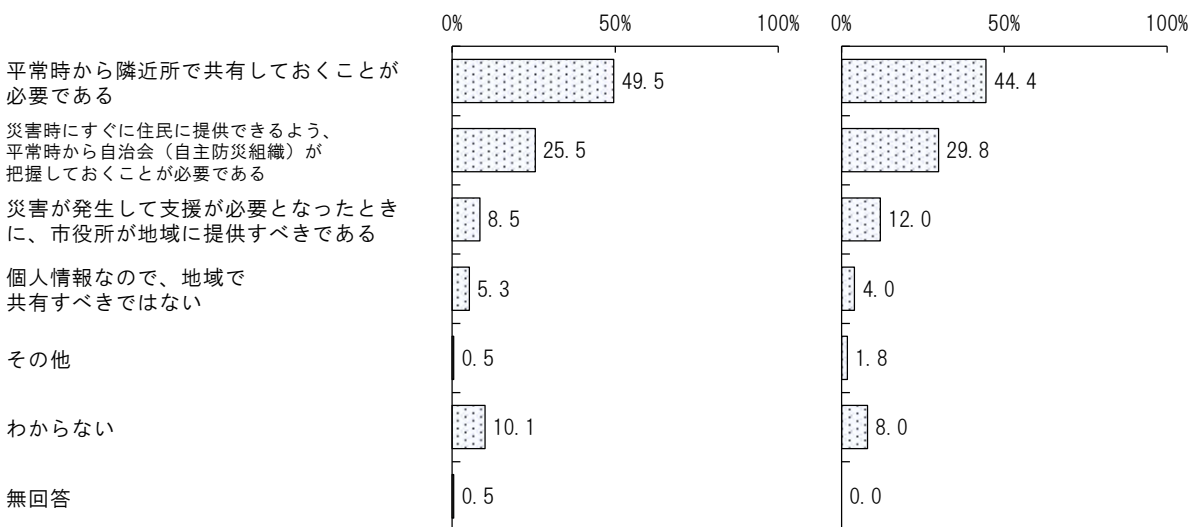
問35 災害時に避難支援の必要な人（身体の不自由な人など）の情報を地域で共有することについて、あなたはどのようにお考えですか。（○は1つだけ）



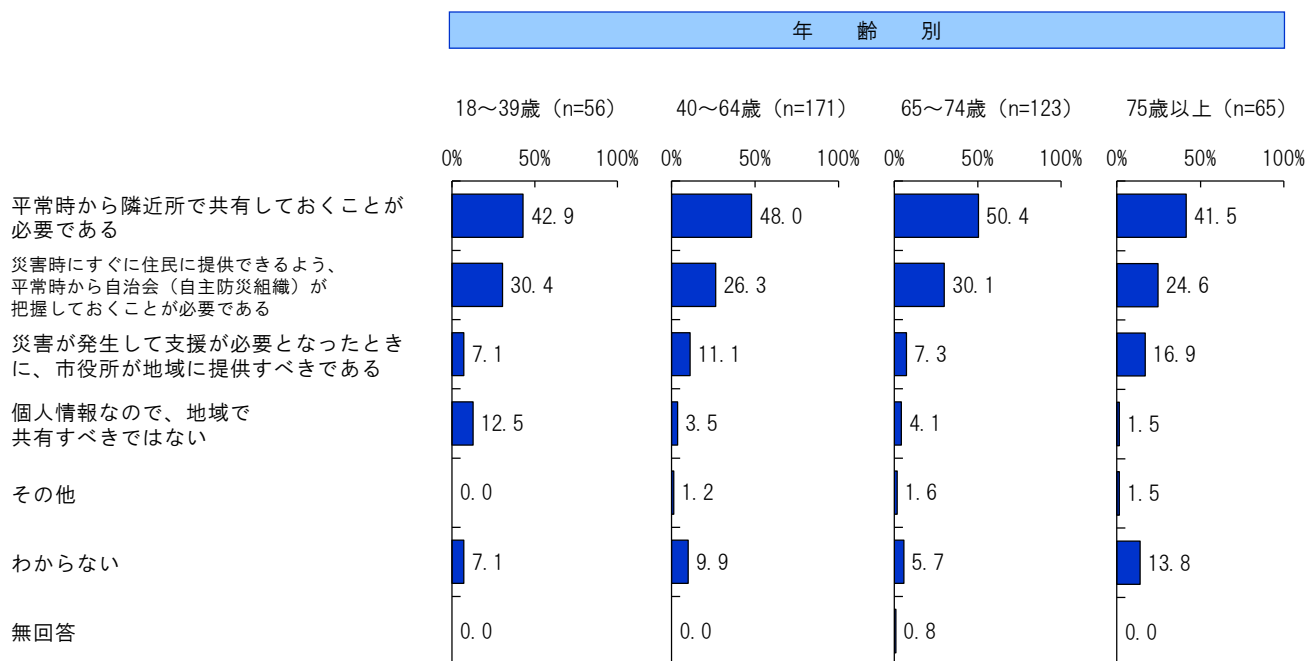
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



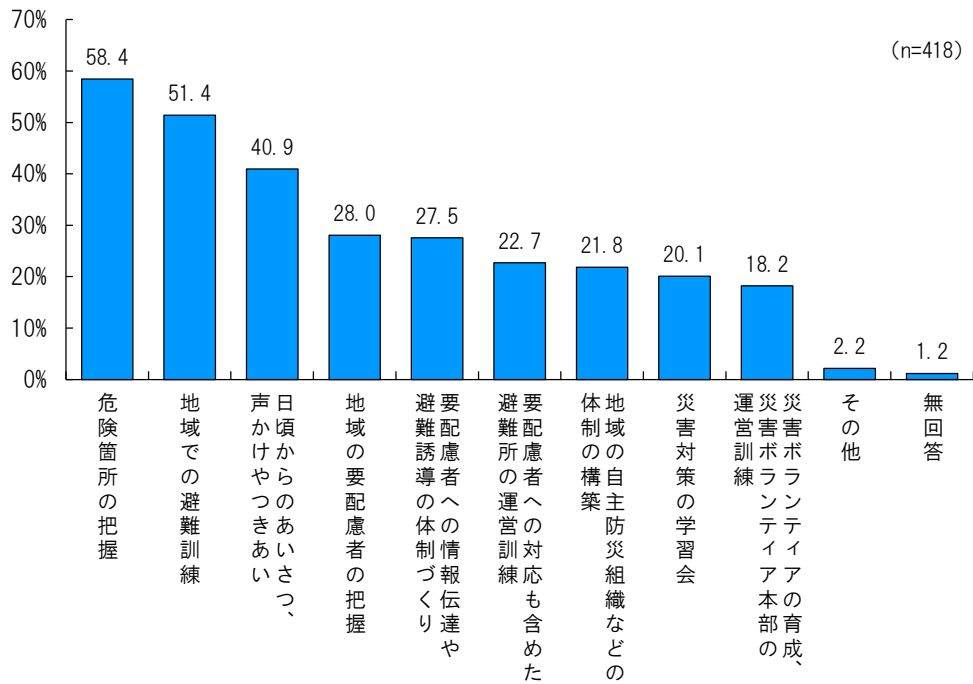
46 地域で避難支援の必要な人の情報共有



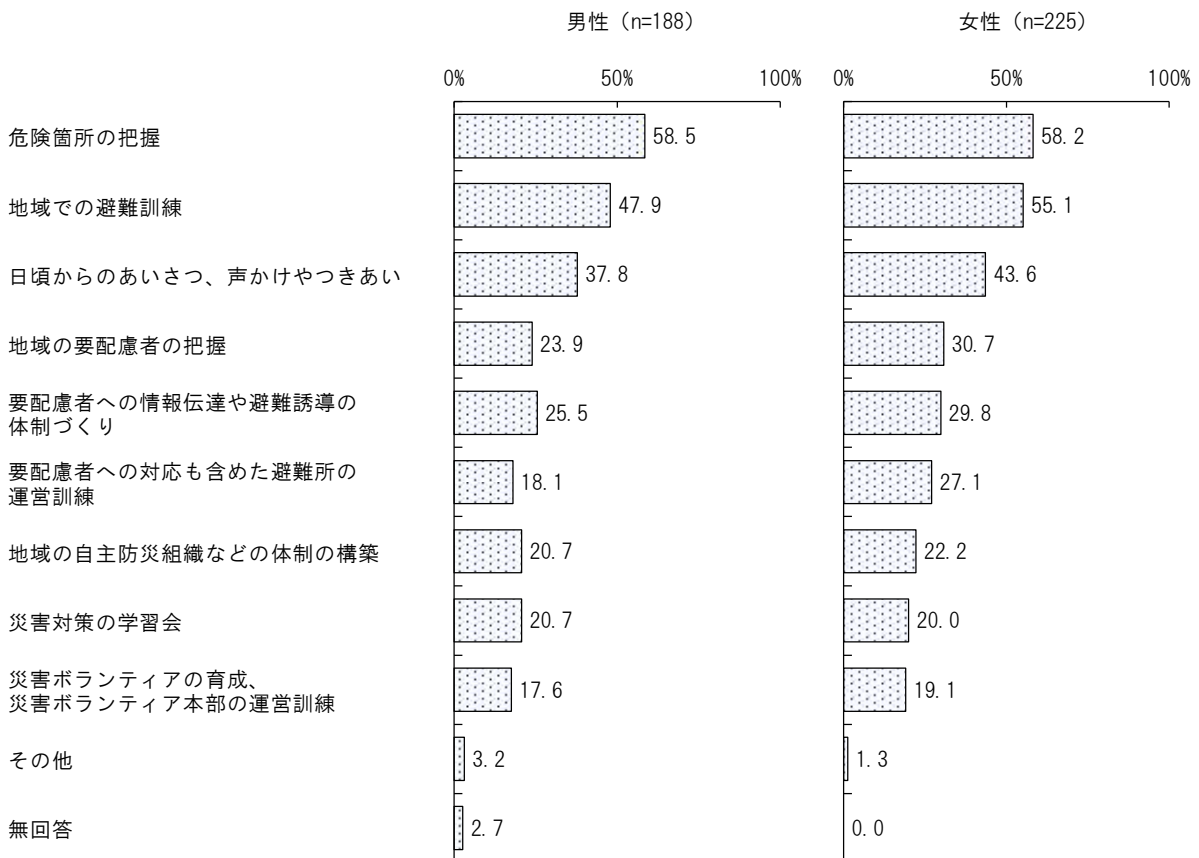
地域で避難支援の必要な人の情報共有については、「平常時から隣近所で共有しておくことが必要である」が46.7%と最も多く、次いで「災害時にすぐに住民に提供できるよう、平常時から自治会（自主防災組織）が把握しておくことが必要である」が28.0%、「災害が発生して支援が必要となったときに、市役所が地域に提供すべきである」が10.3%などとなっています。

47 地域における災害時の備えで大切なこと

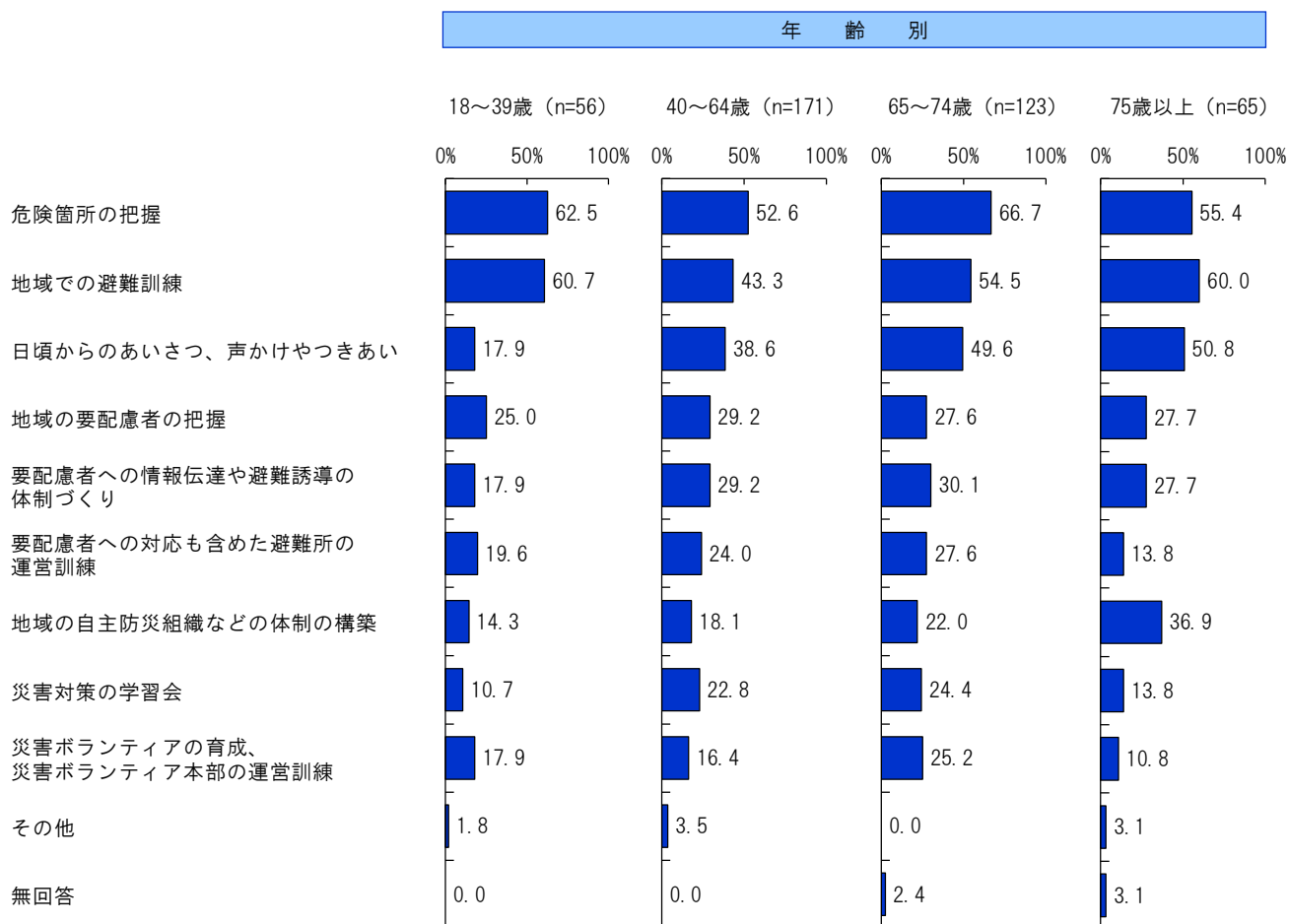
問36 地域における災害時の備えとして、どのようなことが大切だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



性別



47 地域における災害時の備えで大切なこと



地域における災害時の備えで大切なことについては、「危険箇所の把握」が58.4%と最も多く、次いで「地域での避難訓練」が51.4%、「日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」が40.9%などとなっています。

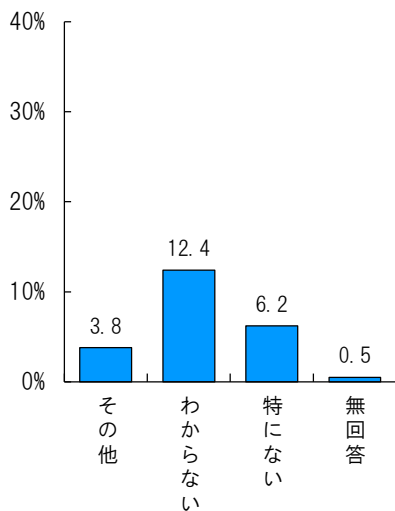
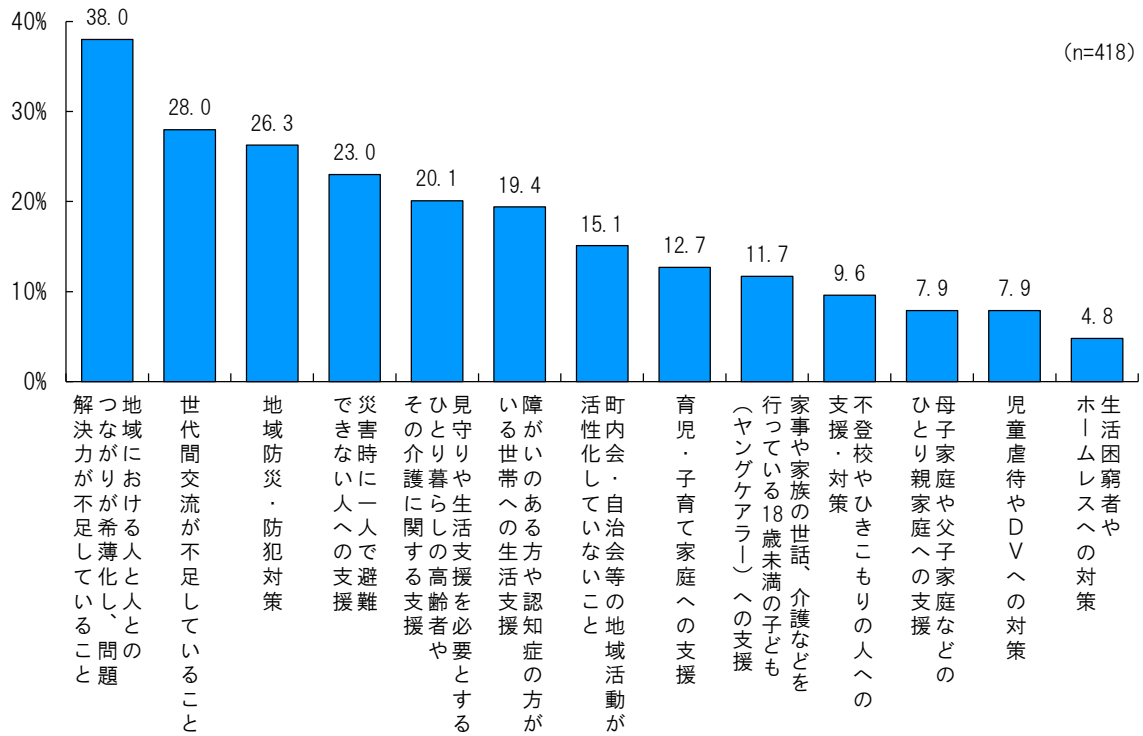
年齢別でみると、“75歳以上”では「地域での避難訓練」が60.0%と最も多くなっています。

7. 地域の問題や課題について

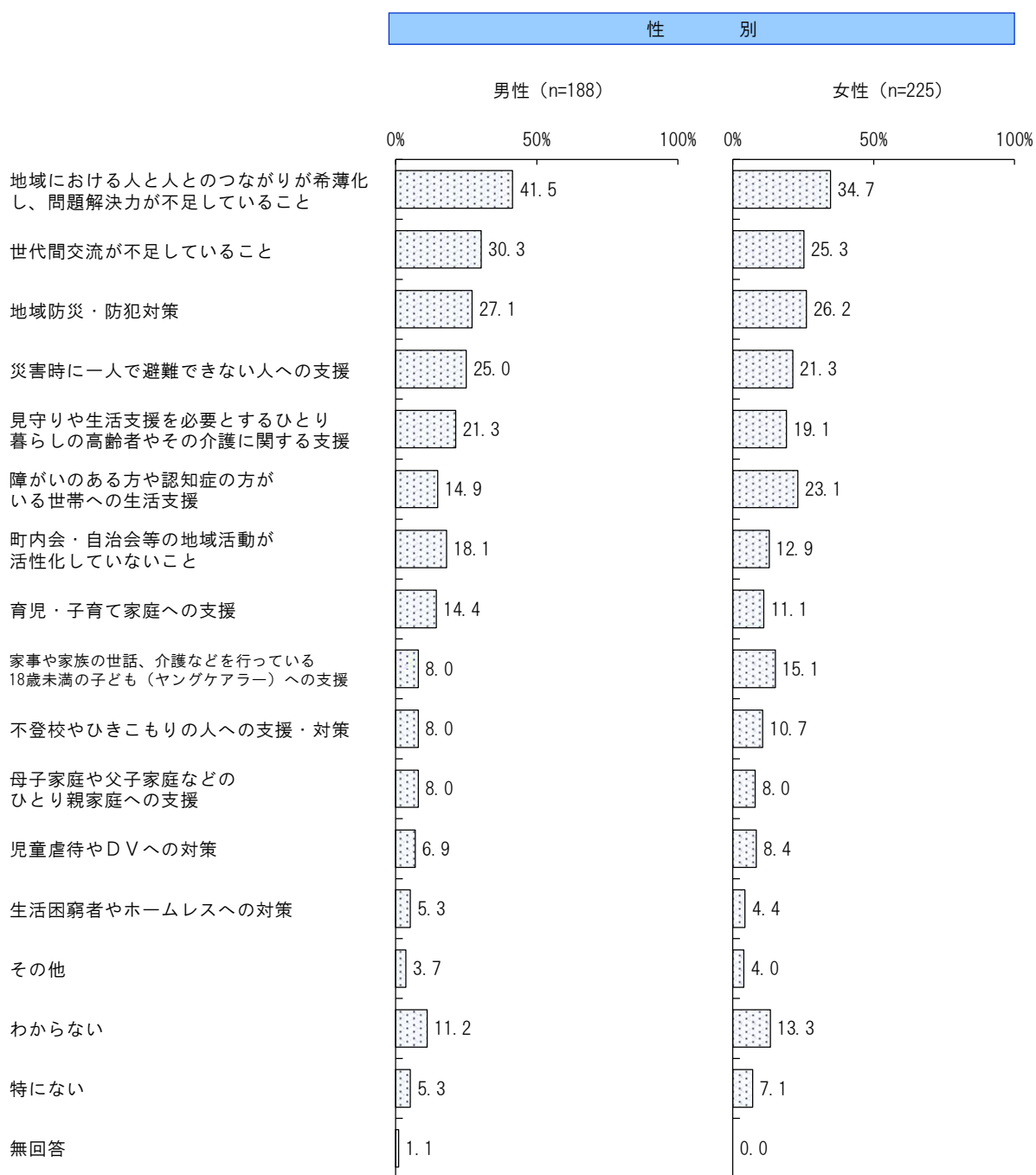
48 安心して生活していく上での問題や課題

問37 現在、あなたがお住まいの地域やその周辺では、安心して生活していく上で、どのような問題や課題があると感じていますか。

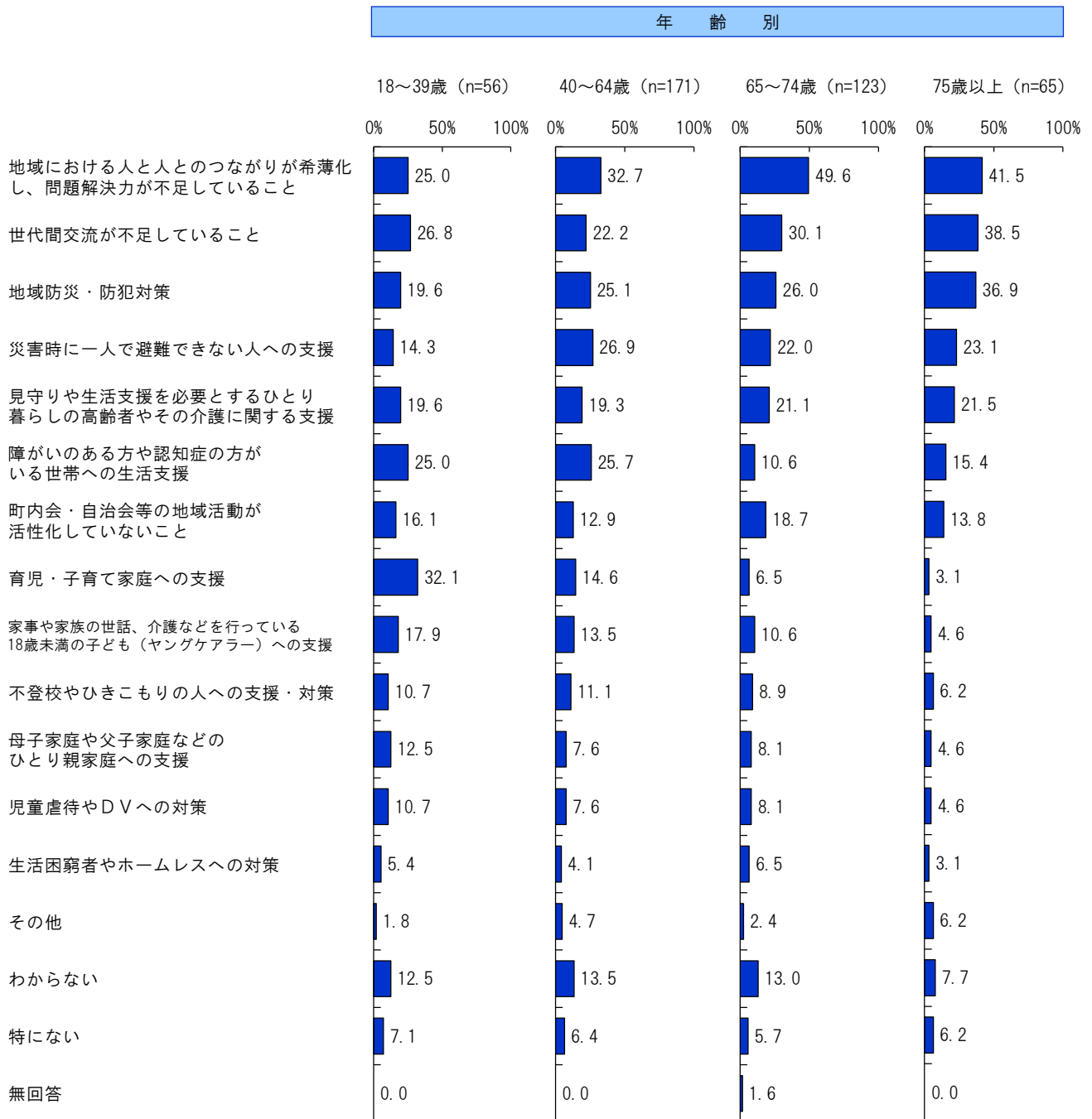
(あてはまるものすべてに○)



48 安心して生活していく上での問題や課題



48 安心して生活していく上での問題や課題

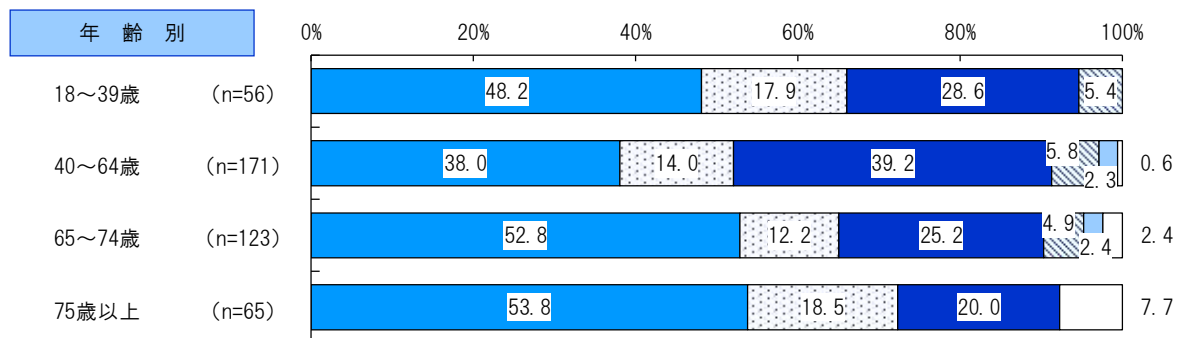
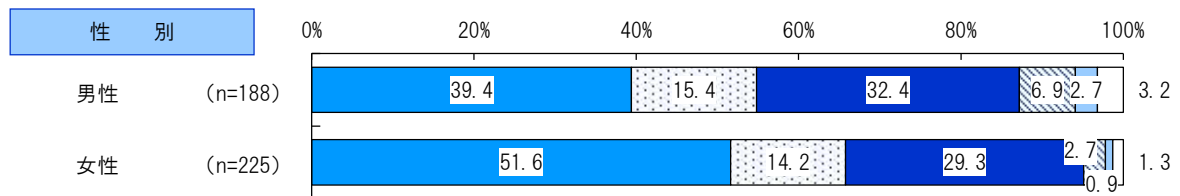
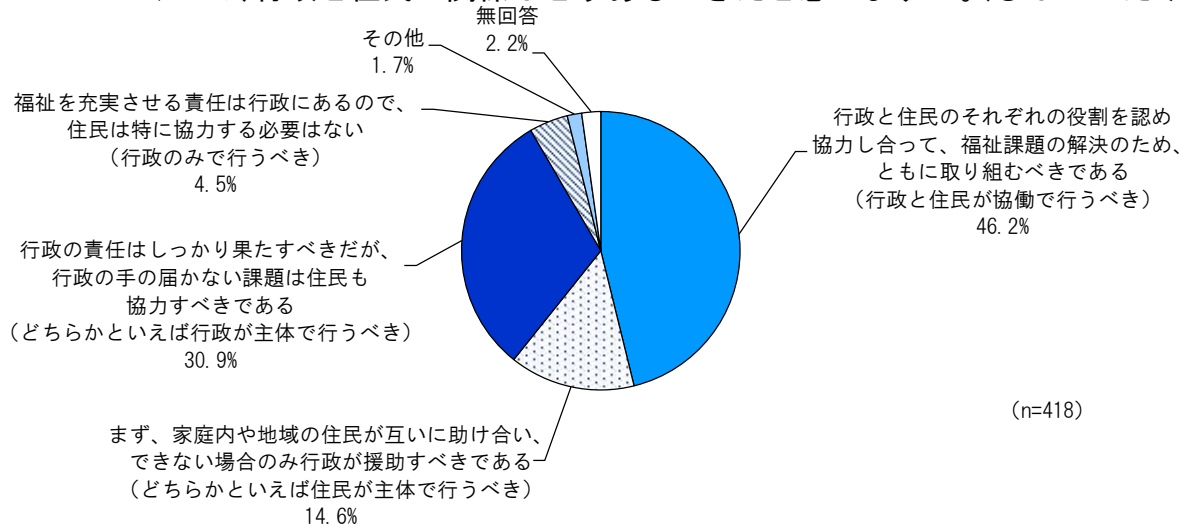


安心して生活していく上での問題や課題については、「地域における人と人とのつながりが希薄化し、問題解決力が不足していること」が38.0%と最も多く、次いで「世代間交流が不足していること」が28.0%、「地域防災・防犯対策」が26.3%などとなっています。

年齢別でみると、「18～39歳」では「育児・子育て家庭への支援」が32.1%と最も多くなっています。

49 行政と住民の関係はどうあるべきか

問38 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の福祉を充実させていく上で、行政と住民の関係はどうあるべきだと思いますか。(〇は1つだけ)



- 行政と住民のそれぞれの役割を認め協力し合って、福祉課題の解決のため、ともに取り組むべきである (行政と住民が協働で行うべき)
- 行政の責任はしっかり果たすべきだが、行政の手の届かない課題は住民も協力すべきである (どちらかといえば行政が主体で行うべき)
- その他
- まず、家庭内や地域の住民が互いに助け合い、できない場合のみ行政が援助すべきである (どちらかといえば住民が主体で行うべき)
- 福祉を充実させる責任は行政にあるので、住民は特に協力する必要はない (行政のみで行うべき)
- 無回答

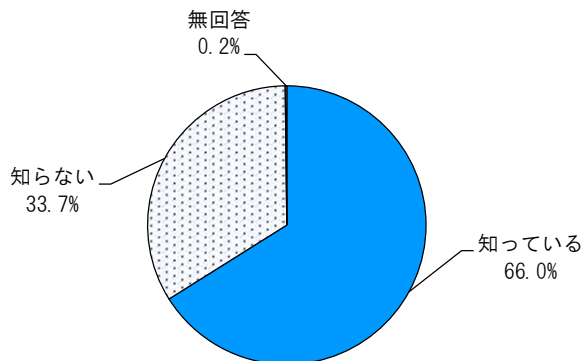
行政と住民の関係はどうあるべきかについては、「行政と住民のそれぞれの役割を認め協力し合って、福祉課題の解決のため、ともに取り組むべきである (行政と住民が協働で行うべき)」が46.2%と最も多く、次いで「行政の責任はしっかり果たすべきだが、行政の手の届かない課題は住民も協力すべきである (どちらかといえば行政が主体で行うべき)」が30.9%、「まず、家庭内や地域の住民が互いに助け合い、できない場合のみ行政が援助すべきである (どちらかといえば住民が主体で行うべき)」が14.6%などとなっています。

年齢別でみると、“40～64歳”では「行政の責任はしっかり果たすべきだが、行政の手の届かない課題は住民も協力すべきである (どちらかといえば行政が主体で行うべき)」が39.2%と最も多くなっています。

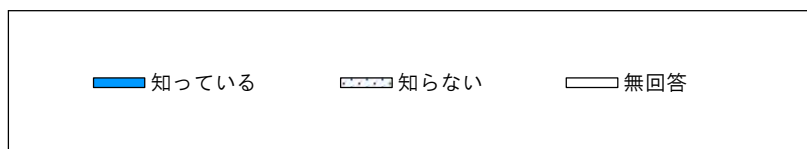
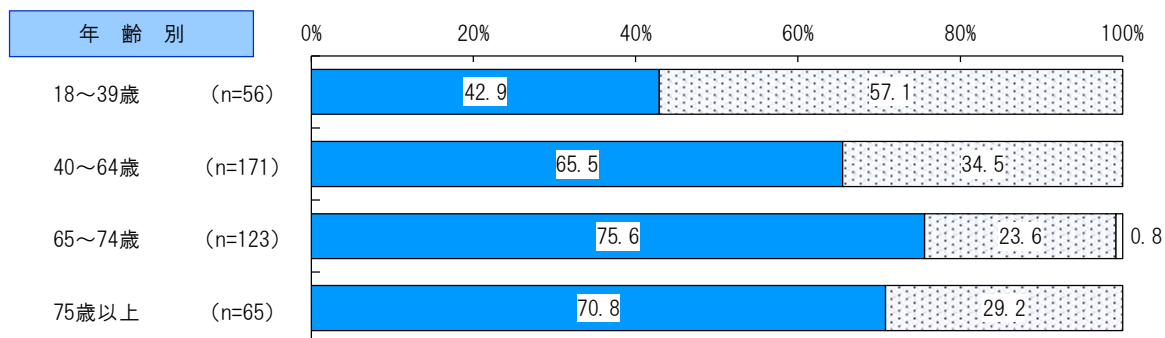
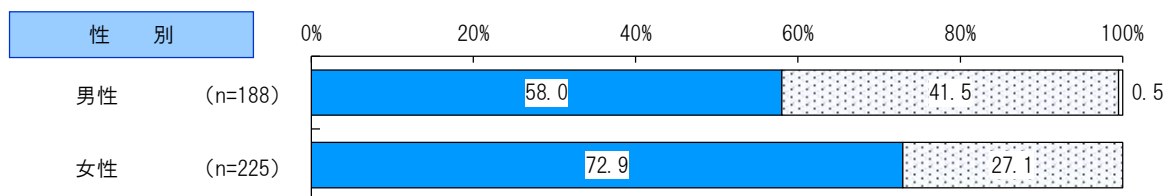
8. 御前崎市社会福祉協議会について

50 御前崎市社会福祉協議会の認知

問39 あなたは、御前崎市社会福祉協議会を知っていますか。 (○は1つだけ)



(n=418)



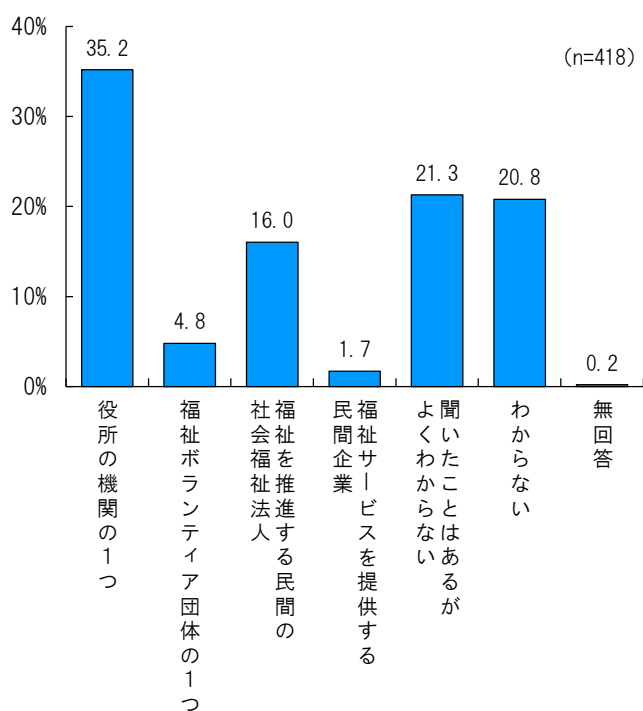
御前崎市社会福祉協議会の認知については、「知っている」が66.0%、「知らない」が33.7%となっています。

年齢別でみると、“18~39歳”では「知っている」が42.9%、「知らない」が57.1%と、「知らない」のほうが多くなっています。

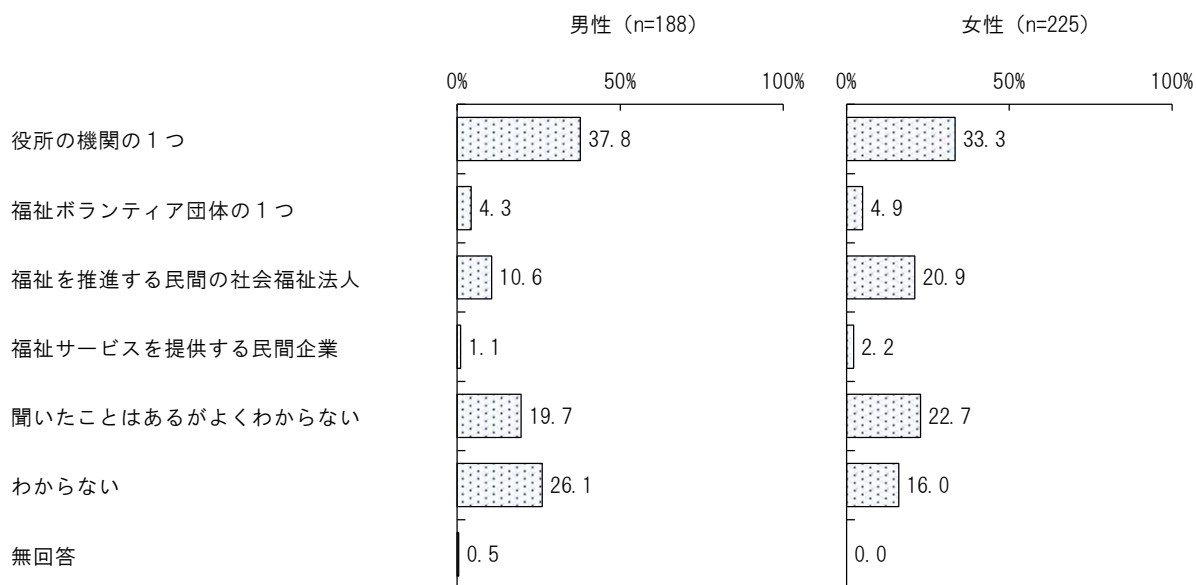
51 御前崎市社会福祉協議会はどのような組織だと思うか

問40 御前崎市社会福祉協議会は、どのような組織だと思いますか。

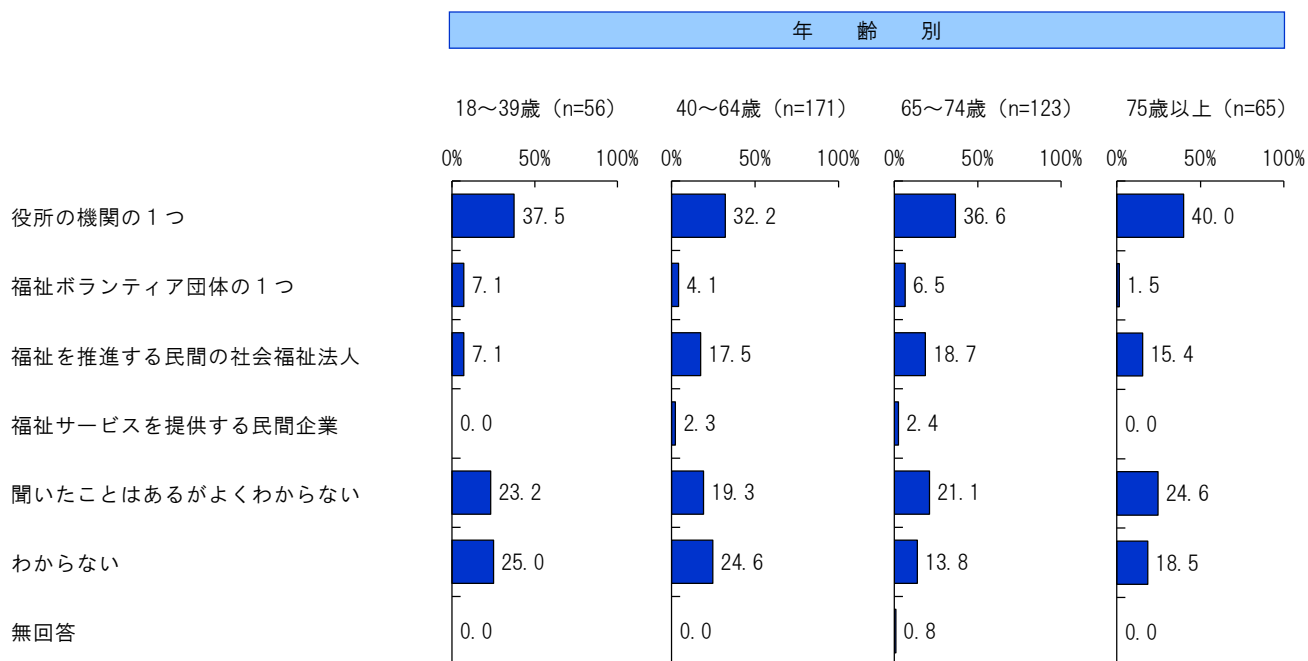
(○は1つだけ)



性別



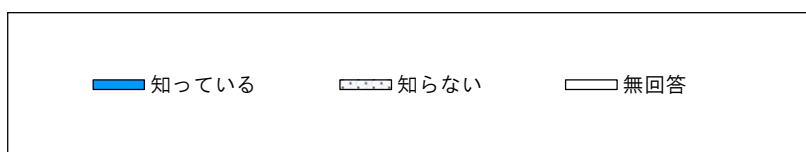
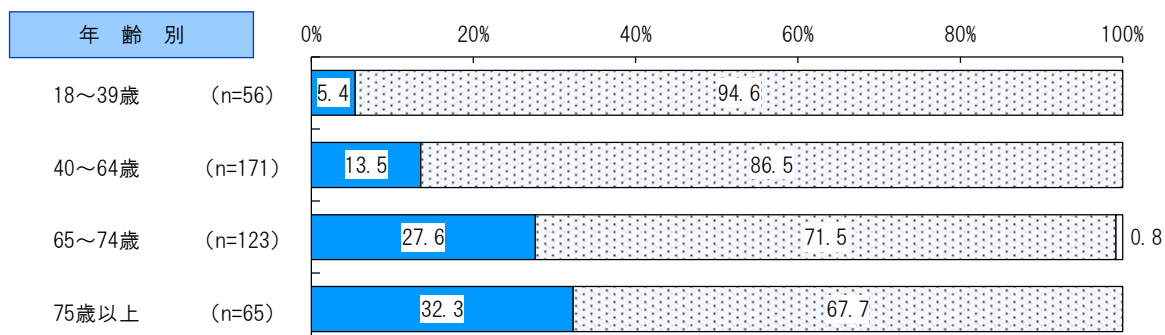
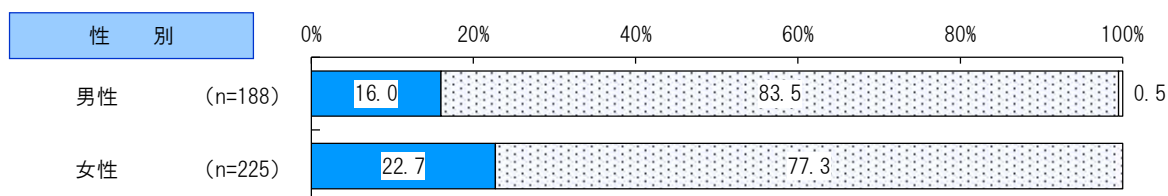
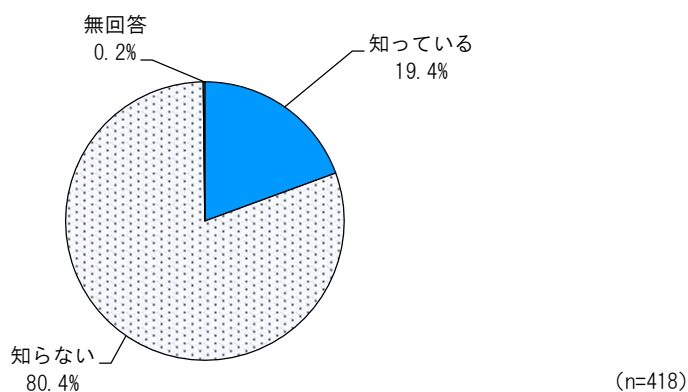
51 御前崎市社会福祉協議会はどのような組織だと思うか



御前崎市社会福祉協議会はどのような組織だと思うかについては、「役所の機関の1つ」が35.2%と最も多く、次いで「聞いたことはあるがよくわからない」が21.3%、「わからない」が20.8%などとなっています。

52 町内会加入者についての認識

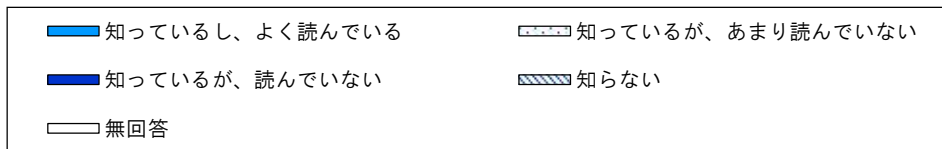
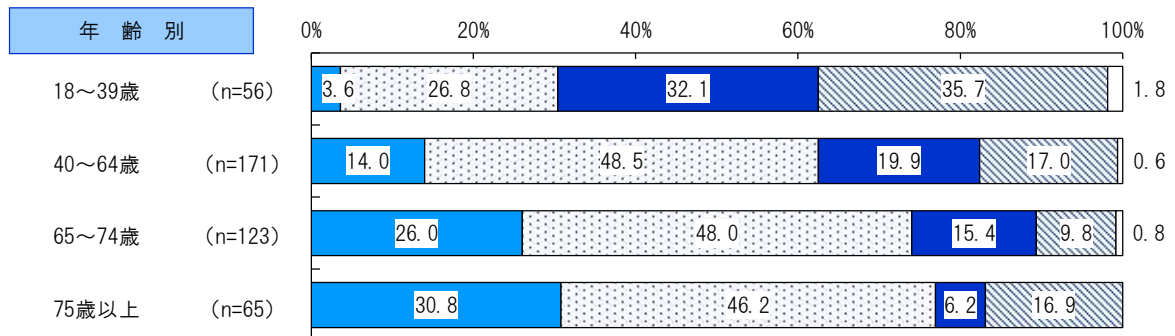
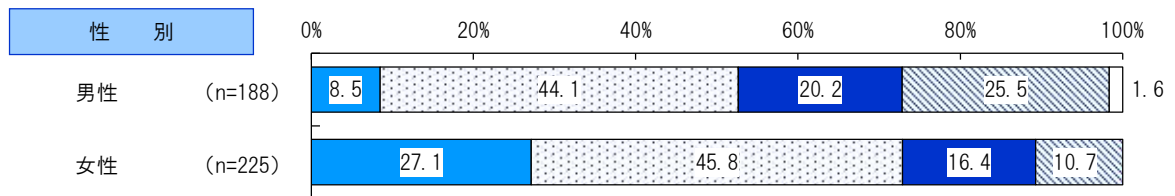
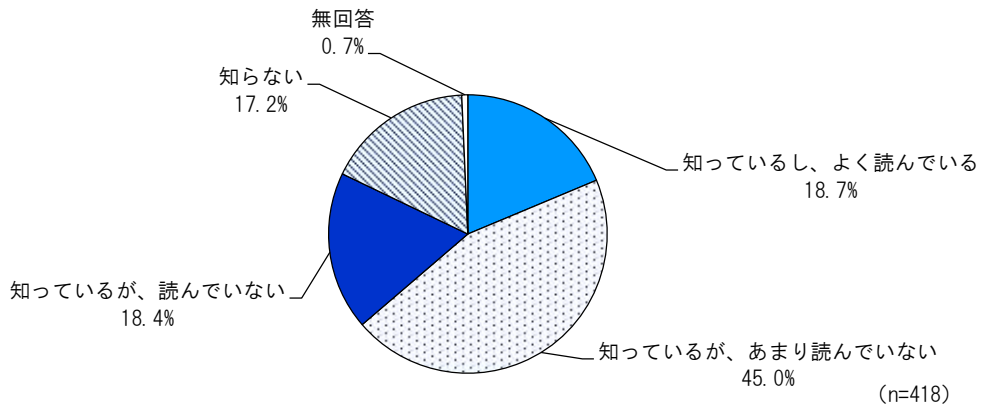
問41 あなたは、町内会加入者のほぼ全世帯が御前崎市社会福祉協議会の普通会員であることを知っていますか。(〇は1つだけ)



町内会加入者についての認識については、「知っている」が19.4%、「知らない」が80.4%となっています。

53 『おまえざき社協だより』の認知

問42 あなたは、御前崎市社会福祉協議会で発行している広報誌「おまえざき社協だより」をご存知ですか。
(○は1つだけ)

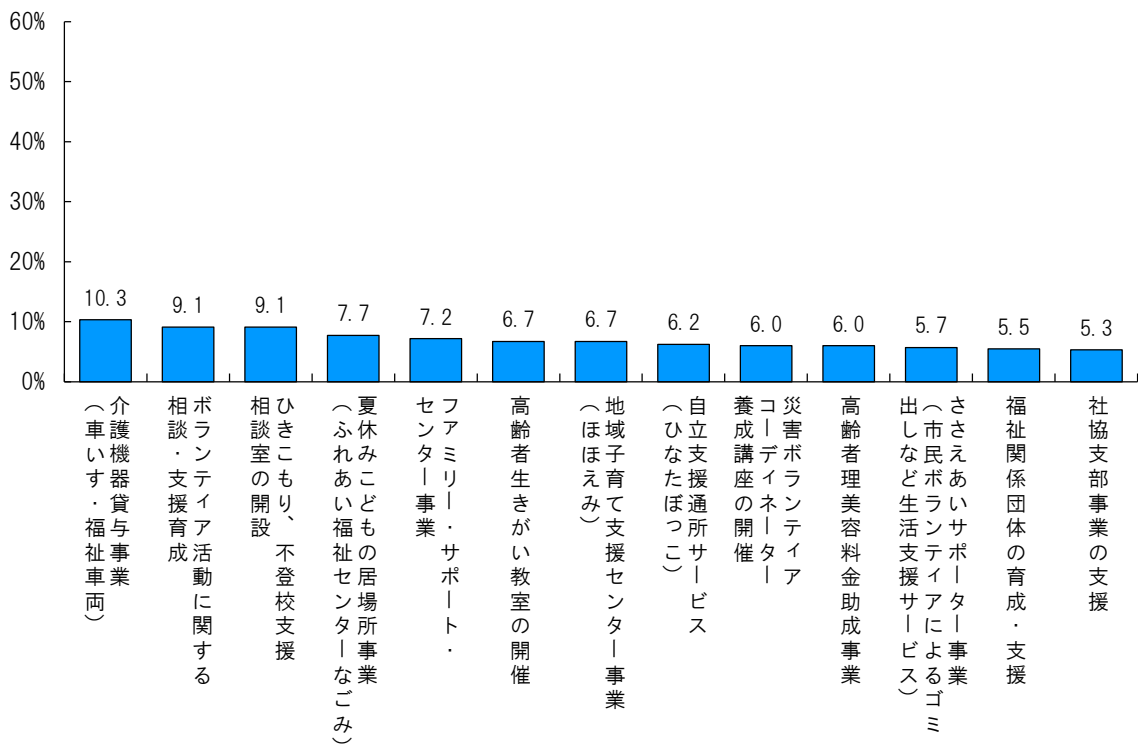
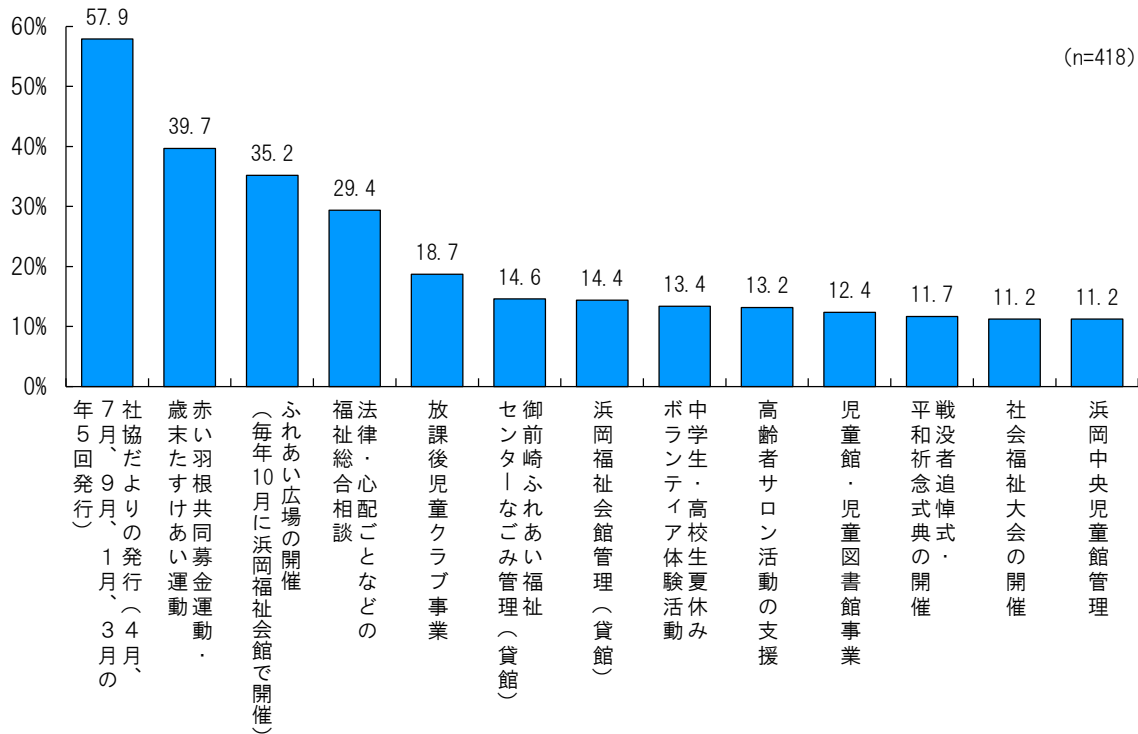


『おまえざき社協だより』の認知については、「知っているし、よく読んでいます」が18.7%、「知っているが、あまり読んでいません」が45.0%、「知っているが、読んでいません」が18.4%、「知らない」が17.2%となっています。

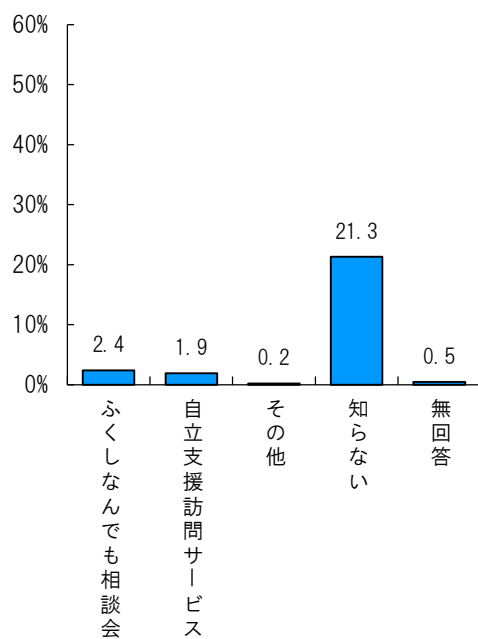
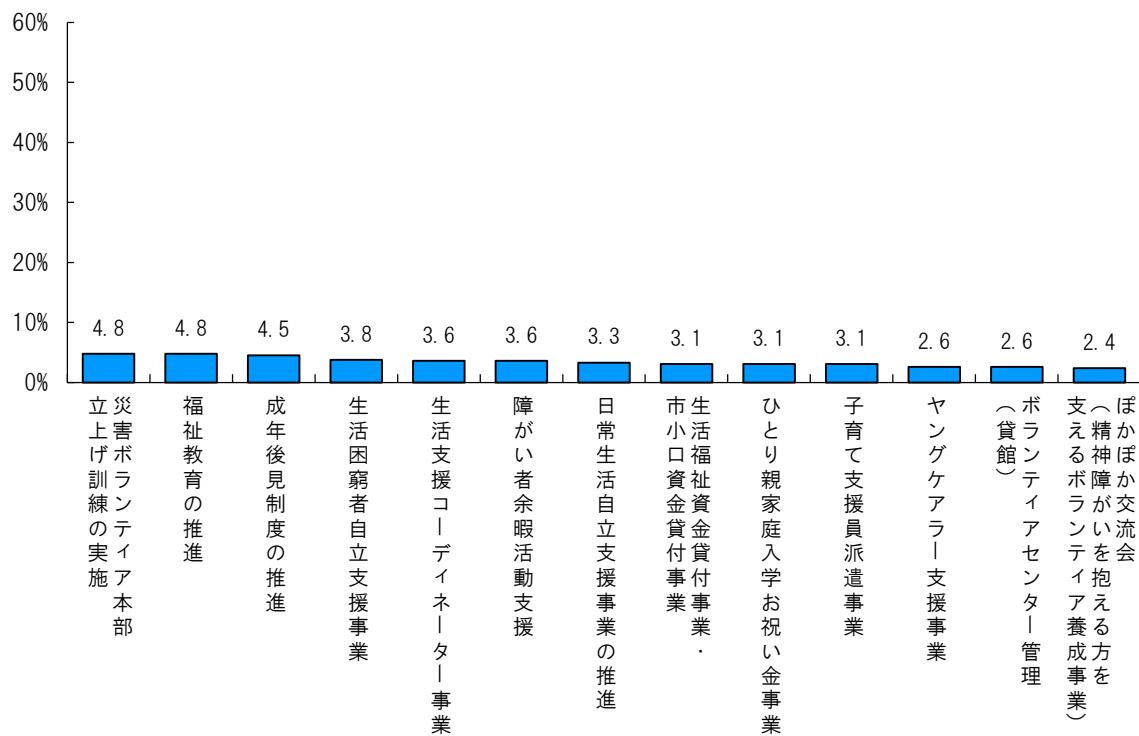
年齢別でみると、“18～39歳”では「知らない」が35.7%と最も多くなっています。

54 知っている御前崎市社会福祉協議会の事業

問43 あなたは、御前崎市社会福祉協議会の次の事業のうち、どの事業を知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)



54 知っている御前崎市社会福祉協議会の事業

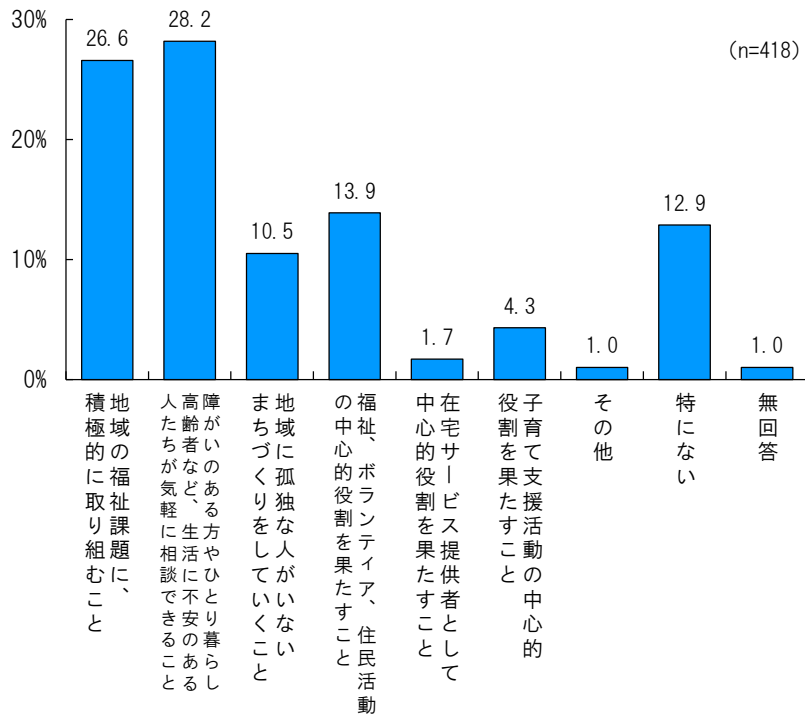


知っている御前崎市社会福祉協議会の事業については、「社協だよりの発行（4月、7月、9月、1月、3月の年5回発行）」が57.9%と最も多く、次いで「赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動」が39.7%、「ふれあい広場の開催（毎年10月に浜岡福祉会館で開催）」が35.2%などとなっています。

55 社会福祉協議会に期待すること

問44 あなたが社会福祉協議会に最も期待することは、次のうちどれですか。

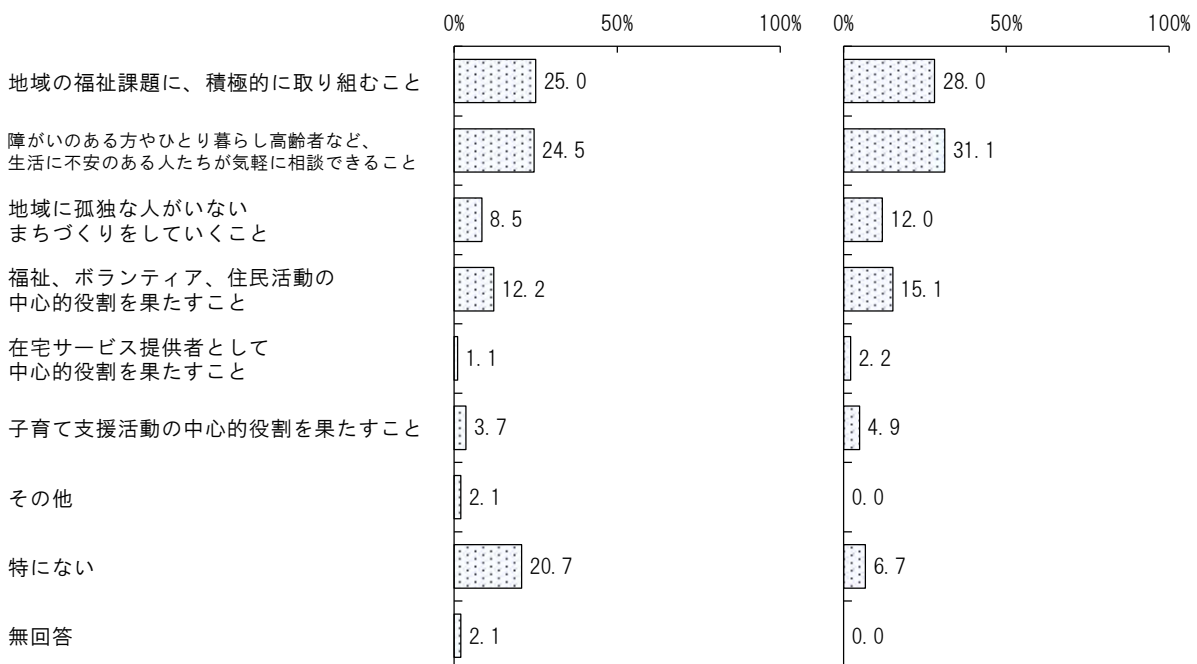
(○は1つだけ)



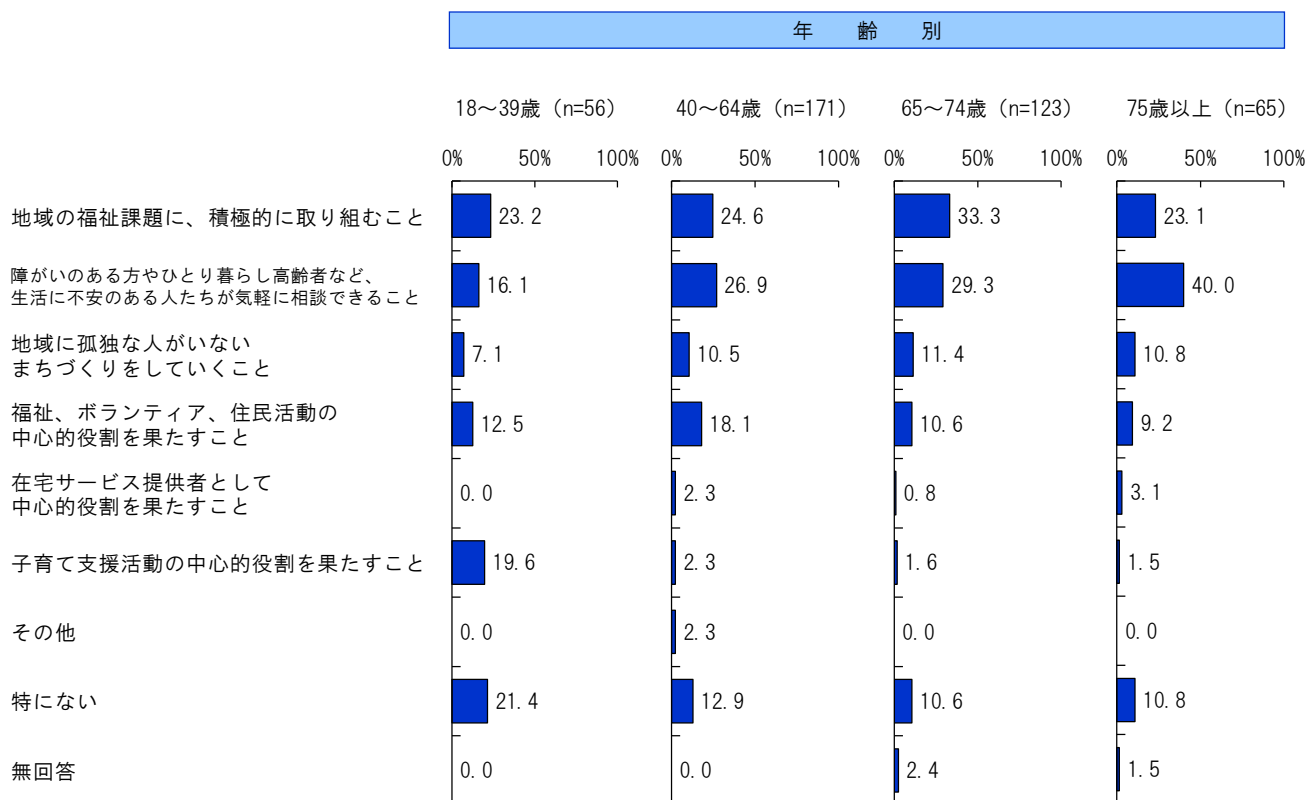
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



55 社会福祉協議会に期待すること



社会福祉協議会に期待することについては、「障がいのある方やひとり暮らし高齢者など、生活に不安のある人たちが気軽に相談できること」が28.2%と最も多く、次いで「地域の福祉課題に、積極的に取り組むこと」が26.6%、「福祉、ボランティア、住民活動の中心的役割を果たすこと」が13.9%などとなっています。

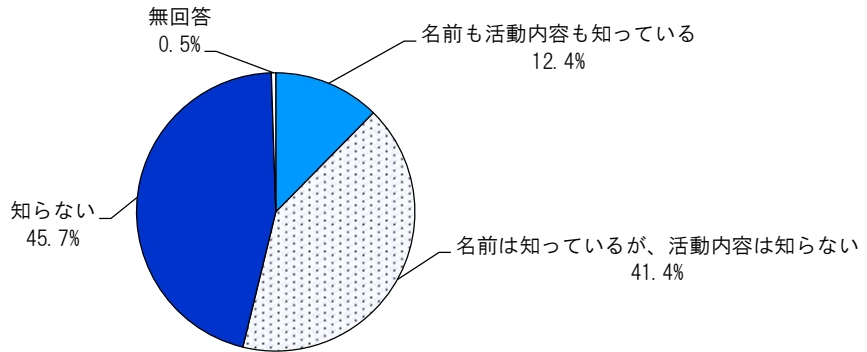
性別で見ると、“男性”では「地域の福祉課題に、積極的に取り組むこと」が25.0%と最も多くなっています。

年齢別で見ると、“18～39歳”、“65～74歳”では「地域の福祉課題に、積極的に取り組むこと」が最も多くなっています。

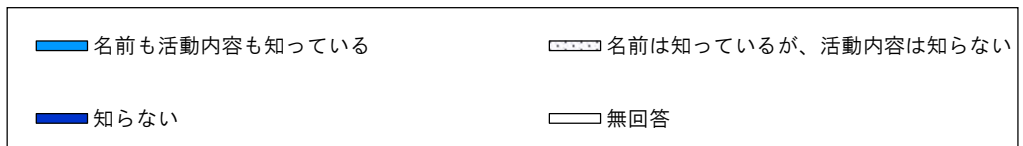
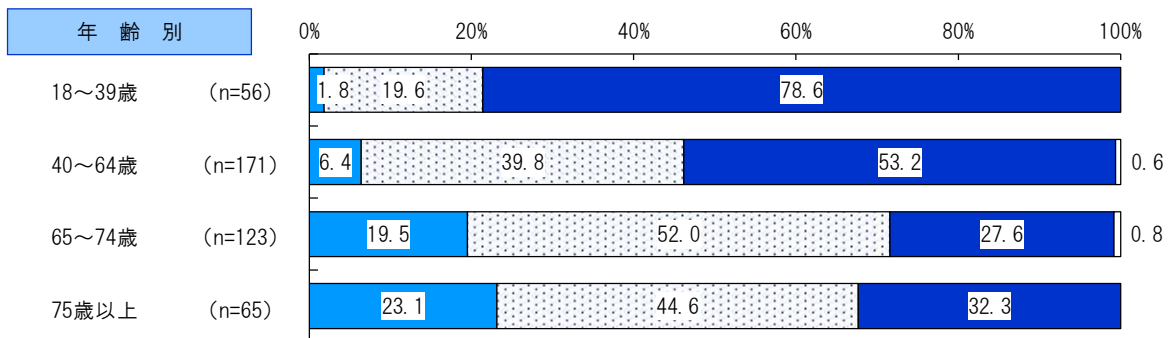
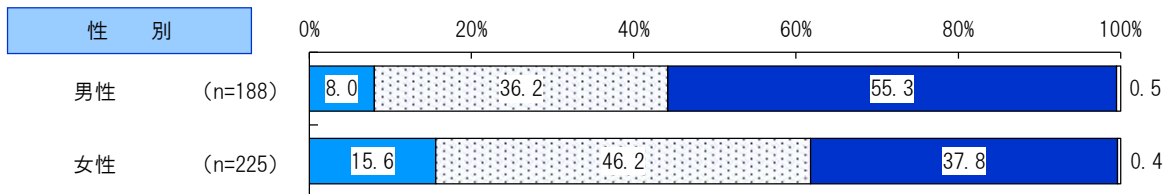
56 福祉団体の認知

問45 次の①～⑥の福祉団体で、名前や活動内容を知っているものはどれですか。
(それぞれ1つに○)

①老人クラブ連合会



(n=418)



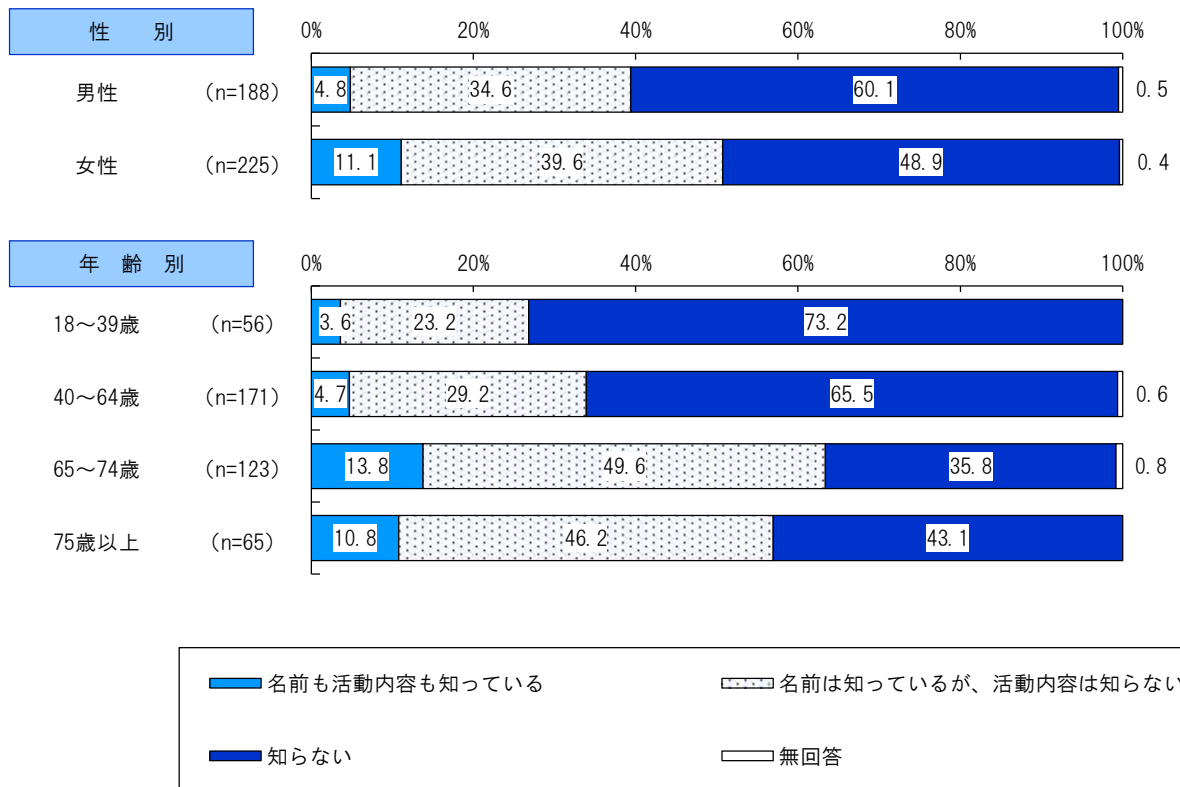
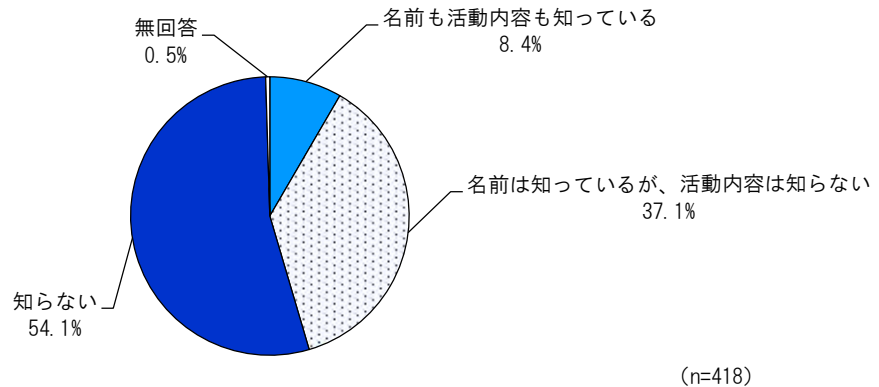
老人クラブ連合会については、「名前も活動内容も知っている」が12.4%、「名前を知っているが、活動内容は知らない」が41.4%、「知らない」が45.7%となっています。

性別で見ると、“女性”では「名前を知っているが、活動内容は知らない」が46.2%と最も多くなっています。

年齢別で見ると、“65～74歳”、“75歳以上”では「名前を知っているが、活動内容は知らない」が最も多くなっています。

56 福祉団体の認知

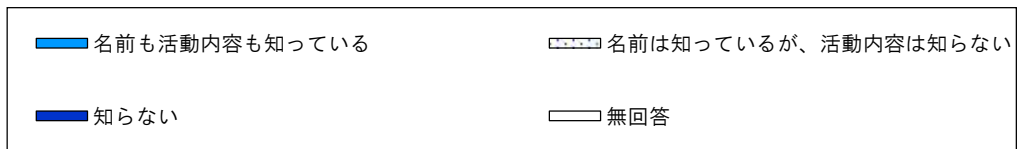
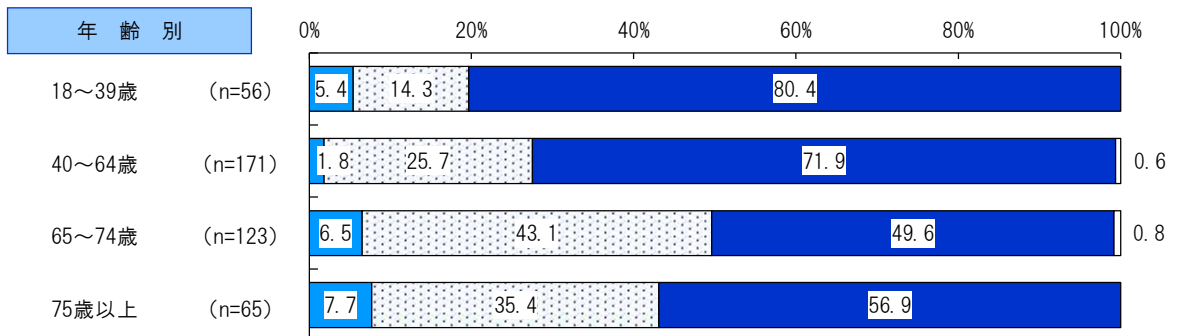
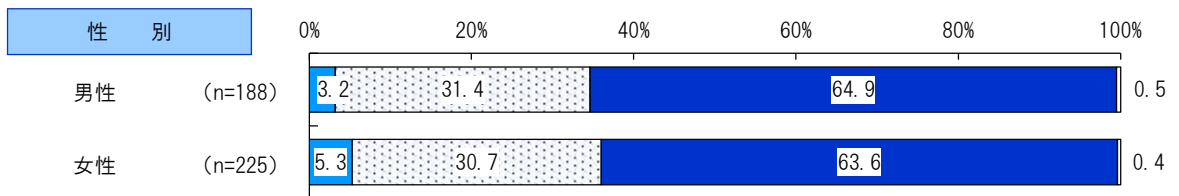
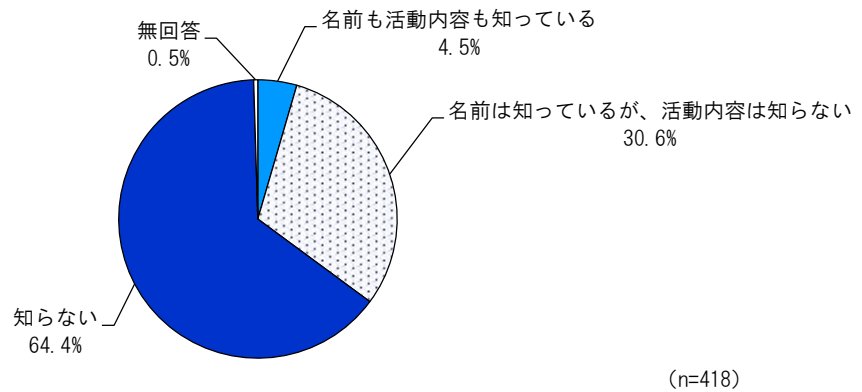
②遺族会



遺族会については、「名前も活動内容も知っている」が8.4%、「名前は知っているが、活動内容は知らない」が37.1%、「知らない」が54.1%となっています。

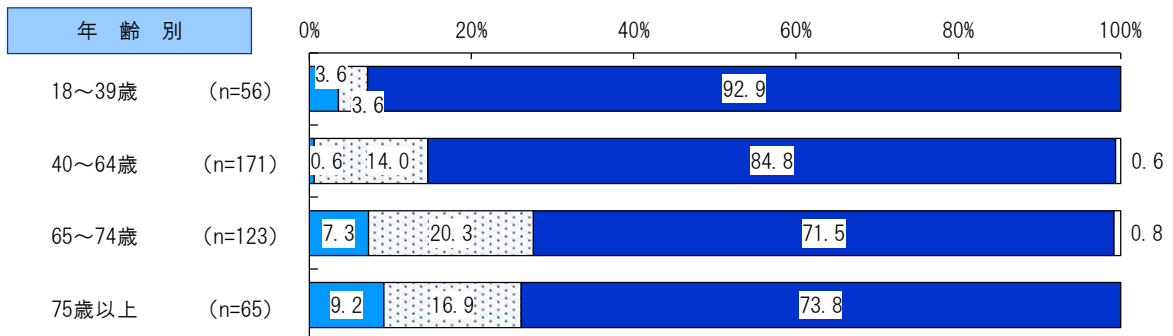
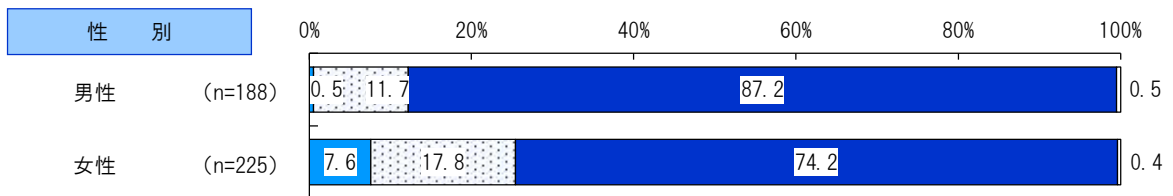
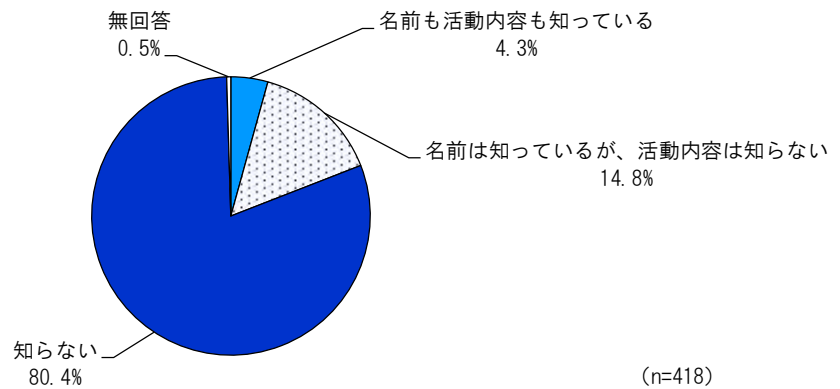
年齢別でみると、“65～74歳”、“75歳以上”では「名前は知っているが、活動内容は知らない」が最も多くなっています。

③身体障害者福祉会



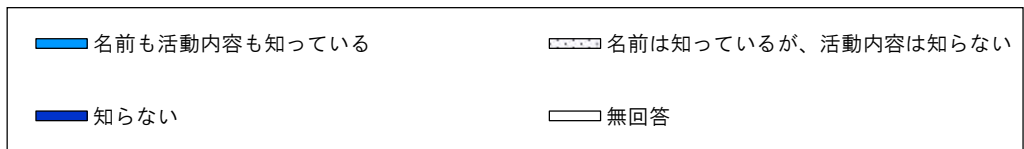
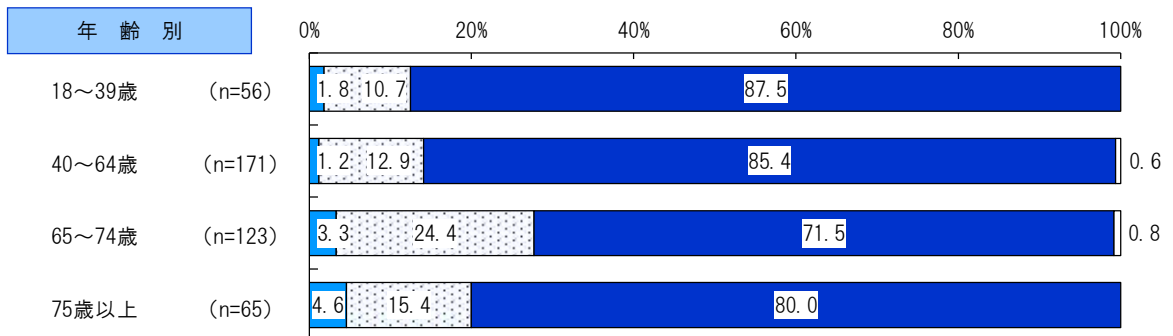
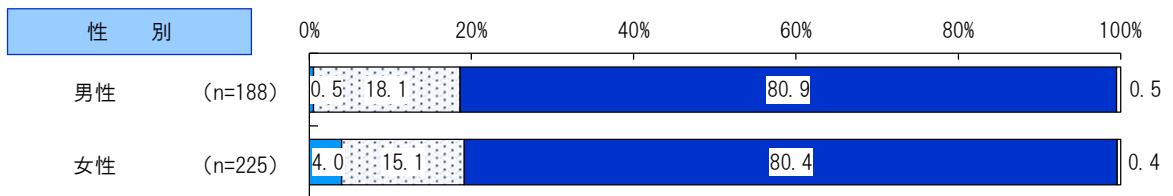
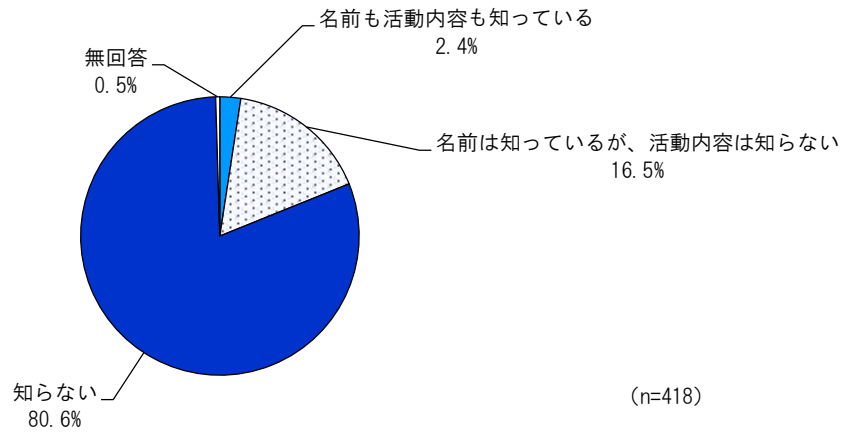
身体障害者福祉会については、「名前も活動内容も知っている」が4.5%、「名前は知っているが、活動内容は知らない」が30.6%、「知らない」が64.4%となっています。

④更生保護女性会



更生保護女性会については、「名前も活動内容も知っている」が4.3%、「名前は知っているが、活動内容は知らない」が14.8%、「知らない」が80.4%となっています。

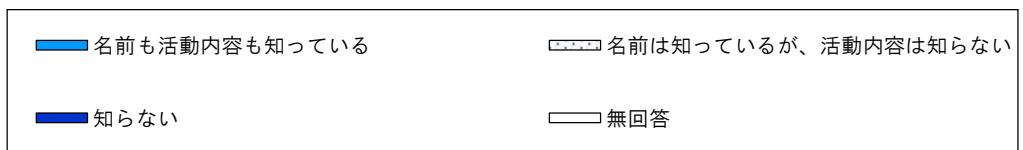
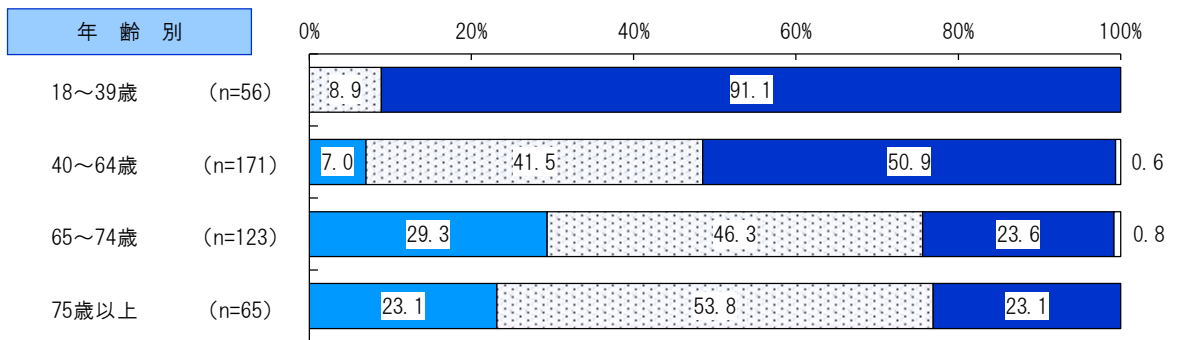
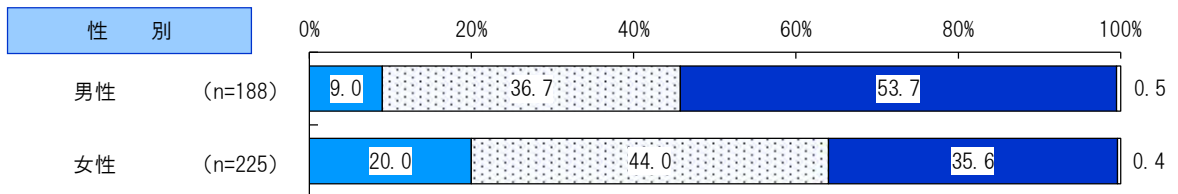
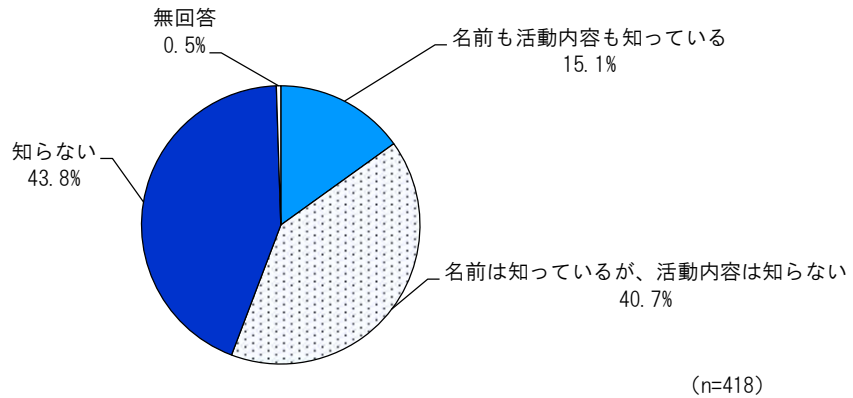
⑤ボランティア連絡会



ボランティア連絡会については、「名前も活動内容も知っている」が2.4%、「名前は知っているが、活動内容は知らない」が16.5%、「知らない」が80.6%となっています。

56 福祉団体の認知

⑥日赤奉仕団



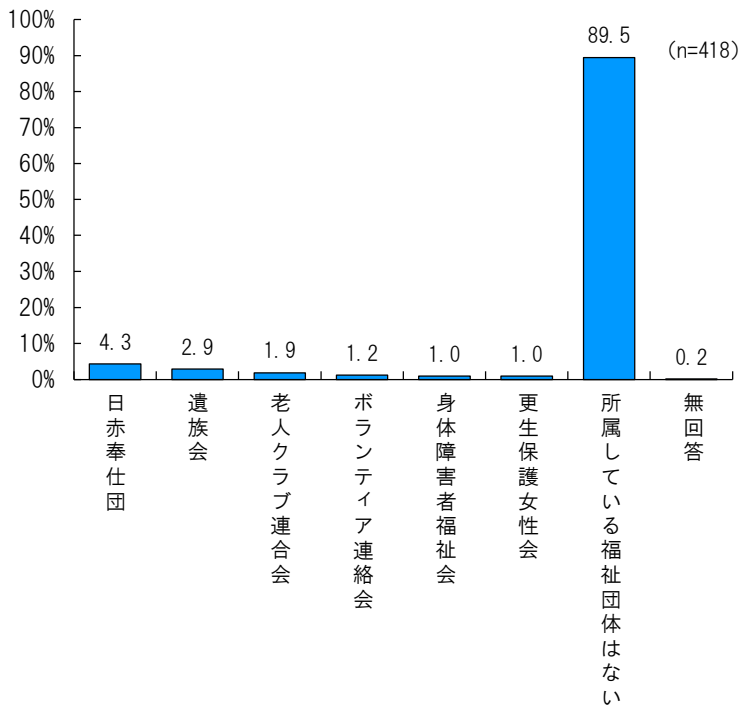
日赤奉仕団については、「名前も活動内容も知っている」が15.1%、「名前は知っているが、活動内容は知らない」が40.7%、「知らない」が43.8%となっています。

性別で見ると、“女性”では「名前は知っているが、活動内容は知らない」が44.0%と最も多くなっています。

年齢別で見ると、“65~74歳”、“75歳以上”では「名前は知っているが、活動内容は知らない」が最も多くなっています。

57 所属している福祉団体

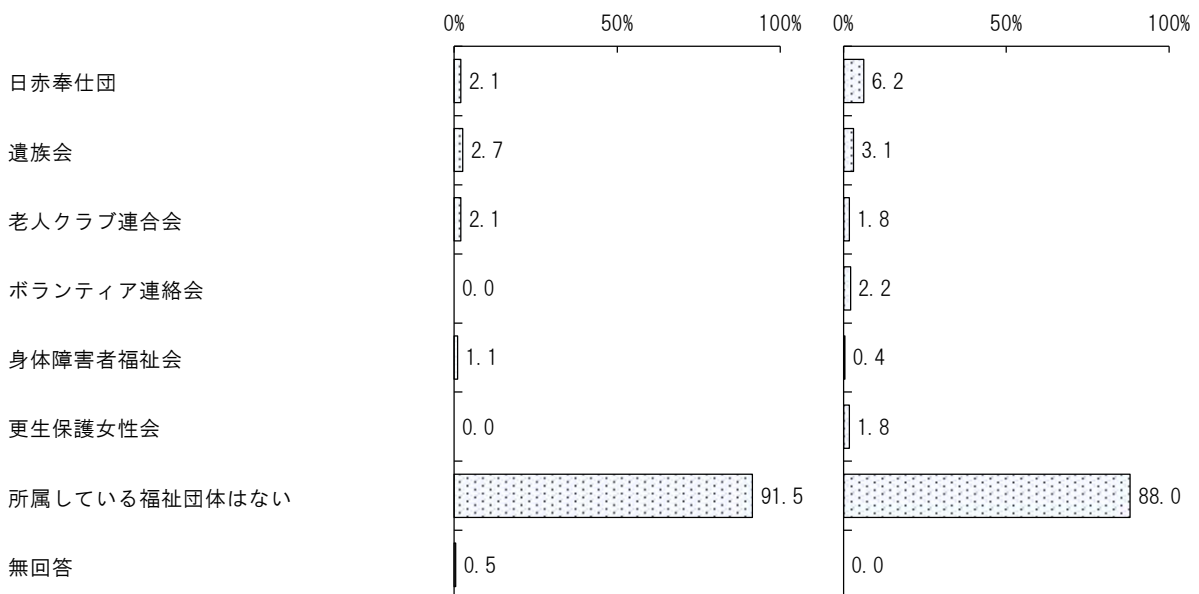
問46 問45の福祉団体のうち、あなたが所属している福祉団体はどれですか。
(あてはまるものすべてに○)



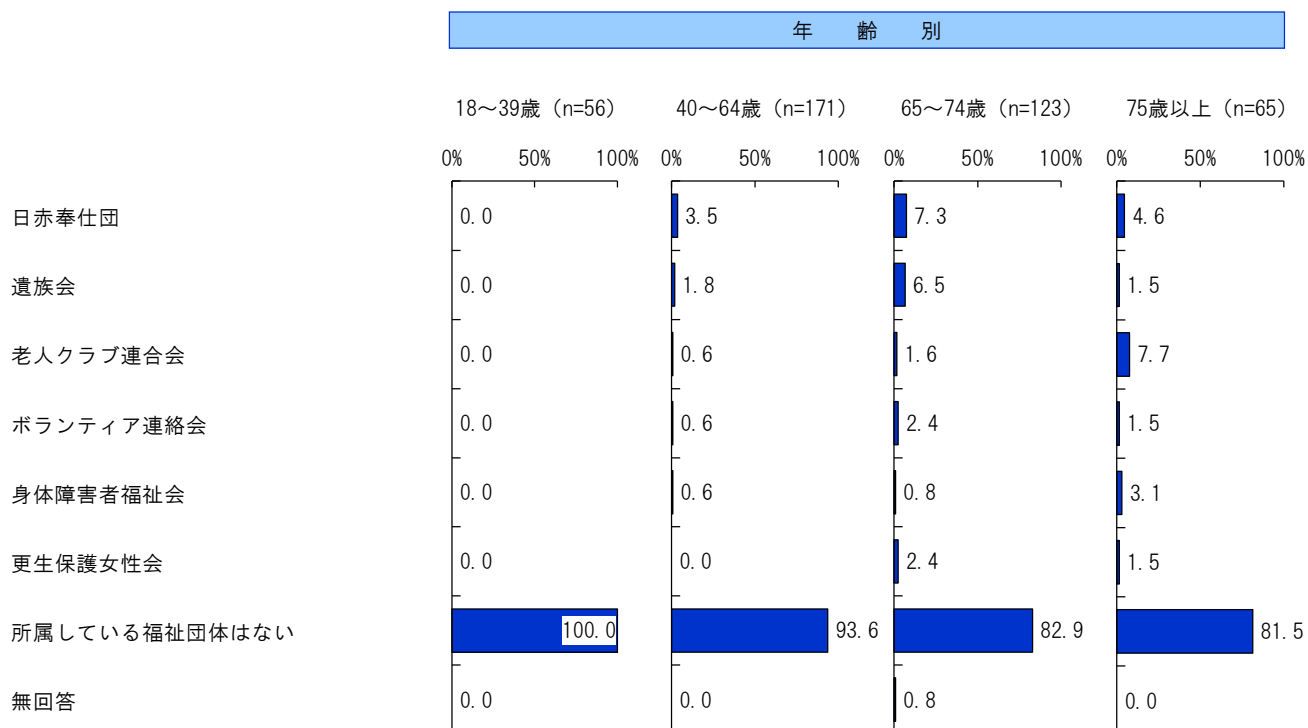
性別

男性 (n=188)

女性 (n=225)



57 所属している福祉団体

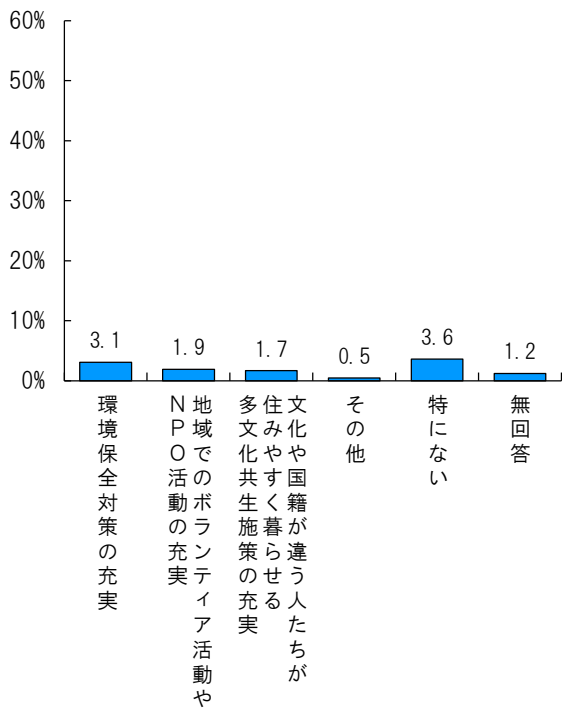
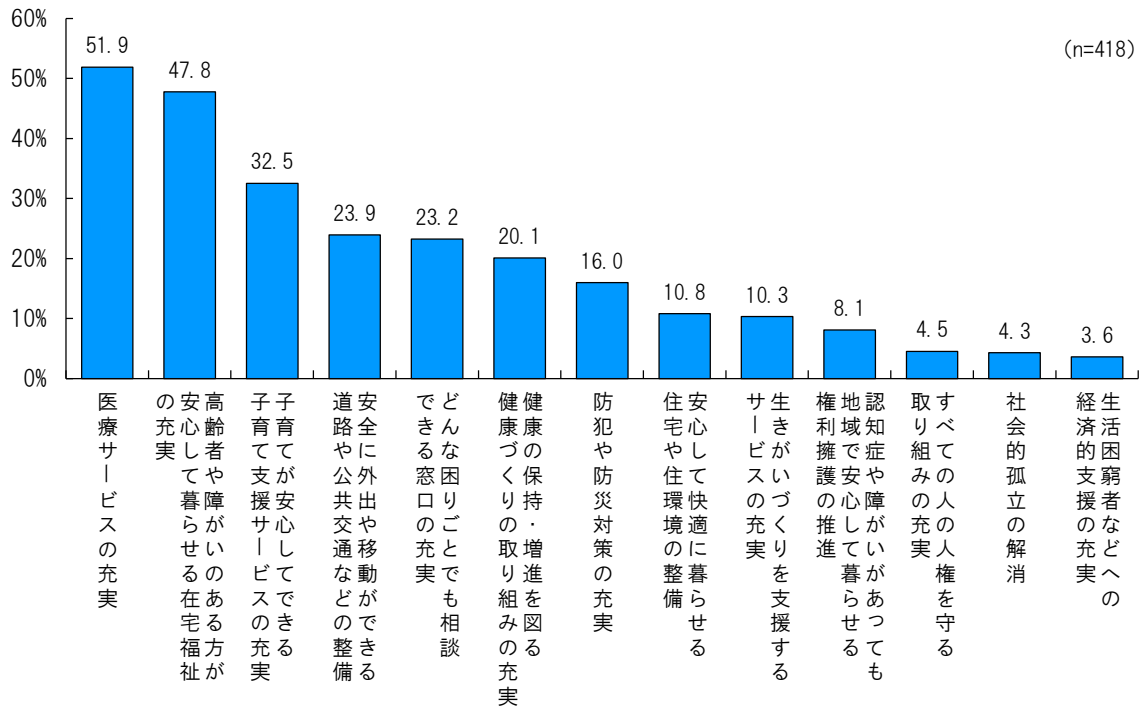


所属している福祉団体については、「日赤奉仕団」が4.3%と最も多く、次いで「遺族会」が2.9%、「老人クラブ連合会」が1.9%などとなっています。また、「所属している福祉団体はない」が89.5%となっています。

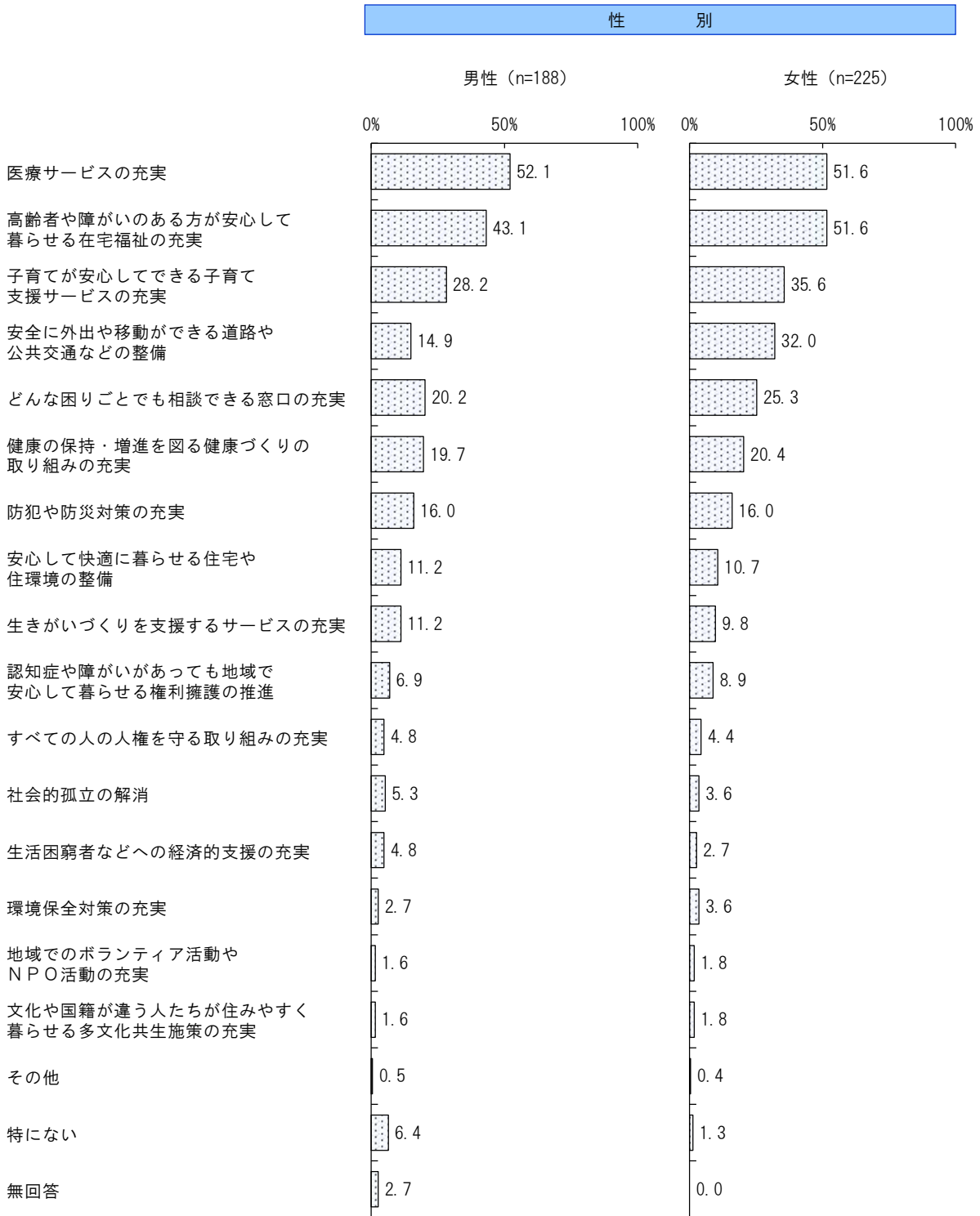
9. 御前崎市の地域福祉全般について

58 健康や福祉を増進するために御前崎市に力を入れてほしいこと

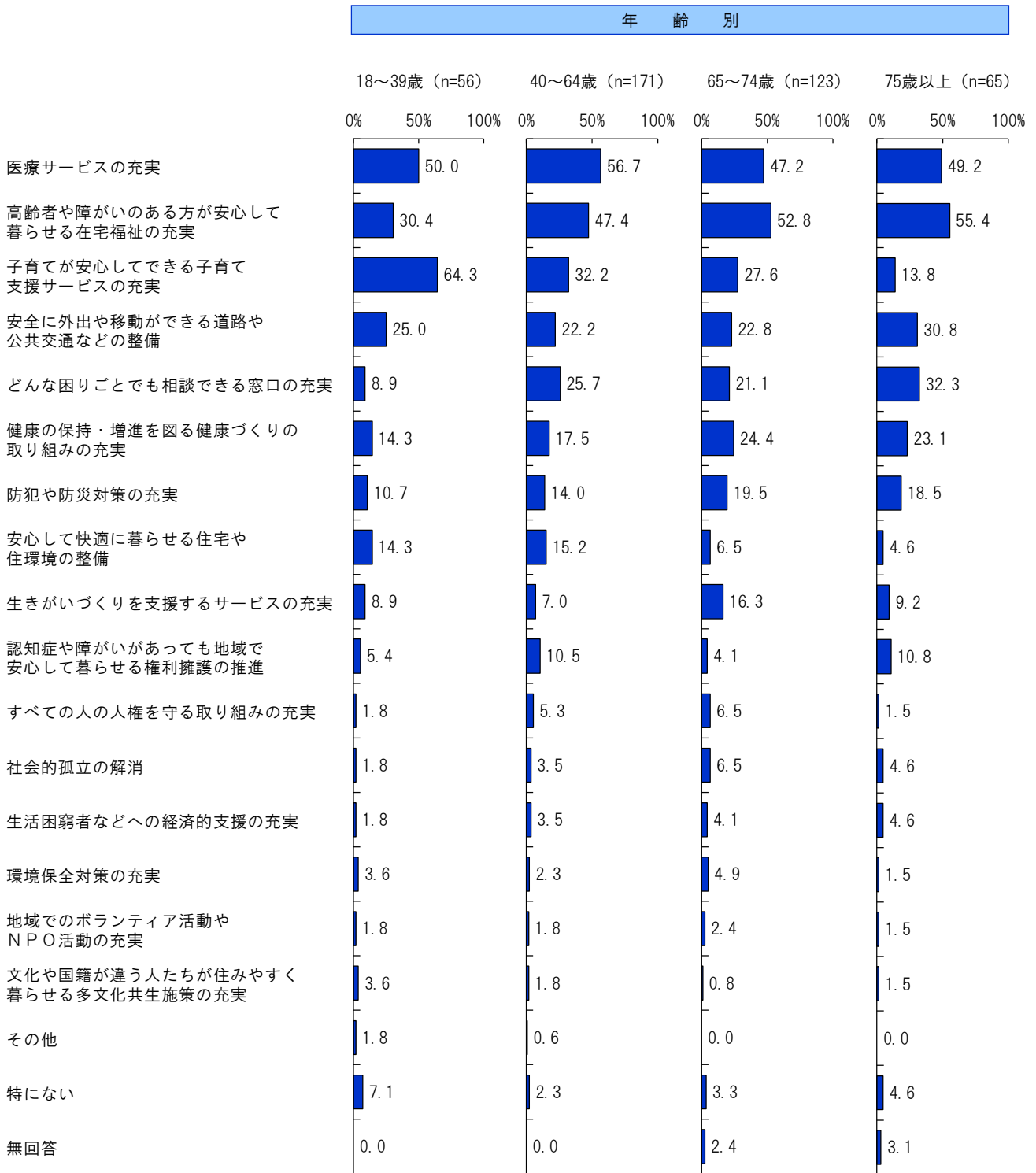
問47 日頃の生活で健康や福祉を増進するために、御前崎市はどのようなことに力を入れて取り組むべきだとお考えですか。 (あてはまるもの3つに○)



58 健康や福祉を増進するために御前崎市に力を入れてほしいこと



58 健康や福祉を増進するために御前崎市に力を入れてほしいこと



健康や福祉を増進するために御前崎市に力を入れてほしいことについては、「医療サービスの充実」が51.9%と最も多く、次いで「高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる在宅福祉の充実」が47.8%、「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」が32.5%などとなっています。

年齢別でみると、“18～39歳”では「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」が64.3%と最も多くなっています。また、“65～74歳”、“75歳以上”では「高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる在宅福祉の充実」が最も多くなっています。

III 調査票

第5次 御前崎市地域福祉計画・地域福祉活動計画 策定のためのアンケート調査

皆様には、日ごろより、市政及び市社会福祉協議会事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、市及び市社会福祉協議会では、令和8年度に「御前崎市 第5次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画」の策定を予定しています。この計画は、市民や関係機関・行政等が協力しながら、誰もが心豊かに安心して暮らし続けることのできるまちづくりを進めるために策定するものです。

策定にあたり、市民の皆様の福祉についてのお考えやご意見をこの計画に反映させるため、市内にお住まいの18歳以上の方1,000人を住民基本台帳のデータ（令和7年11月1日現在）から無作為に抽出し、アンケート調査をお願いすることとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、スマートフォン・パソコンにより下記のQRコード（URL）からインターネット回答もしくは同封の返信封筒で1月19日（月）までにご回答ください。ご協力のほどよろしく申し上げます。

令和8年1月

御前崎市長 下村 勝
社会福祉法人御前崎市社会福祉協議会長 齊藤 芳樹

【ご記入のお願い】

- 回答は、宛名のご本人（アンケート中では「あなた」）がお答えください。
- ご本人が記入できない場合は、ご家族の方が、ご本人の意思を確認しながら記入してください。
- 回答は、インターネット（電子申請）または同封の返信用封筒にて行ってください。
- インターネットの回答は、下記のQRコードを読み取るか、URLを入力しご回答ください。詳細は、最終ページにてご確認ください。
- 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
- このアンケートは、無記名で行います。また、調査でご記入いただいた内容は、調査目的以外に使用することはありません。
- アンケートに関してご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

URL : <https://logoform.jp/form/LtJL/1362695>

QRコード



■ 問合せ先

御前崎市福祉課

電話0537-85-1121

御前崎市社会福祉協議会

電話0548-63-5294

はじめに、あなた自身についてお聞きします。

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問2 あなたの令和7年11月1日現在の年齢を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 18～29歳 | 2 30～39歳 | 3 40～49歳 | 4 50～59歳 |
| 5 60～64歳 | 6 65～69歳 | 7 70～74歳 | 8 75歳以上 |

問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-----------------------------|--------|---------|--------|
| 1 池新田地区 | 2 高松地区 | 3 佐倉地区 | 4 比木地区 |
| 5 朝比奈地区 | 6 新野地区 | 7 御前崎地区 | 8 白羽地区 |
| 9 わからない(お住まいの地域を記入してください:) | | | |

問4 あなたの現在の仕事について伺います。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 会社員・公務員・団体職員 | 2 農林漁業(自営業主) |
| 3 商工業・サービス等(自営業種) | 4 自由業(宗教家、開業医、弁護士、文筆家など) |
| 5 パート・アルバイト | 6 学生 |
| 7 専業主婦・主夫 | 8 無職 |
| 9 その他() | |

問5 あなたの世帯の家族構成と世帯人数を教えてください。

(○は1つだけ。人数を記入してください。)

- | | | |
|--------------|----------|------------|
| 1 ひとり | 2 夫婦のみ | 3 2世代(親と子) |
| 4 3世代(親と子と孫) | 5 その他() | |

世帯人数()人

問6 あなた自身、もしくはあなたが現在同居しているご家族の中に、次のような方はいますか。※令和7年11月1日現在で記入してください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 乳児(1歳未満) | 2 乳児を除く小学校入学前の幼児 |
| 3 小学生 | 4 中学生・高校生 |
| 5 65歳以上の方 | 6 介護を必要とする方 |
| 7 身体・知的・精神等の障がいのある方 | 8 いずれもない |

問7 あなたはいつから御前崎市に住んでいますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1 生まれてからずっと住んでいる | 2 他のまち・外国から引っ越してきた |
| 3 御前崎市に住んでいたことがあり、市外へ転出後、再び戻ってきた | |

問8 あなたは日ごろ、別居の親族等と、行き来や電話などの連絡を取り合っている方はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|--------|---------|---------|-------|
| 1 親 | 2 子 | 3 孫 | 4 祖父母 |
| 5 兄弟姉妹 | 6 その他親族 | 7 友人・知人 | 8 いない |

問9 あなたと福祉との関わりは次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 福祉の仕事・勉強をしている | 2 ボランティア活動をしている |
| 3 NPO※活動をしている | 4 福祉サービスを利用している |
| 5 その他() | 6 関わりはない |

※NPO：NPOとは、Non Profit Organization の略で「民間非営利組織」、つまり利益分配をしない組織(団体)のことです。商業を目的としない公益活動に取り組み、官と民の間で「民間の手による公益活動の分野」を創造します。その活動分野は保健福祉の増進、社会教育の推進、まちづくり、文化・芸術・スポーツの振興、環境保全、人権擁護、国際協力などの多方面にわたっています。

地域生活に関することについてお聞きします。

問10 あなたは、普段ご近所の方とどの程度のおつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 日ごろから助け合っている | 2 気の合った人とは親しくしている |
| 3 たまに立ち話をする | 4 顔が合えばあいさつ程度はする |
| 5 その他() | 6 ほとんどつきあいがいい |

問11 あなたは、今の近所づきあいに満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 満足している | 2 ある程度満足している |
| 3 あまり満足していない | 4 満足していない |

問12 あなたの近所づきあいの考え方は、次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 親しく相談したり助け合ったりするのは必要だと思う |
| 2 わずらわしいと思うが、日常生活に便利なことが多いので必要である |
| 3 わずらわしいことが多いので、あまりしたくない |
| 4 なくても困らないので、必要がない |
| 5 その他() |
| 6 わからない |

問 13 あなたは現在、地域内の行事や町内会活動（祭、避難訓練、清掃・美化、運動会等）に参加・協力していますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------|------------|
| 1 よくしている | 2 ある程度している |
| 3 あまりしていない | 4 全くしていない |
- 問 13-1 へ

→【問 13で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。】

問 13-1 その主な理由をお聞かせください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 忙しくて時間がない | 2 めんどろ |
| 3 関心がない | 4 声がかからない |
| 5 その他（ | ） |

【全員にお聞きします。】

問 14 今後、地域の高齢者や障がいのある方、子どもへの支援など地域福祉を推進する活動について、参加したいと思いませんか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 参加したい | 2 どちらかといえば参加したい |
| 3 どちらかといえば参加したくない | 4 参加したくない |
| 5 わからない | |

問 15 あなたは地域社会の役割について、主にどのようなことを期待しますか。

（○は2つだけ）

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1 緊急事態が起きたときの対応 | 2 住民間のルールの徹底 |
| 3 防災・防犯などの日頃の協力 | 4 リサイクル活動や自然保護の活動 |
| 5 景観保護などの環境づくり | 6 騒音問題等発生時のトラブルの解決 |
| 7 子ども・子育ての環境づくり | 8 高齢者・障がいのある方への手助け |
| 9 お祭り・旅行など住民間の交流の場 | 10 困りごとがあったときに気軽に相談できる環境づくり |
| 11 その他（ | ） |
| 12 特に期待しない | |

問 19 あなたは、ヘルプマーク※を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------------|
| 1 名前は知っている | 2 名前も制度の内容も知っている |
| 3 知らない | |

※ヘルプマーク：障がいや病気、妊娠初期の方など、外見からは分からない人が、支援や配慮を必要としていることを周囲に知らせることができるマークのことです。

問 20 地域内の福祉を推進するために「こんなことであれば私にもできる」と思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 【移動・外出支援】
一人で外出することが困難な人のために、散歩や通院・買い物などへの付き添い、薬の受け取りなどを手伝う |
| 2 【見守り・交流支援】
家に閉じこもりがちの人のために、声かけや話し相手になるなど、交流の機会を作る |
| 3 【生活支援・軽作業】
身の回りのことが難しい人のために、洗濯・掃除・草取り、ふとん干し、日曜大工などの軽作業を手伝う |
| 4 【子育て支援】
共働きやひとり親家庭のために、急用時の一時預かりや保育園・学校の送迎などを手伝う |
| 5 【組織づくり・活動】
1～4のような手伝いを行うための近所のグループづくりや活動の運営に参加する |
| 6 【居場所づくり】
地域住民が集まるサロンや居場所づくりの運営に協力する |
| 7 その他 () |
| 8 協力は難しい |

福祉サービスに対する意識についてお聞きします。

問 21 あなたが生活上で困ったり、福祉サービスが必要になったりしたとき、家族や親せき以外に誰(どこ)に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|
| 1 友人や知人 | 2 近所の人 | 3 町内会役員 |
| 4 民生委員・児童委員 | 5 市の相談窓口 | 6 社会福祉協議会 |
| 7 病院や診療所 | 8 福祉施設の窓口 | 9 その他 () |
| 10 家族や親せき以外には誰にも相談しない | | |

問 22 あなた自身やあなたの家族に、福祉サービスが必要になったとき、すぐにサービスを利用しますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 利用する | 2 抵抗はあるが利用する →問 22-1 へ |
| 3 利用しない →問 22-2 へ | 4 わからない |

【問 22 で「2 抵抗はあるが利用する」と回答した方にお聞きします。】

問 22-1 抵抗はあるが利用する主な理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 自分のことを他人に言いたくない | 2 敷居が高く感じる |
| 3 まだ相談するほどのものか迷う | |
| 4 その他 () | |

【問 22 で「3 利用しない」と回答した方にお聞きします。】

問 22-2 すぐにサービスを利用しない主な理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1 家族や親せきへの気兼ねがある | 2 近所の目が気になる |
| 3 他人の世話にはなりたくない | 4 経済的な負担が心配 |
| 5 サービスの内容や利用の仕方がわからない | 6 家族で対応できる |
| 7 福祉サービスに信用がない | 8 その他 () |

【全員にお聞きします。】

問 23 福祉サービスを安心して利用できる環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1 福祉サービスの種類や内容、利用料などの情報 |
| 2 福祉サービスを提供する事業者の情報 |
| 3 相談できる場所や相談員の情報 |
| 4 苦情への適切な対応 |
| 5 福祉に関わる法律や制度について、市民が学習できる機会 |
| 6 福祉サービスの内容や質を評価したりチェックしたりする仕組み |
| 7 福祉サービス利用者の人権を保護する仕組み |
| 8 NPO、ボランティアの育成や活動への支援 |
| 9 インターネット、SNS*等を活用した情報の周知 |
| 10 その他 () |
| 11 わからない |

※SNS：Social Networking Service の略で、インターネット上でコミュニティを形成し、人と人とのコミュニケーションを促進・サポートするサービス。

問 24 あなたは、御前崎市はどのようなまちだと思いますか。(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかといえは そう思う	どちらかといえは そう 思わない	そう 思わない
① 子どもがいきいきと育つまち	1	2	3	4
② 高齢者が暮らしやすいまち	1	2	3	4
③ 障がいのある方が暮らしやすいまち	1	2	3	4
④ 困った時に隣近所で助け合えるまち	1	2	3	4
⑤ 福祉施設が整備されているまち	1	2	3	4
⑥ 市民の福祉活動が活発に行われているまち	1	2	3	4

問 25 あなたは、成年後見制度*を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------------|
| 1 名前は知っている | 2 名前も制度の内容も知っている |
| 3 知らない | |

*成年後見制度：認知症や知的障がい等で判断能力が低下してしまった人の財産などを保護するため、親族や専門職や法人が後見人となってその人を援助する制度のことです。

問 26 御前崎市では、一定の研修を修了した一般の方に成年後見人として活動してもらう「市民後見人*」を育成しています。この市民後見人について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 研修内容や活動の条件次第では、市民後見人になりたい |
| 2 自分自身はなる気はないが、市民後見人という地域で支える仕組み自体は応援したい |
| 3 自分自身はなる気はないし、関心もない |
| 4 わからない |

*市民後見人：親族以外の市民による後見人のことです。社会貢献の意欲が高い一般市民の方で、市町村が実施する養成研修を受講し、成年後見人に関する一定の知識・態度を身に付けた方の中から、家庭裁判所により成年後見人として選任された方が、弁護士などの専門職と同様に貢献活動を行います。

問 27 子どもたちに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）について、あなたが最も大切だと思うものは何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 学校教育の中で学ぶ | 2 家庭の中で学ぶ |
| 3 地域の活動などを通じて学ぶ | 4 生活していく中で自然に身に付ける |
| 5 その他 () | |
| 6 特にない | |

問 28 あなたは、御前崎市をどのような『福祉のまち』にしたいと思いますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 家庭や地域でお互いが支え合い、助け合いのできるまち |
| 2 | 行政のリードのもと、充実した福祉サービスを受けることのできるまち |
| 3 | 行政と住民が協力し合い、ともに地域福祉の課題に取り組むことのできるまち |
| 4 | ボランティアやNPOなどの住民活動が活発に行われるまち |
| 5 | いつまでも生きがいを持って、健康に生活できるまち |
| 6 | その他 () |
| 7 | わからない |

問 29 地域の福祉活動を進めるために、どのようなことが主に必要だと思いますか。

(○は2つまで)

- | | |
|----|--|
| 1 | 学校や社会における福祉教育を充実する |
| 2 | ボランティア団体など住民活動に対する援助を行う |
| 3 | 活動のリーダーなど福祉活動に携わる人を養成する |
| 4 | 活動の拠点となる場の整備を行う |
| 5 | 福祉に関する情報や活動内容などをもっとPRする |
| 6 | 手話や点字、介護など福祉活動の方法などに関する研修を行う |
| 7 | 医療・保健機関を充実する |
| 8 | 福祉活動をしている人たちの連携を進める |
| 9 | 介護体験や高齢者・障がいのある方の疑似体験をするなど福祉にふれる機会を増やす |
| 10 | スポーツや文化活動など高齢者・障がいのある方の社会参加の機会を増やす |
| 11 | その他 () |
| 12 | 特に必要なことはない |

ボランティア活動などに関することについてお聞きします。

問 30 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

- | | | | | | |
|---|--------|-----------|---|--------------|-----------|
| 1 | 参加している | →問 30-1 へ | 2 | 過去に参加したことがある | →問 30-2 へ |
| 3 | ない | →問 30-3 へ | | | |

【問30で「1 参加している」と回答した方にお聞きします。】

問30-1 あなたが参加している活動はどのような活動ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 高齢者に関する活動 | 2 障がいのある方に関する活動 |
| 3 子育て支援や子どもの世話 | 4 青少年の健全育成に関する活動 |
| 5 スポーツ・文化に関する活動 | 6 環境保護・清掃美化に関する活動 |
| 7 地域の安全を守る活動 | 8 まちづくりに関する活動 |
| 9 国際協力に関する活動 | 10 災害救援に関する活動 |
| 11 男女共同参画に関する活動 | 12 その他 () |

【問30で「2 過去に参加したことがある」と回答した方にお聞きします。】

問30-2 現在参加していない主な理由をお聞かせください。(○は1つだけ)

- | |
|------------------------|
| 1 興味や関心がなくなったから |
| 2 機会がないから |
| 3 時間がないから |
| 4 参加した活動が自分に合っていなかったから |
| 5 健康上の理由から |
| 6 その他 () |

【問30で「3 ない」と回答した方にお聞きします。】

問30-3 参加したことがない主な理由をお聞かせください。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------|
| 1 興味や関心がないから |
| 2 機会がないから |
| 3 時間がないから |
| 4 活動内容や方法がわからないから |
| 5 健康上の理由から |
| 6 その他 () |

【全員にお聞きします。】

問31 あなたは、ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 参加したい | →問31-1、問31-2へ |
| 2 できれば参加したい | |
| 3 参加したくない・参加できない | |

【問31で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。】

問31-1 どのくらいの頻度で活動に参加できますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 週に4日以上 | 2 週に2～3日 | 3 週に1日 |
| 4 月に1～2日程度 | 5 年に数日程度 | 6 その他 () |

【問31で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。】

問31-2 どのような活動に参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 社会福祉に関する活動 | →問31-3へ |
| 2 自然・環境保護に関する活動 | 3 体育・スポーツに関する活動 |
| 4 災害ボランティア救助活動 | 5 国際交流(協力)に関する活動 |
| 6 青少年健全育成に関する活動 | 7 その他 () |

【問31-2で「1 社会福祉に関する活動」と回答した方にお聞きします。】

問31-3 どのような社会福祉活動に参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 高齢者に対する活動(食事の支度、散歩の付き添い、話し相手など) |
| 2 隣近所の子どもの世話やふれあいなどの活動 |
| 3 障がいのある方に対する活動 |
| 4 老人ホームや障がい者施設などの福祉施設での活動 |
| 5 地域住民が集えるサロンや居場所づくりの活動 |
| 6 その他 () |

【全員にお聞きします。】

問32 今後、御前崎市でボランティア活動が活発になるためには、主にどのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- | |
|------------------------------|
| 1 みんなが気軽に参加できるように活動内容を充実する |
| 2 学区・地区ごとにボランティアの活動拠点をつくる |
| 3 ボランティア活動に関して広く学習できる機会をつくる |
| 4 ボランティア活動に関する情報提供や活動の場を紹介する |
| 5 ボランティア活動に要する交通費や経費を援助する |
| 6 活動上の悩みや問題に関する相談体制を充実する |
| 7 ボランティア活動に対する職場の理解を深める |
| 8 企業に対して社会貢献活動に関する周知を行う |
| 9 その他 () |
| 10 わからない |

災害に関することについてお聞きします。

問 33 あなたは、災害等の緊急時の場合、一人で避難できますか。(○は1つだけ)

- 1 一人で避難できる 2 避難できない→問33-1へ 3 わからない

【問33で「2 避難できない」と回答した方にお聞きします。】

問 33-1 家族や介助者等が不在、またはひとり暮らしの場合に、火事や地震等の災害が発生した時、ご近所に助けてくれる方はいますか。(○は1つだけ)

- 1 いる 2 いない 3 わからない

【全員にお聞きします。】

問 34 あなたは、個別避難計画*を知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 名前は知っている 2 名前も内容も知っている
3 知らない

*個別避難計画:災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者などの避難行動要支援者一人ひとりに対して避難を支援できるよう、避難先や避難支援の方法などを記載した計画のことです。

問 35 災害時に避難支援の必要な人(身体の不自由な人など)の情報を地域で共有することについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- 1 平常時から隣近所で共有しておくことが必要である
2 災害時にすぐに住民に提供できるよう、平常時から自治会(自主防災組織)が把握しておくことが必要である
3 災害が発生して支援が必要となったときに、市役所が地域に提供すべきである
4 個人情報なので、地域で共有すべきではない
5 その他()
6 わからない

問 36 地域における災害時の備えとして、どのようなことが大切だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域での避難訓練 2 災害対策の学習会
3 危険箇所の把握 4 地域の要配慮者*の把握
5 要配慮者*への情報伝達や避難誘導の体制づくり
6 要配慮者*への対応も含めた避難所の運営訓練
7 地域の自主防災組織などの体制の構築
8 日頃からのあいさつ、声かけやつきあい
9 災害ボランティアの育成、災害ボランティア本部の運営訓練
10 その他()

*要配慮者:要配慮者とは、高齢者、障がいのある方、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人といった災害時に自力で避難することが困難な人のことです。

地域の問題や課題についてお聞きします。

問 37 現在、あなたがお住まいの地域やその周辺では、安心して生活していく上で、どのような問題や課題があると感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域における人と人とのつながりが希薄化し、問題解決力が不足していること
- 2 町内会・自治会等の地域活動が活性化していないこと
- 3 世代間交流が不足していること
- 4 見守りや生活支援を必要とするひとり暮らしの高齢者やその介護に関する支援
- 5 障がいのある方や認知症の方がいる世帯への生活支援
- 6 育児・子育て家庭への支援
- 7 母子家庭や父子家庭などのひとり親家庭への支援
- 8 児童虐待やDV[※]への対策
- 9 生活困窮者やホームレスへの対策
- 10 災害時に一人で避難できない人への支援
- 11 地域防災・防犯対策
- 12 家事や家族の世話、介護などを行っている 18 歳未満の子ども(ヤングケアラー)への支援
- 13 不登校やひきこもりの人への支援・対策
- 14 その他 ()
- 15 わからない
- 16 特になし

※DV：DVとは、domestic violence の略で、同居関係にある配偶者や内縁関係の間で起こる家庭内暴力のことです。近年では、婚姻の有無を問わず、元夫婦や恋人など近親者間に起こる暴力全般を指します。

問 38 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の福祉を充実させていく上で、行政と住民の関係はどうあるべきだと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 行政と住民のそれぞれの役割を認め協力し合って、福祉課題の解決のため、ともに取り組むべきである(行政と住民が協働で行うべき)
- 2 まず、家庭内や地域の住民が互いに助け合い、できない場合のみ行政が援助すべきである(どちらかといえば住民が主体で行うべき)
- 3 行政の責任はしっかり果たすべきだが、行政の手の届かない課題は住民も協力すべきである(どちらかといえば行政が主体で行うべき)
- 4 福祉を充実させる責任は行政にあるので、住民は特に協力する必要はない(行政のみで行うべき)
- 5 その他 ()

御前崎市社会福祉協議会についてお聞きします。

問 39 あなたは、御前崎市社会福祉協議会を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 40 御前崎市社会福祉協議会は、どのような組織だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 役所の機関の1つ | 2 福祉ボランティア団体の1つ |
| 3 福祉を推進する民間の社会福祉法人 | 4 福祉サービスを提供する民間企業 |
| 5 聞いたことはあるがよくわからない | 6 わからない |

問 41 あなたは、町内会加入者のほぼ全世帯が御前崎市社会福祉協議会の普通会員であることを知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 42 あなたは、御前崎市社会福祉協議会で発行している広報誌「おまえぎ社協だより」をご存知ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 知っているし、よく読んでいる | 2 知っているが、あまり読んでいない |
| 3 知っているが、読んでいない | 4 知らない |

問 43 あなたは、御前崎市社会福祉協議会の次の事業のうち、どの事業を知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 法律・心配ごとなどの福祉総合相談 |
| 2 社協だよりの発行(4月、7月、9月、1月、3月の年5回発行) |
| 3 ふれあい広場の開催(毎年10月に浜岡福祉会館で開催) |
| 4 社会福祉大会の開催 |
| 5 戦没者追悼式・平和祈念式典の開催 |
| 6 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催 |
| 7 災害ボランティア本部立上げ訓練の実施 |
| 8 ぽかぽか交流会(精神障がいを抱える方を支えるボランティア養成事業) |
| 9 ボランティア活動に関する相談・支援育成 |
| 10 中学生・高校生夏休みボランティア体験活動 |
| 11 高齢者サロン活動の支援 |
| 12 福祉関係団体の育成・支援 |
| 13 社協支部事業の支援 |
| 14 生活支援コーディネーター事業 |
| 15 ささえあいサポーター事業(市民ボランティアによるゴミ出しなど生活支援サービス) |
| 16 障がい者余暇活動支援 |

- 17 福祉教育の推進
- 18 自立支援通所サービス(ひなたぼっこ)
- 19 自立支援訪問サービス
- 20 高齢者生きがい教室の開催
- 21 成年後見制度の推進
- 22 日常生活自立支援事業の推進
- 23 生活福祉資金貸付事業・市小口資金貸付事業
- 24 生活困窮者自立支援事業
- 25 ひとり親家庭入学お祝い金事業
- 26 ひきこもり、不登校支援相談室の開設
- 27 高齢者理美容料金助成事業
- 28 児童館・児童図書館事業
- 29 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動
- 30 介護機器貸与事業（車いす・福祉車両）
- 31 放課後児童クラブ事業
- 32 ファミリー・サポート・センター事業
- 33 子育て支援員派遣事業
- 34 地域子育て支援センター事業(ほほえみ)
- 35 夏休みこどもの居場所事業（ふれあい福祉センターなごみ）
- 36 ヤングケアラー支援事業
- 37 ふくしなんでも相談会
- 38 御前崎ふれあい福祉センターなごみ管理（貸館）
- 39 浜岡福祉会館管理（貸館）
- 40 浜岡中央児童館管理
- 41 ボランティアセンター管理（貸館）
- 42 その他（)
- 43 知らない

問 44 あなたが社会福祉協議会に最も期待することは、次のうちどれですか。

(○は1つだけ)

- | | |
|---|--|
| 1 | 地域の福祉課題に、積極的に取り組むこと |
| 2 | 障がいのある方やひとり暮らし高齢者など、生活に不安のある人たちが気軽に相談できること |
| 3 | 地域に孤独な人がいないまちづくりをしていくこと |
| 4 | 福祉、ボランティア、住民活動の中心的役割を果たすこと |
| 5 | 在宅サービス提供者として中心的役割を果たすこと |
| 6 | 子育て支援活動の中心的役割を果たすこと |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特にない |

問 45 次の①～⑥の福祉団体で、名前や活動内容を知っているものはどれですか。
(それぞれ1つに○)

団 体 名	名前も 活動内容も 知っている	名前は知ってい るが、活動内容 は知らない	知らない
① 老人クラブ連合会	1	2	3
② 遺族会	1	2	3
③ 身体障害者福祉会	1	2	3
④ 更生保護女性会	1	2	3
⑤ ボランティア連絡会	1	2	3
⑥ 日赤奉仕団	1	2	3

問 46 問 45 の福祉団体のうち、あなたが所属している福祉団体はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|------------|
| 1 老人クラブ連合会 | 2 遺族会 | 3 身体障害者福祉会 |
| 4 更生保護女性会 | 5 ボランティア連絡会 | 6 日赤奉仕団 |
| 7 所属している福祉団体はない | | |

御前崎市の地域福祉全般についてお聞きします。

問 47 日頃の生活で健康や福祉を増進するために、御前崎市はどのようなことに力を入れて取り組むべきだとお考えですか。(あてはまるもの3つに○)

- 1 高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる在宅福祉の充実
- 2 子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実
- 3 健康の保持・増進を図る健康づくりの取り組みの充実
- 4 医療サービスの充実
- 5 生きがいづくりを支援するサービスの充実
- 6 地域でのボランティア活動やNPO活動の充実
- 7 すべての人の人権を守る取り組みの充実
- 8 安心して快適に暮らせる住宅や住環境の整備
- 9 安全に外出や移動ができる道路や公共交通などの整備
- 10 防犯や防災対策の充実
- 11 環境保全対策の充実
- 12 どんな困りごとでも相談できる窓口の充実
- 13 生活困窮者などへの経済的支援の充実
- 14 文化や国籍が違う人たちが住みやすく暮らせる多文化共生施策の充実
- 15 認知症や障がいがあっても地域で安心して暮らせる権利擁護の推進
- 16 社会的孤立の解消
- 17 その他 ()
- 18 特にない

オンライン調査の操作方法

アンケートにご協力いただきありがとうございます。今回のアンケートにつきましては、インターネット（電子申請）か郵送となっております。インターネット（電子申請）を希望される方は、お手数ですが次の操作方法をご確認いただき回答をお願いいたします。

○インターネット回答の場合

- 1 スマートフォンまたはパソコンにて、下記のQRコードを読み取るか、URLを入力し、アンケートログイン画面にお入りください。
- 2 アンケート画面では、該当するものにチェックまたは回答を入力していただき、画面案内に従いお進みください。
- 3 最終ページまで進むと回答が送信されます。

QRコード



URL : <https://logoform.jp/form/LtJL/1362695>

○郵送による回答の場合

- 1 同封のアンケートに記入する。
- 2 同封の返信用封筒（無料）に入れて郵送する。

※回答期限 1月19日（月）まで

**第5次 御前崎市地域福祉計画・地域福祉活動計画
策定のためのアンケート調査**

調査結果報告書

令和8年3月

御前崎市 健康福祉部 福祉課

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田5585番地

電話 0537-85-1121 FAX 0537-85-1144

社会福祉法人 御前崎市社会福祉協議会

〒437-1622 静岡県御前崎市白羽5402番地の10

電話 0548-63-5294 FAX 0548-63-5299